

平成23年度

年 報



平成25年8月

九州大学大学院医学研究院保健学部門

目 次

1. 保健学部門の活動	・ ・ ・ ・ ・	2
2. 各分野の活動		
2-1. 分野の活動：看護学分野	・ ・ ・ ・ ・	7
2-2. 分野の活動：医用量子線科学分野	・ ・ ・ ・ ・	1 2
2-3. 分野の活動：検査技術科学分野	・ ・ ・ ・ ・	1 6
3. 教員の活動		
3-1. 教員の活動：看護学分野	・ ・ ・ ・ ・	1 9
3-2. 教員の活動：医用量子線科学分野	・ ・ ・ ・ ・	7 7
3-3. 教員の活動：検査技術科学分野	・ ・ ・ ・ ・	1 0 6
4. 教員組織および委員会一覧	・ ・ ・ ・ ・	1 2 2

1. 保健学部門の活動

❖ 保健学部門の活動

1. 沿革に関わる事項

年月日	事項	活動の概要	資料
平成23年7月6日	教員再任審査	平成24年3月31日で任期満了となる教員37名のうち、再任申請があった36名の再任が認められた。申請のない1名は任期満了となる。	保健学部門会議資料
平成23年7月6日	平成24年度のカリキュラム改正	平成24年度の看護学専攻、放射線技術科学専攻、検査技術科学専攻のカリキュラム改正案を承認した。	保健学部門会議資料
平成23年9月7日	保健学部門長選考内規の制定	保健学部門長選考内規を制定した	保健学部門会議資料
平成23年10月	グローバル30に基づく保健学専攻修士課程アジア保健学コースの開始	グローバル30に基づく保健学専攻修士課程アジア保健学コースが開始し、1名が入学した。	保健学部門会議資料
平成23年10月5日	博士後期課程の入学試験科目の変更	平成25年度大学院医学系学府保健学専攻博士後期課程の入学試験について、入試区分を一本化すること、「英語」と「小論文」を「英語（小論文）」に変更、「専門科目」と「面接」を「口頭試問」に変更、することを承認した。	保健学部門会議資料
平成23年11月2日	九州大学病院長選考規則の一部改正	九州大学病院長選考規則の一部を改正した。	保健学部門会議資料
平成23年11月2日	医学物理士養成コースの施設認定の申請	九州がんプロフェッショナル養成プランにおいて、医学物理士養成コースの施設認定の申請を行うことを承認した。	保健学部門会議資料
平成24年1月11日	保健学部門長選挙	保健学部門長選挙を行い、次期保健学部門長として平田秀紀教授を選出した。	保健学部門会議資料
平成24年2月8日	九州大学病院長候補者の選出	九州大学病院長候補者として久保千春候補を選出した。	保健学部門会議資料
平成24年2月8日	平成24年度の委員会組織の見直し	保健学部門内の委員会を整理統合した。	保健学部門会議資料
平成24年3月	中期目標・中期計画の実施状況	「中期目標・中期計画」の平成22年度実施状況を作成した。	保健学部門会議資料

2. 教育活動

年月日	事項	活動の概要	資料
平成23年4月7日	学部入学式	新入生137名（看護:69、放射:34、検査:34）が入学した。	保健学科 学年暦
平成23年4月9日	大学院入学式	修士28名（看護:8、医用量子:14、検査技術:6）、博士11名（看護:6、医療技術:5）が入学した。	保健学専攻 学年暦
平成23年4月23日、24日	新入生合宿研修	新入生、2年生のリーダーと教員が1泊2日の合宿研修を福岡県立社会教育総合研修センター（糟屋郡篠栗町）にて行った。	学生委員会 議事録
平成23年6月17日	就職セミナー	参加：3年生112名 会場：コラボステーション I 福岡県若者しごとサポートセンターから講師を招き、三専攻合同での研修会を開催した。	学生委員会 議事録

年月日	事項	活動の概要	資料
平成23年8月26日	修士課程入学試験		保健学専攻 学年暦
平成23年9月21日	保健学部門FD	会場：総合研究棟105室 「大学教育の現状と今後のあり方」 丸野理事を迎え、九州大学における全学教育の今後の方向性について学び、保健学部門における全学教育について意見交換を行った。	平成23年度保健学部門FD報告書
平成23年9月22日	博士課程入学試験(春)		保健学専攻 学年暦
平成23年9月26日	卒業式・学位記授与式(秋)	学士 4名(看護: 3、放射: 1、検査: 0)	保健学専攻 学年暦
平成23年10月	修士課程国際コースG30学生の受け入れ	Jin Ze(中国)が入学した(医用量子線科学領域、指導教員: 有村准教授)。	大学院委員会 議事録
平成24年1月14日、15日	大学入試センター試験		保健学科 学年暦
平成24年1月28日	入学者選抜個別学力検査(AOⅡ)		保健学科 学年暦
平成24年2月19日	就職セミナー	参加: 3年生71名(放射39名, 検査32名) 会場: 5番講義室 インターナショナル・エアアカデミーから講師を招き、就職活動に重要なマナーを中心とした研修会を開催した。	学生委員会 議事録
平成24年2月25日、26日	入学者選抜個別学力検査(前期)		保健学科 学年暦
平成24年2月25日、26日、27日	入学者選抜個別学力検査(帰国子女・私費外国人)		保健学科 学年暦
平成24年3月24日	卒業式・学位記授与式	学士129名(看護:65、放射:32、検査:32) 修士 23名(看護: 4、量子: 9、検査:10) 博士 3名(看護: 1、技術: 2) 保健学専攻博士課程1期生が学位を修得した。	保健学科 学年暦 保健学専攻 学年暦

3. 国際交流

年月日	事項	活動の概要	資料
	教育の質向上支援プログラム(EEP H23-24)による教員の海外派遣	14名の教員を、韓国・台湾・ベトナム・マレーシア・米国・英国に派遣した。 韓国: 平田秀紀教授・杜下淳次教授・赤坂勉助教(1月17日-19日) 台湾: 木下由美子助教・仲道由紀助教(2月16日-19日)、杉島節夫教授(2月16日-18日) ベトナム: 有村秀孝准教授(1月8日-13日) マレーシア: 梅村創教授・渡邊寿美子助教(2月14日-16日) 米国: 前野有佳里講師(2月20日-3月3日)、藤本秀士教授(10月26日-11月2日) 英国: 納富昭弘准教授(12月1日-2月29日)	教育の質向上支援プログラム(EEP) 成果報告書
平成23年7月14日～平成23年12月31日	日本学術振興会、若手研究者招聘事業～東アジア首脳会議参加国からの招聘～	東アジアサラセミア研究ネットワークとの連携による若手研究者育成プログラム(コーディネータ: 梅村 創)	若手研究者招聘事業報告書

年月日	事項	活動の概要	資料
平成23年11月21日	保健学国際フォーラム	会場：百年講堂大ホール 合同講演会「保健学教育と研究」Ass Prof Nisarath Opartkiattikul (Thai Society of Clinical Pathology), Prof D Gonchigsuren (Ministry of Health, Mongolia), Prof Agnes Tiwari (Univ of Hong Kong) 分野別企画：学生セッション	保健学国際フォーラム プログラム

4. 社会連携

年月日	事項	活動の概要	資料
平成23年7月2日	大学院説明会	大学院受験希望者を対象に、大学院の概要についての説明会を開催した。 参加者：修士課程希望者35名、博士後期課程希望者12名 会場：総合研究棟15およびサイエンスカフェ	保健学部門会議 議事録 入試実施委員会 議事録
平成23年8月8日	オープンキャンパス	将来に受験を考えている高校生を対象にオープンキャンパスを開催した。参加者1,050名。 全体説明会：百年講堂 専攻別企画：保健学科本館にて、専攻ごとに展示・体験コーナー・相談窓口などを企画した。	学生委員会 議事録
平成23年9月10日	保健学公開講座	会場：百年講堂中ホール テーマ：がんを知る 「薬で治す白血病」梅村創教授、「小児の緩和ケアと子どもホスピス」濱田裕子准教授、「乳癌の画像診断」藪内英剛准教授 参加者：77名	保健学公開講座 プログラム
	高校への出前講義を実施した。	10月5日：佐世保北高校（納富昭弘准教授） 10月21日：東筑高校（大池美也子教授） 10月26日：城南高校（原田博子准教授） 12月6日：明善高校（杉島節夫教授）	学生係 記録

5. その他

年月日	事項	活動の概要	資料
平成23年～24年	教育の質向上支援プログラム(EEP) 「国際化と学際化に対応する教育・教材の開発」	平成23年、24年の2年間の予定で採択された。今年度が1年目。経費400万円/2年（うち部局負担130万円）	教育の質向上支援プログラム(EEP) 成果報告書
平成21年～25年	文部科学省大学改革推進事業「看護師の人材養成システムの確立」 「看護実践力プロッサム開花プロジェクト」	九州大学病院看護部との共同で、平成21年から5年間の予定で採択された。今年度が3年目。	保健学部門会議資料 「看護実践力プロッサム開花プロジェクト」報告書
平成19年度～23年度	九州がんプロフェッショナル養成プラン（大学改革推進等補助金）	文部科学省の「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」で選定され、九州におけるがん医療に関する指導者リーダーを養成し、がん医療の均てん化を図る取組。がん専門看護師、医学物理士、細胞検査士の育成を行うとともに、シンポジウム開催等を行う。平成23年度は各コースで計16名（0名、14名、2名）を受け入れ、計13名（1名、9名、3名）が修了、計7名（0名、5名、2名）が合格した。	保健学部門会議資料 http://www.k-ganpro.com/html/9_topics/img/file4.pdf
平成23年4月6日	保健学部門資料室の設置	保健学科本館1階に資料室を設置することが承認された（旧休養室）。	保健学部門会議資料

年月日	事項	活動の概要	資料
平成24年3月	名誉教授の選出	退職する北原悦子教授（看護学分野）が名誉教授に推薦され、教育研究評議会（全学）で決定された。	保健学部門会議資料

6. 主な人事異動

年月日	事項	活動の概要	資料
平成23年12月31日	中尾富士子（看護・講師）	退職（熊本大学准教授へ）	
平成24年3月31日	田宮貞史（検査技術・准教授）	退職（北九州市立医療センター部長へ）	
平成24年3月31日	平田伸子（看護・教授）	退職（帝京大学教授へ）	
平成24年3月31日	北原悦子（看護・教授）	退職（愛媛県立医療技術大学教授へ）	
平成24年3月31日	大澤進（検査技術・教授）	定年退職（千葉科学大学教授へ）	

2. 各分野の活動

◇ 看護学分野の活動

1. 沿革に関わる事項

年月日	事項	活動の概要	資料
平成23年4月7日 平成23年4月21日 平成23年6月22日 平成23年7月1日 平成23年7月13日 平成23年9月22日 平成23年10月28日 平成23年11月29日 平成23年12月26日 平成24年1月20日 平成24年2月27日 平成24年3月21日	看護学分野会議	分野の全教員の参加による、分野の運営等に関する検討会を開催した。	分野会議議事録
平成23年2月16日	がん看護専門看護師養成課程認定	日本看護系大学協議会よりがん看護分野の専門看護師教育課程と認定された。	分野会議議事録
平成23年3月	がん看護専門看護師コース	がん看護専門看護師コースを2名の学生が修了した。	専門看護師教育課程認定証

2. 教育活動 1) 学生・教員

年月日	事項	活動の概要	資料
平成23年4月	学部生（第9期）の入学	担任：樗木晶子教授、木下義晶准教授、寺岡佐和講師、木村一絵助教	分野会議議事録
平成24年1月6日	看護学分野FD	教職員の看護研究能力の向上を目指してニューヨーク市立大学Hunter collegeより米国看護教育及び研究の第一人者であるDr. NokesとDorothy Hickey氏を招聘し、「Choosing a Research instrument or tool」「Writing for professional journals」の講演を開催した。（参加者31名）	平成23年度看護学分野FD報告書

2. 教育活動 2) 実習関係

年月日	事項	活動の概要	資料
平成23年4月6日 平成23年5月16日 平成23年6月23日 平成23年7月28日 平成23年9月7日 平成23年10月3日 平成23年11月30日 平成24年1月18日 平成24年2月13日 平成24年3月21日	実習委員会	各看護領域の実習科目責任教員による、臨地実習の運営等に関する検討会を開催した。	実習委員会議事録
平成23年 通年	臨地実習に関する説明会（九大病院以外）	老年、精神、在宅、地域、助産領域の臨地実習に関して、各実習施設において、実習指導者に説明会を行った。	分野会議議事録
平成23年6月21日 平成23年11月28日 平成24年1月10日 平成24年3月27日	福岡県地域看護実習連絡協議会	保健師課程を置く県内大学等が、地域看護学実習を円滑かつ適正に実施するため、協議会に出席した。	実習委員会議事録
平成23年5月	総合実習に関する実習説明会	看護学専攻4年生の総合実習に関して、各実習施設において、実習指導者に説明会を行った。	実習要綱

年月日	事項	活動の概要	資料
平成23年6月1日	実習連絡会議 (九州大学病院)	看護学専攻3年生～4年生の臨地実習に関して、分野教員、看護部、看護師長、指導者との会議を行った。	実習連絡会議議事録

2. 教育活動 3) 選抜試験

年月日	事項	活動の概要	資料
平成23年8月17日	助産師課程選抜試験	看護学専攻3年生の助産師課程志願者について、論文試験と面接を行った。	分野会議議事録

2. 教育活動 4) 研究発表会

年月日	事項	活動の概要	資料
平成23年10月-11月	講座卒業研究中間発表会	看護学専攻4年生が、各講座において、卒業研究の中間発表会を行った。	分野会議議事録
平成23年12月12日	卒業研究発表会	看護学専攻4年生が卒業研究の成果発表を行った。	卒業研究抄録集
平成23年9月27日	修士課程 看護学特別研究の中間発表会	修士課程大学院生の研究の進捗状況について、中間発表会を行った。	分野会議議事録
平成24年3月3日	博士後期課程特別研究の中間発表	博士後期課程大学院生の研究の進捗状況について、中間発表会を行った。	分野会議議事録

2. 教育活動 5) 国家試験

年月日	事項	活動の概要	資料
平成23年 4回/年	国家試験学内模擬試験	看護学専攻4年生を対象に国家試験の学内模擬試験を行った。	分野会議議事録
平成24年1月5日	助産師国家試験学内模擬試験	医学部保健学科看護学専攻4年生助産師教育課程選択学生を対象に助産師国家試験の学内模擬試験を行った。	分野会議議事録
平成24年2月	第101回看護師国家試験、第96回保健師国家試験、第95回助産師国家試験	3日間にわたって国家試験が行われた。看護師国家試験100%、保健師国家試験98.5%、助産師国家試験90%の合格率だった。	分野会議議事録

3. 国際交流

年月日	事項	活動の概要	資料
平成23年11月21日	第6回九州大学保健学国際フォーラム Sutudents' Meeting	香港大学の学生1名と本学学生4名が、各大学での国際的活動について英語で発表・ディスカッションを行った。	分野会議議事録
平成24年1月6日	K. Nokes先生(NY市立大学)講演会	テーマ「米国における看護研究の進め方」について講演した。 参加者：看護学学部生・院生・教員 看護学分野の主催で実施した。	分野会議議事録
平成24年2月16日-19日	協定打ち合わせ、研修(中国 台湾・高雄市 高雄医学大学)	目的：大学間連携協定締結の協議 大学病院施設見学 訪問先：台湾高雄医科大学 川本教授他	分野会議議事録
平成24年2月20日-3月3日	NY市立ハンター校を訪問	学術交流協定に基づき下記の内容を行った。 ・大学院教育課程の教授法を学ぶ ・講義への参加 ・病院、リハビリ施設訪問 (前野有佳里講師)	分野会議議事録

年月日	事項	活動の概要	資料
平成24年3月8日 -14日	研修、視察 (New York市立大学, Hunter Bellevue School of Nursing)	学術交流協定 内容：・新学部長への挨拶 ・がん看護養成コース、博士課程について意見交換 ・大学院教育の実践及び研究活動に関する研修 (川本利恵子教授、宮園真美助教)	分野会議議事録

4. 社会連携 1)人材育成

年月日	事項	活動の概要	資料
平成23年 12回/年	九州大学病院実習指導者研修会	臨地実習指導における目的、方法、評価及び指導者と教員の役割等について毎月講師を派遣し教育を行った。 (川本利恵子教授他3名)	分野会議議事録
平成23年 新人看護師育成プログラム (毎月) 実習指導要項開発プログラム (毎月) 人事交流 通年	看護実践力プロッサム開花プロジェクト	文部科学省大学改革推進事業「看護職キャリアシステム構築プラン、看護実践力プロッサム開花プロジェクト」への情報提供、指導、助言を実施した。(川本利恵子教授、大池美也子教授、藤野成美講師、末次美子助教、金岡麻希助教、宮園真美講師) 病院からの人事交流者：大村由紀美氏	看護実践力プロッサム開花プロジェクト報告書
平成23年8月15日 -9月16日	九州大学病院プロッサム人事交流	学生の看護管理教育に生かす目的で、大学病院の中央材料部・安全管理部・感染制御部・ARO臨床研究センターへ各3日研修を行った。	看護実践力プロッサム開花プロジェクト報告書
平成23年 通年	福岡県専任教員養成講習会	専任教員養成課程の講義・演習を行った。	福岡県専任教員養成講習会資料

4. 社会連携 2)看護教育協議会など

年月日	事項	活動の概要	資料
平成23年6月4日 -5日	通算47回全国助産師教育協議会	東京で開催された。厚生労働省医政局看護課 岩崎氏、文部看護専門官 石橋氏、児童家庭局 母子保健課 杉田氏の講演があった。平成22年度活動報告および平成23年度活動方針決議が行われた。	分野会議議事録
平成23年6月6日	国立大学保健医療学系代表者協議会	山梨で開催された国立大学保健医療学系代表者協議会に出席し、看護基礎教育、大学院教育、組織等についての協議を行った。	分野会議議事録
平成23年度 通年	国立大学保健医療学系代表者協議会・分科会：看護基礎教育検討委員会	看護基礎教育検討委員会委員として、基礎教育の課題と取組みに関してをメール会議を含めて意見交換を行った。	医療系代表者協議会組織検討委員会議事録
平成23年度 通年	国立大学保健医療学系代表者協議会・分科会：大学院教育検討委員会	大学院教育検討委員会委員として、大学院教育の充実に関してメール会議を含めて意見交換を行った。	医療系代表者協議会組織検討委員会議事録
平成23年度 通年	国立大学保健医療学系代表者協議会・分科会：組織検討委員会	組織検討委員会委員として、大学教育の整備および充実に関してメール会議を含めて意見交換を行った。	医療系代表者協議会組織検討委員会議事録
平成23年6月10日	全国保健師教育機関協議会定時社員総会	東京で開催された総会に出席し、会運営のあり方について検討を行った。	分野会議議事録
平成23年6月20日	平成23年度 日本看護系大学協議会臨時総会	東京で行われた臨時総会に出席した。日本看護系大学協議会の法人化、専門看護師教育課程について協議を行った。	分野会議議事録

年月日	事項	活動の概要	資料
平成23年6月24日	平成23年度国立大学助産師教育専任教員会議（広島）	助産師教育の議題を協議した。 議題：①臨床教育に協力する職業人に対する称号付与について ②臨床教授等の助産師教育への関わり方	分野会議議事録
平成23年7月30日-31日	全国保健師教育機関協議会総会、および研修会	東京で開催された総会研修会に出席し、会運営のあり方、保健師教育のあり方について検討を行った。	分野会議議事録
平成23年8月18日-19日	第24回全国保健師教育機関協議会九州ブロック定例会	鹿児島市にて開催された協議会に出席し、保健師教育のあり方について検討を行った。	分野会議議事録
平成23年10月24日-26日	平成23年度看護学教育ワークショップ	千葉大学において、「看護教育への提言」の講演の後、教員の教育力を高める取り組みについてのGWを行った。	分野会議議事録
平成23年12月2日	医療系代表者協議会組織検討委員会	医療系代表者協議会組織検討委員会委員として参加し意見交換を行った。 場所：高知市文化プラザポート	医療系代表者協議会組織検討委員会議事録
平成24年2月2日	第3回福岡県助産師教育連絡会議	福岡県下の助産師教育担当者および行政助産師、看護協会助産師職能委員との交流会議を行った。	分野会議議事録
平成24年2月4日	全国保健師教育機関協議会九州ブロック第2回研修会	鹿児島市で開催された第2回の研修会に参加し、今後必要とされる保健師活動と保健師教育をテーマに検討した。	分野会議議事録

4. 社会連携 3) 公開講座

年月日	事項	活動の概要	資料
平成23年9月10日	九州大学医学部保健学科公開講座「がんを知る」講演	地域住民の方を対象にテーマ「小児の緩和ケアと子どもホスピス」の講演を実施した。	公開講座資料

4. 社会連携 4) がんプロフェッショナル養成プラン

年月日	事項	活動の概要	資料
平成23年5月13日	九州がんプロフェッショナル養成プラン：がんプロ全国5拠点実務担当者会議	場所：品川カンファレンスセンター 内容：がんプロeラーニングシステムに関する意見交換があった	がんプロ全国5拠点実務担当者会議議事録
平成23年5月9日、7月4日	九州がんプロフェッショナル養成プラン	九州がんプロフェッショナル養成協議会に参加し、意見交換と看護師系作業部会について報告した。	九州がんプロフェッショナル養成協議会議事録
平成24年1月6日	九州がんプロフェッショナル養成プラン	Kathleen Nokes先生（NY市立大学）の『Symptom management』、鈴木 美穂先生（スローンケタリング病院, USA）の『NP（ナースプラクティショナー）としての仕事』、Dorothy Hickey先生（NY市立大学）の『Mental health concern and cancer』の講演会を行った。	九州がんプロ養成基盤推進プランホームページ
平成24年3月24日-25日	九州がんプロフェッショナル養成プラン	場所九州大学病院地区総合研究棟 テーマ：ELNEC - Jコアカリキュラム看護師教育プログラム 研修内容：研修会を開催し緩和ケアに関わる看護師に対する研修会を行った。	九州がんプロ養成基盤推進プランホームページ

5. その他

年月日	事項	活動の概要	資料
平成23年11月1日-2日	第16回日本看護サミット福岡	福岡県看護協会主催による第16回日本看護サミットに協力した。	https://apollon.nta.co.jp/kangol6/
平成23年7月9日	第11回日本母子看護学会学術集会	第11回日本母子看護学会学術集会の企画実行を担当した。(会長 平田伸子)	日本母子看護学会学術集会資料
平成24年3月29日	第1回子どもホスピスネットワークミーティング	開催を主催した(多施設、多職種間で福岡における子どもホスピスの設立に向けての検討および病気を抱える子どもの事例検討を行なっている)。	子どもホスピスネットワークミーティング資料

◇ 医用量子線科学分野の活動

1. 沿革に関わる事項

年月日	事項	活動の概要	資料
平成23年4月14日 平成23年5月17日 平成23年6月7日 平成23年7月12日 平成23年9月13日 平成23年10月6日 平成23年11月22日 平成23年12月27日 平成24年1月16日 平成24年1月30日 平成24年2月14日 平成24年3月12日	医用量子線科学分野 分野会議	分野の全教員の参加による、分野の運営等に関する検討会を開催した。	分野会議議事録
平成24年1月30日	医用量子線科学分野 分野長選挙	医用量子線科学分野 分野長選挙を行い、次期分野長として佐々木雅之教授を選出した。	分野会議議事録

2. 教育活動

年月日	事項	活動の概要	資料
平成23年4月7日	学部生（第8期）の 入学	主担任：高橋昭彦准教授、 副担任：豊福不可依教授	学生便覧 分野会議議事録
平成23年4月15日 平成23年11月24日	臨地実習に関する検 討会。	医学部保健学科放射線技術科学専攻4年生の臨地実習に関して、実習施設3か所の指導者による検討会を行った。	分野会議議事録
平成23年4月27日 平成23年8月8日 平成23年10月8日 平成23年12月23日 平成24年1月26日 平成24年2月6日	国家試験学内模擬試 験	医学部保健学科放射線技術科学専攻4年生を対象に国家試験の学内模擬試験を行った。	分野会議議事録
平成23年5月25日	修士課程 中間発表 会	修士課程大学院生8名の研究の進捗状況について発表会を行った。	分野会議議事録
平成23年8月31日	学生懇親ソフトボ ール大会	学部1～4年生、大学院生の合計50名が参加し、病院地区グラウンドにおいてソフトボールを通じて懇親を深めた。	分野会議議事録
平成23年10月11日 ～17日	修士課程G30特別講 義	Rangaraj M Rangayyan (カルガリー大学 教授)	分野会議議事録
平成23年12月8日 ～9日	卒業研究発表会	医学部保健学科放射線技術科学専攻4年生が卒業研究の成果発表を行った。 終了後3年生主催の学生交流会を開催した。	分野会議議事録
平成24年2月21日 ～24日	修士課程G30特別講 義	Ritsuko Komaki (テキサス大学MDアンダーソン 癌センター)	分野会議議事録
平成24年2月21日 、23日	先端技術セミナー	医学部保健学科放射線技術科学専攻学生、医学系学府保健学専攻修士課程大学院生を対象に、最新医療機器の先端技術に関する紹介を行った(6社)。	分野会議議事録
平成24年3月31日	第64回診療放射線技 師国家試験	新卒者31名中30名、既卒者2名中2名が合格した。	官報

3. 国際交流

年月日	事項	活動の概要	資料
	教育の質向上支援プログラム (EEP H23-24) による教員の海外派遣	韓国：平田秀紀教授・杜下淳次教授・赤坂勉助教（1月17日-19日） ベトナム：有村秀孝准教授（1月8日-13日） 英国：納富昭弘准教授（12月1日～2月29日）	分野会議議事録

4. 社会連携

年月日	事項	活動の概要	資料
平成23年5月	福島での放射線測定支援活動	豊福不可依教授、納富昭弘准教授を派遣した。	分野会議議事録
平成23年6月23日	第12回国立大学診療放射線技師教育施設協議会	鹿児島市にて開催された協議会に出席し、診療放射線技師に関する教育、国家試験の内容、就職等についての検討を行った。	分野会議議事録
平成23年6月24日	第56回全国診療放射線技師教育施設協議会	鹿児島市にて開催された協議会に出席し、診療放射線技師に関する教育、国家試験の内容、就職等についての検討を行った。	分野会議議事録
平成23年9月29日～10月1日	第102回 医学物理学会 第11回 アジアオセアニア医学物理学会 第6回 日韓医学物理学術合同大会	会場：百年講堂 大会長：豊福不可依教授 アジア・オセアニアにおける医学物理学に関する国際会議で、アジア各国から169名、合計555名が参加した。発表総数316題。	学会抄録集

5. その他

年月日	事項	活動の概要	資料
平成23年8月3日	医用量子線セミナー第3回	「放射線画像診断における計算知能」 「留学のすすめ」 鈴木賢治（シカゴ大学）	医用量子線セミナープログラム 分野会議議事録
平成23年10月11日	医用量子線セミナー第4回	「カルガリー大学における教育及び研究」 Rangaraj M Rangayyan（カルガリー大学 教授）	医用量子線セミナープログラム 分野会議議事録
平成23年11月	放射線取扱主任者試験第一種国家試験	合格者 2年生：1名 3年生：8名 4年生：14名 卒業生：5名	官報
平成23年11月5日6日	第7回九州放射線医療技術学術大会における学生の発表	会場：鹿児島県文化センター 学部生：19名 院生：7名	学会抄録集
平成23年11月	医学物理士試験	6名が合格した。	分野会議議事録 http://www.k-ganpro.com/html/9_topics/img/file4.pdf
平成24年2月20日	医用量子線セミナー第5回	「広島と自伝」 Ritsuko Komaki（テキサス大学MDアンダーソン癌センター）	医用量子線セミナープログラム 分野会議議事録
平成23年度	学生筆頭論文数	原著論文：7編（英文5編） 国際会議報告：14編（英文10編） *卒業生は在籍時の研究内容についての論文に限る。	

6. 特筆すべき実績、受賞・特許など

年月日	事項	活動の概要	資料
平成23年 4月	第67回 日本放射線技術学会 総会学術大会	学生賞 (峠 理沙)	学会抄録集
平成23年 4月	第67回 日本放射線技術学会 総会学術大会	座長推薦優秀研究発表賞 (1) (田中延和)	学会抄録集
平成23年 4月	第67回 日本放射線技術学会 総会学術大会	座長推薦優秀研究発表賞 (2) (津田吏規)	学会抄録集
平成23年 9月	6th Japan-Korea Joint Meeting on Medical Physics 11th Asia-Oceania Congress of Medical Physics (JKMP-AOCMP Congress 2011)	Poster Award (RisaToge)	学会抄録集
平成23年10月	6th Japan-Korea Joint Meeting on Medical Physics 11th Asia-Oceania Congress of Medical Physics (JKMP-AOCMP Congress 2011)	Second Place in Young investigator Symposium (Magome T)	学会抄録集
平成23年10月	EANM 11 - Annual Congress of the European Association of Nuclear Medicine	Best Poster Award 2011 (赤松剛)	学会抄録集
平成23年10月	第39回日本放射線技術学会秋季学術大会	座長推薦優秀研究発表賞 (江崎正二)	学会抄録集
平成23年11月	第24回 日本放射線腫瘍学会	優秀演題賞 (桑水流 純平)	学会抄録集
平成24年 2月	SPIE Medical Imaging	Conference Finalist of the Best Student Paper Award (Magome T)	学会抄録集
平成24年 3月	European Congress of Radiology	Invest in the Youth (Shogo Tokurei)	学会抄録集
平成24年 3月	European Congress of Radiology	Invest in the Youth (Risa Topge)	学会抄録集
平成24年 3月	European Congress of Radiology	Cum Laude (河窪正照)	学会抄録集
平成24年3月	特願2012-69606号 (QP110196)	放射線ビームアングル決定システム, 放射線ビームアングル決定方法及び放射線ビームアングル決定用コンピュータプログラム (有村秀孝, 馬込大貴他)	
平成24年2月	特願2012-41569号 (QP110195)	粒子線ビーム方向決定システム, 粒子線ビーム方向決定方法及び粒子線ビーム方向決定コンピュータ用プログラム, (有村秀孝, 垣内玄雄他)	

7. 大型設備・機器の整備

年月日	事項	活動の概要	資料
平成24年3月	医用量子線科学	診断用X線装置（島津UD150L-40）	

◇ 検査技術科学分野の活動

1. 沿革に関わる事項

年月日	事項	活動の概要	資料
平成23年 4月13日 平成23年 5月11日 平成23年 6月1日 平成23年 7月6日 平成23年 9月7日 平成23年10月5日 平成23年11月2日 平成23年12月16日 平成24年 1月11日 平成24年 2月1日 平成24年 3月7日	検査技術科学分野分野会議	分野全員の参加による、分野の運営に関する検討会を開催した	各回議事録

2. 教育活動

年月日	事項	活動の概要	資料
平成23年 7月20日 平成24年 1月26日	臨地実習に関する検討会および説明会。	医学部保健学科検査技術科学専攻4年生の臨地実習に関して、九州大学病院検査部担当者と情報交換会を行った。	議事録
平成23年 9月17日 平成23年11月12日 平成24年 1月13日	国家試験学内模擬試験	医学部保健学科検査技術科学専攻4年生を対象に国家試験の学内模擬試験を行った。	国家試験模擬試験
平成23年 8月 9日	卒業研究 中間評価	医学部保健学科検査技術科学専攻4年生を対象に卒業研究の進捗状況についての評価を行った。	卒業研究中間評価
平成23年 9月30日	修士課程 中間発表会	修士課程大学院生 9名の研究進捗状況について発表会を行った。	研究発表会抄録集
平成23年 9月30日	研究室紹介	医学部保健学科検査技術科学専攻3年生を対象とした卒業研究に向けての各研究室の詳細について説明会を行った。	各研究室紹介スライド
平成23年12月27日	卒業研究 発表会	医学部保健学科検査技術科学専攻4年生が卒業研究の成果発表を行った。	卒業研究発表会抄録集
平成24年 2月13日	修士論文最終試験発表会	修士課程大学院生10名の修士論文について発表会を行った。	修士論文発表会抄録集
平成23年7月27日 平成24年2月10日	検査技術科学分野FD	新規カリキュラムについて各科目の内容、責任教員、担当教員について検討するFDを開催した。	議事録

3. 国際交流

年月日	事項	活動の概要	資料
	教育の質向上支援プログラム(EEP H23-24)による教員の海外派遣	台湾：木下由美子助教・仲道由紀助教（2月16日-19日）、杉島節夫教授（2月16日-18日） マレーシア：梅村創教授・渡邊寿美子助教（2月14日-16日） 米国、藤本秀士教授（10月26日-11月2日）	教育の質向上支援プログラム(EEP) 成果報告書

4. 社会連携

年月日	事項	活動の概要	資料
平成23年4月 ～平成24年3月	NHK福岡放送局健康番組企画	市民の健康管理に関わる番組「いきいき健康塾」の制作に梅村 創教授が参加した。	九州大学教員データベース

年月日	事項	活動の概要	資料
平成23年6月26日 平成23年8月21日 平成23年10月30日 平成23年12月18日 平成24年2月19日	福岡県臨床衛生検査技師会の福岡アカデミー研修会の開催	大澤 進 教授、外園 栄作 助教は県内臨床化学検査に従事している臨床検査技師を対象に研修会を学内で開催した	アカデミー案内通知 およびカリキュラム
平成23年11月24日	福岡臨床検査技師会一般検査部門勉強会	福岡市臨床検査技師会一般検査部門勉強会において小島 夫美子 講師が”国内における寄生虫感染の現状”と題して勉強会の講師を務めた。	開催案内状

5. その他

年月日	事項	活動の概要	資料

6. 特筆すべき実績・受賞・特許など

年月日	事項	活動の概要	資料
平成23年4月	特許取得	液体試料中のアルブミンを測定するための液状試薬（出願者；外園 栄作、笹野善愛、大澤 進）	特許第4733595号
平成23年4月	特許取得	液体試料の総蛋白質を測定するための液状試薬（出願者；外園栄作、笹野善愛、大澤 進）	特許第4733596号
平成23年11月11日	厚生労働大臣表彰	杉島 節夫 教授は福岡県臨床検査技師会の副会長として学術活動に貢献したことにより表彰された。	受賞通知文面
平成23年11月11日	厚生労働大臣表彰	大澤 進 教授は日本臨床検査技師会に於いて全国の臨床検査データの標準化の推進とその成果に対して表彰された。	受賞通知文面

3-1. 教員の活動：看護学分野

看護学分野

《基礎看護》

教授	大池 美也子
教授	北原 悦子
准教授	長家 智子
准教授	原田 博子
講師	丸山 マサ美
助教	道面 千恵子
助教	中島 充代 (H.24 1月より)

1. 教育活動

1. 大学院講義

大池美也子		
コンサルテーション論(分担)		前期
がん看護特論(分担)		前期
看護学研究方法論Ⅱ(分担)		前期
看護教育論(分担)		前期
看護教育方法開発学Ⅰ(分担)		前期
長家智子		
看護教育方法開発学Ⅰ(分担)		前期
基礎看護学特論Ⅰ(分担)		後期
基礎看護学特論Ⅱ(分担)		前期
看護教育論(分担)		前期
原田博子		
看護教育論(分担)		後期
医療と生命倫理(分担)		後期
看護組織・マネジメント論(分担)		後期
丸山マサ美		
医療と生命倫理(分担)		後期

2. 大学院実験・実習 なし

3. 大学院演習

大池美也子		
保健学特別研究(分担)		通年
がん看護演習Ⅱ(分担)		後期
がん看護演習Ⅲ(分担)		後期
基礎看護学特論Ⅰ(分担)		後期
基礎看護学特論Ⅱ(分担)		後期
基礎看護学特論Ⅲ(分担)		前期

長家智子	
基礎看護学特論Ⅰ(分担)	後期
基礎看護学特論Ⅱ(分担)	後期
基礎看護学特論Ⅲ(分担)	前期
保健学特別研究(分担)	通年
原田博子	
基礎看護学特論Ⅰ(分担)	後期
基礎看護学特論Ⅱ(分担)	後期
基礎看護学特論Ⅲ(分担)	前期
保健学特別研究(分担)	通年

4. 大学院修士課程修了者

蔵田康子 事例検討会を用いたアクションリサーチによる看護師の「インフォームドコンセント教育プログラム」開発

5. 大学院博士課程修了者 なし

6. 学部講義

大池美也子	前期
生活環境とコミュニケーション(分担)	前期
看護理論(分担)	前期
生活援助技術(分担)	前期
症状ケア技術(分担)	後期
卒業研究	後期
北原悦子	
生活環境とコミュニケーション(分担)	前期
看護理論(分担)	前期
生活援助技術(分担)	前期
症状ケア技術(分担)	後期
長家智子	
生活環境とコミュニケーション(分担)	前期
看護過程論	後期
看護管理・看護教育論(分担)	後期
生活援助技術(分担)	前期
症状ケア技術(分担)	後期
卒業研究	後期
原田博子	
生活環境とコミュニケーション(分担)	前期
全学教育少人数セミナー(分担)	前期
看護管理・看護教育論	後期
生活援助技術(分担)	前期
症状ケア技術(分担)	後期
卒業研究	後期

丸山マサ美	
生活援助技術(分担)	前期
道面千恵子	
生活環境とコミュニケーション(分担)	前期
生活援助技術(分担)	前期
症状ケア技術(分担)	後期
卒業研究	後期
中島光代	
症状ケア技術(分担)	後期

7. 学部の実験・実習・演習

大池美也子	
生活環境とコミュニケーション(分担)	前期
生活援助技術(分担)	前期
症状ケア技術(分担)	後期
基礎看護学実習Ⅰ(分担)	前期
基礎看護学実習Ⅱ(分担)	後期
北原悦子	
生活環境とコミュニケーション(分担)	前期
生活援助技術(分担)	前期
症状ケア技術(分担)	後期
基礎看護学実習Ⅰ(分担)	前期
基礎看護学実習Ⅱ(分担)	後期
総合実習(分担)	前期
長家智子	
生活環境とコミュニケーション(分担)	前期
生活援助技術(分担)	前期
症状ケア技術(分担)	後期
基礎看護学実習Ⅰ(分担)	前期
基礎看護学実習Ⅱ(分担)	後期
総合実習(分担)	前期
原田博子	
生活環境とコミュニケーション(分担)	前期
生活援助技術(分担)	前期
症状ケア技術(分担)	後期
基礎看護学実習Ⅰ(分担)	前期
基礎看護学実習Ⅱ(分担)	後期
総合実習(分担)	前期
丸山マサ美	
生活援助技術(分担)	前期
基礎看護学実習Ⅰ(分担)	前期
道面千恵子	
生活環境とコミュニケーション(分担)	前期
生活援助技術(分担)	前期

症状ケア技術(分担)	後期
基礎看護学実習Ⅰ(分担)	前期
基礎看護学実習Ⅱ(分担)	後期
総合実習(分担)	前期
中島光代	
症状ケア技術(分担)	後期
精神看護学実習(分担)	後期

8. 卒業論文作成者

丸山絵美里	慢性疾患患者の指導にかかわる看護師の生活の捉え方に関する文献検討
関愛香	タッチングが患者および看護師にもたらす効果についての検討
矢野ひろみ	看護師の時間外労働に関する判例, 労災事案および文献検討
折原蓉子	在日外国人に対して災害時に看護師に求められる支援の文献検討
金子真紀	高齢者の避難生活に関連した深部静脈血栓症の発症リスクに関する文献検討
黒木麻衣子	手術室における患者の心理状態と手術室看護師のかかわり
諸永あずさ	がん告知時のインフォームドコンセントにおける看護師の役割
古賀美奈子	化学療法を受ける患者の生活上の思いと看護師の行うべき教育について
高比来れみ	筋萎縮性側索硬化症(ALS)患者の疾患や障害の需要を促す看護師の関わり
吉村明佑子	手術後, 継続して化学療法が必要となった患者に対する看護-化学療法告知時から治療開始まで

9. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導 なし

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1	患者教育におけるナラティブ・アプローチの構築	大池
2	看護学基礎教育における e-Learning 教材の開発	大池
3	患者教育における看護師の教育的かかわりモデルの開発と検証	大池
4	看護学生, 看護職の道徳的感性の実態と育成に関する研究	北原
5	看護経営に関する研究	北原
6	災害時の看護に関する研究	北原
7	看護の法律・法制度に関する研究	北原
8	PCI 術後患者の QOL と自己管理行動, 心理・社会的側面の関連性	長家
9	基礎看護学教育における看護診断・看護過程の教育効果に関する研究	長家
10	看護基礎教育における ICT 教材の開発と活用に関する研究	長家
11	ワーク・ライフ・バランスに関する研究(タイムマネジメント)	原田

12	安全管理・災害管理に関する研究	原田
13	看護師の労働安全に関する研究	原田
14	生命医学倫理(Biomedical Ethics)教育・臨床倫理(Clinical Ethics)教育に関する研究	丸山
15	史料研究(個人史・地方史, GHQ, 看護制度, 看護教育, 看護思想)	丸山
16	生殖補助医療における生命倫理研究	丸山
17	患者への教育・指導に対する効果的な関わりについての研究	道面
18	ICT学習システムの教育的評価	道面
19	看護技術教育に関する研究(教材研究)	道面
20	サイコオンコロジーに関する研究	中島
21	がん患者の意思決定	中島
22	統合失調症患者の心理教育	中島

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

大池美也子

- 「基盤研究(A)」 「看護の教育的関わりモデル」を活用したアクションリサーチとモデルによる介入効果, (連携).
- 「基盤研究(C)」 仕事経験を学習に転換する次世代リーダー育成プログラムの開発, (分担).
- 「基盤研究(C)」 インストラクショナルデザインを基盤としたICT活用教育教材の開発と評価, (分担).

長家智子

- 「基盤研究(C)」 インストラクショナルデザインを基盤としたICT活用教育教材の開発と評価, (代表).

原田博子

- 「基盤研究(C)」 インストラクショナルデザインを基盤としたICT活用教育教材の開発と評価, (分担).

道面千恵子

- 「基盤研究(C)」 インストラクショナルデザインを基盤としたICT活用教育教材の開発と評価, (分担).

3. 学内研究経費の受入れ なし
4. 奨学寄附金の受入れ なし
5. その他の外部研究資金の受入れ なし
6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

7. 研究成果の報告

- a. 学会誌・学術専門誌 なし
- b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス
 - Teruko Kawaguchi, Fumiko Yasukata, Yuko Hayashi, Miyako Oike, Michiyo Oka, et al: Action research using TK Model: Study Meetings Facilitated by an Education Expert, 第2回世界看護科学学会(WANS), 2011年07月14日, Mexico.
 - 山住康恵, 北川明, 石原逸子, 高橋清美, 日高艶子, 竹元仁美, 白水麻子, 松岡緑, 鐵井千嘉, 飯野英親, 小野正子, 前田由紀子, 北原悦子, 安酸史子: Factors that Affect

Turnover Rate and Voluntary Quitting of Jobs by Newly Graduated Nurses The 2nd WANS, 2011年7月, Mexico.

- 飯野英親, 小野正子, 前田由紀子, 日高艶子, 竹元仁美, 白水麻子, 松岡緑, 鐵井千嘉, 石原逸子, 高橋清美, 北原悦子, 山住康恵, 北川明, 松浦賢長, 安酸史子: An outreach approach to prevention turnover for newly graduate Japan -An Evaluation of the Caring Island Kyushu-Okinawa Project-International Hiroshima Conference on Caring and Peace, Hiroshima, 2012年3月, Japan.

c. 大学・研究機関などの刊行誌 なし

d. 調査研究報告

- 原田博子: 文部科学省教育支援事業, 医療現場との情報双方向性を持つ保健学教育, 災害発災時救助・救護活動机上シミュレーション教材(DVD)の作成.

e. 国内学会での講演, 発表

- 村井孝子, 原田博子, 長家智子, 大池美也子: 看護師の職務満足要因・離職要因に関する文献検討, 第16回日本看護研究学会九州・沖縄地方会学術集会, 2011年11月12日, 大分.
- 青木芳恵, 大池美也子, 長家智子: 緩和ケア病棟における看護師のプレゼンスに関する解釈学的現象学的研究, 第31回日本看護科学学会, 2011年12月02日, 高知.
- 鶴崎まり子, 大池美也子: 納得に関する文献的考察, 第26回日本がん看護学会学術集会, 2012年02月11日, 島根.
- 長家智子, 大池美也子, 原田博子, 道面千恵子: 学生の視点からみた静止IT教育教材の開発と評価, 第31回日本看護科学学会, 2011年12月02日, 高知.
- 山住康恵, 北川明, 日高艶子, 竹元仁美, 白水麻子, 松岡緑, 鐵井千嘉, 飯野英親, 小野正子, 前田由紀子, 石原逸子, 高橋清美, 北原悦子, 安酸史子: 看護管理者が看護系大学に望む新人看護師の離職防止対策の内容 日本看護学教育学会 第21回学術集会, 2011年8月, 埼玉.
- 前田由紀子, 飯野英親, 小野正子, 石原逸子, 高橋清美, 日高艶子, 白水麻子, 竹元仁美, 松岡緑, 中島富有子, 北原悦子, 山住康恵, 北川明, 安酸史子: 新人看護師の離職防止のために大学が取り組む支援 第31回日本看護科学学会学術集会, 2011, 高知.
- 山住康恵, 北川明, 松岡緑, 飯野英親, 前田由紀子, 小野正子, 日高艶子, 白水麻子, 高橋清美, 中島富有子, 北原悦子, 竹元仁美, 松浦賢長, 安酸史子: 新人看護師の早期離職予防に必要な職場環境に関する調査 第31回日本看護科学学会学術集会, 2011, 高知.
- 本田裕美, 長家智子, 村田節子: 慢性期看護における患者理解を促す教授の検討, 第17回日本看護診断学会学術集会, 2011年06月19日, 神戸.
- 新坂幸大, 原田博子, 長家智子: 災害の具体的イメージ化のための Disaster Imagination Gameの有効性, 第42回日本看護学会 看護総合, 2011年09月09日, 千葉.
- 田頭ゆかり, 豊福由香里, 児玉奈津子, 岩崎陸, 武末磨美, 長家智子: 二交替勤務女性看護師の蓄積的疲労感・主観的睡眠感と生活スタイル, 第42回日本看護学会 看護総合, 2011年09月08日, 千葉.
- 天野邦彦, 長家智子: 側臥位角度による経過時間ごとの安楽の変化についての検討, 第42回日本看護学会 看護総合, 2011年09月09日, 千葉.
- 長家智子, 原田博子: 机上シミュレーション活用による災害発災時救助・救護活動用教材開発, 第13回日本災害看護学会年次大会, 2011年09月10日, さいたま.
- 原田博子, 長家智子: 看護マネジメント実習の有効性と課題, 第15回日本看護管理学会年次大会, 2011年08月27日, 東京都新宿区西新宿.
- 長家智子: 簡単な事例で看護診断を学ぶ, 第17回日本看護診断学会学術集会, 2011年06月19日, 神戸.
- 長家智子: 看護診断の理解を促す, 九州看護理論研究会, 2011年05月28日, 福岡.

f. 学会以外での講演, 発表 なし

8. 著作

a. 単行本 なし

b. 総説

- 大澤栄美, 東めぐみ, 大池美也子: 看護の教育的関わりモデルで看護師はどう変わるのか, Nursing Today 26(6) 44-50, 2011年11月.
- 長谷川直人, 安酸史子, 太田美帆, 道面千恵子: 行動変容のプロモーター, Nursing Today 26(6), 2011年11月.
- 長家智子: 災害時救助・救護活動のための机上シミュレーション, 看護教育, 2012年03月.
- 原田博子: ワーク・ライフ・バランス 多様な勤務形態の「死角」対策 ～みんなが納得できる勤務表づくり～ ナースマネジャー, 日総研出版, Vol.13, No.7 13-17, 2011.
- 原田博子: [インタビュー] スタッフ一人ひとりを大切に, 働き続けられる職場づくりをめざして“みんなちがって, みんないい”, 看護管理, Vol.21, No.2 113-116, 2011.
- 原田博子: 新人看護師長のための基礎知識, 看護管理の3つの視点, 看護管理, Vol.21, No.8 704-726, 2011.

c. 解説, 書評など

- 原田博子: [書評・新刊案内] 実践ストレスマネジメント「辞めたい」ナースと「疲れた」師長のために 久保田聡美著, 医学書院週刊医学界新聞第2921号 P7, 2011年3月21日.

受賞 なし

報道 なし

4. 産学連携活動

1. 共同研究 なし
2. 受託研究 なし
3. 取得特許 なし
4. 兼業 なし
5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 長家, 高雄医学大学(Taiwan), 大学・研究所訪問, 2012年02月～2012年02月.

2. 外国人研究者の受入れ

- a. 訪問教授・研究員 なし
- b. 訪問研究者 なし

3. 留学生の受入れ なし

4. 学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

2. 全学委員

- 原田, 百人部会委員.

3. 部局委員

- 北原, 医系地区部局ヒトES細胞の樹立及び使用に関する倫理審査委員会.
- 長家, 中期計画委員.
- 長家, アジア遠隔医療開発センター運営会議.

4. 部門・コース内委員

- 大池, 地域国際連携推進委員会委員長.
- 大池, 将来計画・点検・評価委員会委員.
- 大池, 入試実施準備委員会委員.
- 北原, 人事委員.
- 北原, 教員業績評価委員.
- 北原, 大学院委員.
- 原田, FD実行委員.
- 長家, 年報委員.

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 大池, 九州看護福祉大学, 兼任教員.
- 大池, 福岡県立大学, 客員教員.
- 北原, 福岡県看護協会, 非常勤講師.

2. 学協会

- 大池, 福岡県医師会(看護師卒後研修)講師, 国内.
- 大池, 独立法人国立病院機構九州ブロック(実習指導者養成研修会), 講師, 国内.
- 大池, 福岡県糖尿病療養指導士研修会講師, 国内.
- 大池, 福岡県看護協会臨地実習指導者講習会講師, 国内.
- 大池, 福岡県看護協会(看護職者ファーストレベル)講師, 国内.
- 大池, 福岡県看護専任教員養成講習会講師, 国内.
- 大池, 福岡県教務主任研修講師, 国内.
- 大池, 日本看護学研究学会, 評議員, 国内.
- 大池, 日本看護学教育学会, 評議員, 国内.
- 大池, 日本がん看護学会, 評議員, 国内.
- 大池, 福岡県看護協会看護管理者認定委員会委員, 国内.
- 大池, 日本がん看護学会, 評議員, 国内.
- 大池, 日本看護研究学会九州・沖縄地区地方会, 会長, 国内.
- 大池, 日本医学看護教育学会, 評議員, 国内.
- 大池, 日本看護学教育学会, 専任査読者, 国内.
- 大池, 日本看護科学会誌和文誌, 査読委員, 国内.
- 大池, 日本看護研究学会誌, 査読委員, 国内.
- 大池, 日本看護医療学会誌, 査読委員, 国内.
- 北原, 日本看護診断学会, 評議員, 国内.
- 北原, 日本看護学教育学会, 査読委員, 国内.
- 北原, 日本看護診断学会, 評議員, 国内.
- 北原, 日本看護科学学会 代議員, 国内.
- 北原, 日本看護学教育学会誌, 査読委員, 国内.
- 北原, 国際ケアリング学会 演題(英文)査読委員, 国内.
- 長家, 日本看護診断学会, 評議員, 国内.
- 長家, 日本循環器看護学会, 理事, 国内.
- 原田, 地域へのワーク・ライフ・バランス普及推進プロジェクト委員長日本看護協会, 国内.
- 道面, 日本糖尿病教育看護学会誌, 査読委員, 国内.

3. 官界 なし

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 大池, 「平成 23 年度 e-learning を導入した看護師等養成所の専任教員養成講習会の実施方法に関する検討会」(厚生労働省), 2011 年 6 月 .
- 大池, NPO 法人市民ホスピス福岡, 理事.
- 大池, NPO法人花の花, 理事.
- 北原, 九州大学福岡同窓会, 理事.

5. 公開講座・公開講演会

- 長家, 「実習指導者研修会」, 福岡県主催. 福岡市 ナースプラザ, セミナー・研修会.
- 長家, 「看護診断の進め方」, さく病院看護部. 福岡県福岡市博多区竹下 4-6-25, セミナー・研修会.
- 長家, 「看護診断の進め方」, 埼玉医科大学医療センター看護部. 埼玉県川越市鴨田 1981 番地, セミナー・研修会.
- 長家, 「看護診断の進め方」, 福岡市立こども病院・感染センター. 福岡市中央区唐人町 2-5-1, セミナー・研修会.
- 長家, 「看護診断の適切な展開方法」, 国立病院機構関門医療センター. 山口県下関市長府外浦町 1 番 1 号, セミナー・研修会.
- 長家, 「看護診断の適切な展開方法と根拠のある指導法」, 日総研株式会社. 福岡市, 岡山市, 広島市, 大阪市, 名古屋市, 東京都文京区, 仙台市, 札幌市, セミナー・研修会.
- 長家, 「平成 23 年度福岡県教務主任養成講習会 看護教育開発演習指導」, 福岡県主催 福岡県看護協会実施. 福岡市東区馬出 4-10-1 ナースプラザ福岡, セミナー・研修会.
- 原田, ワーク・ライフ・バランスを推進して, 病院はこう変わった, 京都府看護協会看護師職能集会 京都府看護協会, セミナー・研修会.
- 原田, ワーク・ライフ・バランス取り組みについて 大分県教育計画研修会 大分県看護協会, セミナー・研修会.
- 原田, ワーク・ライフ・バランスと時間管理, 看護研修会 福岡県病院協会, セミナー・研修会.
- 原田, 「看護師として幸せに働き続けられる組織をめざして」～みんなちがって, みんないい～ 看護研修会, 山口県看護協会, セミナー・研修会.
- 原田, 経営管理論 経営管理論演習, 愛知県看護協会認定看護管理者制度「サードレベル教育課程」, 愛知県看護協会, セミナー・研修会.
- 原田, 福岡県教務主任養成講習会 看護学教育開発演習, 教務主任養成講習会 福岡県保健医療介護部医療指導課, セミナー・研修会.
- 原田, ワーク・ライフ・バランスを無理なく取り入れよう, 大阪府公立病院協議会看護部長会研修会 大阪府公立病院協議会, セミナー・研修会.
- 原田, 職場風土を変えよう! ワーク・ライフ・バランスで定着率アップ, 東京都ナースプラザ, セミナー・研修会.
- 原田, ①WLBの基本的な考え方, WLB支援策とその基盤について②看護職のWLB指標調査と調査結果の見方について, 看護職のワーク・ライフ・バランス推進研修会, 大阪府看護協会, セミナー・研修会.
- 原田, WLB推進ワークショップ, 社団法人大分県看護協会, セミナー・研修会.
- 原田, 看護職のワーク・ライフ・バランス推進ワークショップ, 日本看護協会, セミナー・研修会.
- 原田, 認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修会「看護情報論」看護実践に生かす情報のあり方, 山口県看護協会, セミナー・研修会.
- 原田, 看護職のWLBインデックス調査結果から, アクションプランを作成し, 働きやすい職場づくりをめざす, 看護職のワーク・ライフ・バランス推進ワークショップ 大阪府看護協会, セミナー・研修会.
- 原田, 「ワーク・ライフ・バランスを無理なく取り入れよう」WLBの基本的な考え方, WLB支援策とその基盤(人事管理)およびWLB施策の導入事例について, 看護職のワーク・ライフ・バランス推進ワークショップ 熊本県看護協会, セミナー・研修会.
- 原田, 師長を支えるミドルマネージャーの役割 新人ナースサポート会議 由布保健部, 中部保健所, セミナー・研修会.
- 原田, ①WLBの考え方と取り組みのコツについて②実際の取り組み事例について, 看護職WLBにおける研修会 宮崎県看護協会, セミナー・研修会.
- 原田, 働き続けられる職場のあり方～スタッフ一人一人を大切にしたい職場環境をどうやって作りだすか～多様な勤務形態導入研修会, 岡山県看護協会, 社会経済福祉委員会, セミナー・研修会.
- 原田, 看護職のWLB推進フォローアップワークショップ, 大分県労働局, 大分県看護協会, セミナー・研修会.
- 原田, ワーク・ライフ・バランスの取り組みについて, 医療従事者の「雇用の質」の向上のための研修会, 大分県労働局, セミナー・研修会.
- 原田, 看護情報論, 看護実践に生かす情報のあり方, 認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修会, 山口県看護協会, セミナー・研修会.
- 原田, 質の高い労働環境は, 質の高い看護ケアに繋がる, 看護職のワーク・ライフ・バランス推進ワークショップフォローアップ, 長崎県看護協会, セミナー・研修会.

- 原田, 皮膚・排泄ケア認定看護師教育課程(看護管理), 福岡県看護協会, セミナー・研修会.
- 原田, 人的資源活用論(労務管理―実践編)・人的資源活用論(演習), 認定看護管理者制度セカンドレベル教育課程, 福岡県看護協会, セミナー・研修会.
- 原田, グループマネジメント(看護チームのマネジメント・「看護チームのリーダーはどうあるべきか」に関する討議と発表), 認定看護管理者教育課程ファーストレベル 西南女学院大学, セミナー・研修会.
- 原田, 人的資源活用論・人的資源活用, 認定看護管理者制度セカンドレベル教育, 京都府看護協会, セミナー・研修会.
- 原田, 看護学教育開発演習, 福岡県教務主任養成講習会, 福岡県看護協会, セミナー・研修会.
- 原田, 保健医療福祉組織論, ヘルスケアサービスの連携, 認定看護管理者教育課程サードレベル研修会 山口県看護協会, セミナー・研修会.

6. 初等中等教育への貢献

- 大池, 「がん看護最前線」, 東筑高校. 講演・セミナー等.
- 原田, 看護学の研究内容 ジョイントセミナー 福岡県立城南高等学校. 講演・セミナー等.

看護学分野

《臨床看護》

教授	樗木 晶子
教授	川本 利恵子
教授	中尾 久子
講師	中尾 富士子
講師	宮園 真美
助教	木下 由美子
助教	金岡 麻希
助教	富岡 明子
助教	孫田 千恵
助教	潮 みゆき

1. 教育活動

1. 大学院講義

樗木晶子

保健医療とソーシャルサポート(分担)	後期
生体情報解析学(分担)	前期
健康支援ケアシステム論Ⅰ(分担)	後期
臨床看護学特論Ⅰ・セルフケア支援論(分担)	前期
臨床看護学特論Ⅱ・クリティカルケア論(分担)	前期

川本利恵子

がん看護特論(分担)	前期
健康支援ケアシステム論Ⅱ(分担)	後期
健康支援ケアシステム論Ⅰ(分担)	前期
がん看護援助論(分担)	前期
がん医療支援論(分担)	前期
コンサルテーション論	前期
臨床看護学特論Ⅱ・クリティカルケア論(分担)	前期
看護研究方法論Ⅰ(統計の基礎)	前期

中尾久子

看護倫理学(分担)	前期
健康支援ケアシステム論Ⅰ(分担)	前期
健康支援ケアシステム論Ⅱ(分担)	前期
ヘルスサイエンス論(分担)	前期
看護組織・マネジメント論(分担)	後期
医療と生命倫理(分担)	後期
がん看護援助論(分担)	後期
臨床看護学特論Ⅰ・セルフケア支援論(分担)	通年
臨床看護学特論Ⅲ(分担)	通年

中尾富士子		
国際社会とチーム医療(分担)		前期
がん看護援助論(分担)		後期
がん医療支援論(分担)		前期
2. 大学院実験・実習	なし	
3. 大学院演習		
樗木晶子		
健康支援ケアシステム論Ⅱ(分担)		後期
生体情報解析学Ⅱ(分担)		前期
看護学特別研究(分担)		通年
保健学特別研究(分担)		通年
臨床看護学特論Ⅰ・セルフケア支援論(分担)		前期
臨床看護学特論Ⅱ・クリティカルケア論(分担)		前期
臨床看護学特論Ⅲ(分担)		通年
川本利恵子		
がん看護特論(分担)		前期
保健学特別研究		通年
健康支援ケアシステム論Ⅱ		後期
健康支援ケアシステム論Ⅰ		前期
看護学特別研究		通年
課題研究		通年
がん看護演習Ⅲ(分担)		後期
がん看護演習Ⅰ(分担)		前期
がん看護援助論(分担)		前期
がん医療支援論(分担)		前期
コンサルテーション論(分担)		前期
看護研究方法論Ⅰ(統計の基礎)		前期
臨床看護学特論Ⅰ・セルフケア支援論(分担)		前期
臨床看護学特論Ⅱ・クリティカルケア論(分担)		前期
臨床看護学特論Ⅲ(分担)		通年
中尾久子		
健康支援ケアシステム論Ⅰ(分担)		前期
看護学特別研究(分担)		通年
保健学特別研究(分担)		通年
臨床看護学特論Ⅰ・セルフケア支援論(分担)		前期
臨床看護学特論Ⅱ・クリティカルケア論(分担)		前期
臨床看護学特論Ⅲ(分担)		通年
中尾富士子		
がん看護援助論(分担)		後期
がん看護演習Ⅰ(分担)		前期
がん看護演習Ⅲ(分担)		後期
臨床看護学特論Ⅰ・セルフケア支援論(分担)		前期
臨床看護学特論Ⅱ・クリティカルケア論(分担)		前期

臨床看護学特論Ⅲ(分担)	通年
宮園真美	
臨床看護学特論Ⅰ・セルフケア支援論(分担)	前期
臨床看護学特論Ⅱ・クリティカルケア論(分担)	前期
臨床看護学特論Ⅲ(分担)	通年
木下由美子	
臨床看護学特論Ⅰ・セルフケア支援論(分担)	前期
臨床看護学特論Ⅱ・クリティカルケア論(分担)	前期
臨床看護学特論Ⅲ(分担)	通年
金岡麻希	
臨床看護学特論Ⅰ・セルフケア支援論(分担)	前期
臨床看護学特論Ⅱ・クリティカルケア論(分担)	前期
臨床看護学特論Ⅲ(分担)	通年
富岡明子	
臨床看護学特論Ⅰ・セルフケア支援論(分担)	前期
臨床看護学特論Ⅱ・クリティカルケア論(分担)	前期
臨床看護学特論Ⅲ(分担)	通年
孫田千恵	
臨床看護学特論Ⅰ・セルフケア支援論(分担)	前期
臨床看護学特論Ⅱ・クリティカルケア論(分担)	前期
臨床看護学特論Ⅲ(分担)	通年
潮みゆき	
臨床看護学特論Ⅰ・セルフケア支援論(分担)	前期
臨床看護学特論Ⅱ・クリティカルケア論(分担)	前期
臨床看護学特論Ⅲ(分担)	通年

4. 大学院修士課程修了者

松永里香	メタボリックシンドロームを対象とした行動変容ステージ別特定保健指導プログラムの検証 Validation of the health guidance program specified to different behavior modification levels in metabolic syndrome
飯野祥之	病院の組織的取り組みが看護職の組織コミットメントと離職意図に及ぼす影響 The influence of systematic support hospitals on organizational commitment and intention to resign among nurses
田村早苗	外科的療法を受けたがん患者の悩みや情報ニーズに応じた効果的な情報提供 An effective information for the post-operative cancer patient considered their distress and information needs

5. 大学院博士課程修了者

阿南あゆみ	就労妊婦のストレス状況が及ぼす母体および出生児への影響 Mental and Physical Stress of Pregnant Women and Work
-------	--

6. 学部講義

樗木晶子

循環機能検査学(分担)	後期
コアセミナー(分担)	前期
人体の機能と構造 IA(分担)	通年
人体の機能と構造 IB(分担)	通年
ジェンダー学(分担)	前期
性差医学(分担)	前期
医学総論(分担)	前期
成人看護学概論(分担)	前期
臨床医学群循環器(分担)	後期

川本利恵子

成人看護学概論	前期
老年看護援助論(分担)	後期
救急蘇生学(分担)	後期
救急・集中看護論(分担)	後期
看護における社会調査法	前期
小人数セミナー	前期

中尾久子

臨床倫理(分担)	後期
インフォームドコンセント(分担)	前期
看護倫理・ターミナルケア論(分担)	前期
老年看護学概論(分担)	前期
臨床老年看護学(分担)	後期
社会学(分担)	後期
成人看護学概論(分担)	前期

中尾富士子

慢性期看護論(分担)	前期
生活指導論(分担)	前期
成人看護学概論(分担)	前期
老年看護学概論(分担)	前期

宮園真美

急性期看護論(分担)	後期
老年看護援助論(分担)	前期
周手術期看護援助論(分担)	前期
臨床老年看護学(分担)	後期
老年看護学概論(分担)	前期
生活指導論(分担)	後期
看護倫理・ターミナルケア論(分担)	前期

木下由美子

生活指導論(分担)	後期
慢性期看護論(分担)	前期
臨床老年看護学(分担)	後期
救急蘇生学(分担)	後期

看護倫理・ターミナルケア論(分担)	前期
老年看護学概論(分担)	前期
周手術期看護援助論(分担)	前期
金岡麻希	
周手術期看護援助論(分担)	前期
急性期看護論(分担)	後期
救急・集中治療看護論(分担)	後期
富岡明子	
老年看護学概論(分担)	前期
慢性期看護論(分担)	前期
慢性期看護論(分担)	前期
孫田千恵	
慢性期看護論(分担)	前期
老年看護学概論(分担)	前期
生活指導論(分担)	後期
臨床老年看護学(分担)	後期
潮 みゆき	
周手術期看護援助論(分担)	前期
急性期看護論(分担)	後期
救急・集中治療看護論(分担)	後期
臨床老年看護学(分担)	後期

7. 学部の実験・実習・演習

樗木晶子	
生理機能検査学実習(分担)	後期
コアセミナー(分担)	前期
臨床医学基本実習	後期
卒業研究(分担)	通年
川本利恵子	
卒業研究	通年
総合実習(分担)	全期
老年看護援助論(演習)	前期
中尾久子	
老年看護学実習(分担)	通年
総合実習(分担)	通年
卒業研究(分担)	通年
中尾富士子	
成人・老年看護学実習(慢性期)(分担)	後期
総合実習(分担)	前期
老年看護学実習(分担)	前期
老年看護援助論(分担)	前期
卒業研究(分担)	通年

宮園真美	
成人・老年看護学実習(急性期)(分担)	後期
総合実習(分担)	前期
老年看護学実習(分担)	前期
老年看護援助論(分担)	前期
急性期看護論(分担)	後期
卒業研究(分担)	通年
木下由美子	
成人・老年看護学実習(慢性期)(分担)	後期
総合実習(分担)	前期
老年看護学実習(分担)	前期
老年看護援助論(分担)	前期
卒業研究(分担)	通年
金岡麻希	
急性期看護論(分担)	後期
富岡明子	
老年看護援助論(分担)	前期
孫田千恵	
総合実習(分担)	前期
成人・老年看護学実習(慢性期)(分担)	後期
成人・老年看護学実習(急性期)(分担)	後期
老年看護援助論(分担)	前期
卒業研究(分担)	通年
潮みゆき	
総合実習(分担)	前期
成人・老年看護学実習(慢性期)(分担)	後期
成人・老年看護学実習(急性期)(分担)	後期
老年看護援助論(分担)	前期
急性期看護論(分担)	後期
卒業研究(分担)	通年

8. 卒業論文作成者

福山裕太郎	心臓リハビリテーション継続のための地域連携
藤田彩香	植込み型除細動器挿入患者の心理的 QOL の経時的変化
南澗篤	術後早期離床に関する看護の研究と動向
森重友里加	周手術期患者に行われるアロマセラピーに関する文献研究
堀之内妃恵	一般病棟看護師の終末期がん患者のケアに関する困難感とその対処法
竹原千晶	終末期がん患者の家族がたどる心理的経過に伴って看護師に求められる援助
野邊百合恵	胃がん術後患者の退院後の食行動へ影響を与える要因
牟田亜佐子	がん患者への疼痛コントロールに対する看護師の認識と看護実践
大西佑奈	がん治療に伴う続発性リンパ浮腫の予防教育の実態
大杉福子	がん患者の倦怠感に関する看護研究の現状からみた課題の検討
松永香織	真夏日の就寝前の冷感刺激が睡眠に与える影響
水町安子	摂食・嚥下障害看護認定看護師による看護の現状

梅本実紀	乳がん患者の術式選択意思決定時における消極的役割についての検討
進藤めぐみ	がん患者に対する術前インフォームドコンセントにおける看護師役割の現状と課題
熊本恭子	救急場面におけるトリアージの実施状況とトリアージに関する実態調査
村上千裕	ICUにおける患者家族のニードと援助の検討 -CNS-FACEを用いたニード研究の入室経路別分析から-
小山田紀子	ICUにおける患者家族のニードと援助の検討 -CNS-FACEを用いたニード研究の対象別分析から-
長曾我部竜	集中ケアにおける口腔ケアに関する近年の研究の動向-創生期の看護研究と比較して-

9. 研究生

Anita Rahmawati

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導 なし

3. 研究活動

1. 主要研究事項

樗木晶子

心疾患や高齢者におけるサウナ(首下温熱装置), 下半身温熱, 足温を用いた温熱効果の検討

睡眠時無呼吸症候群患者における睡眠ケア

フットサウナを用いた心疾患患者におけるQOLと予後の改善を目指した看護ケアの構築

川本利恵子

胃切除術が骨代謝に及ぼす影響と栄養や活動などに与える変化の解明

中尾久子

医療の場におけるチーム医療と倫理的問題に対するアプローチ(がん医療, 看護)

ストレス, ストレス反応および生活行動の関連性

高齢者の身体拘束とQOL

我が国の病院の倫理委員会における症例コンサルテーション機能の現状と課題

宮園真美

サウナ浴による生理・心理反応

木下由美子

直腸がん患者のQOL

金岡麻希

生体肝移植のレシピエントとドナー間の相互作用と両者対象の全人的支援に関する研究

富岡明子

心肺蘇生の立ち会いが患者の家族に与える影響

孫田千恵

睡眠障害とQOLに関する研究

潮みゆき

脳死臓器提供者とその家族に対する看護実践に関する研究

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

樗木晶子

- 「基盤研究(C)」医療情報電子システム化がもたらしたナースングワーク特性変容の検討, (分担)
- 「基盤研究(B)」がん医療・看護における倫理症例集作成の試み, (分担)
- 「基盤研究(C)」直腸癌で超低位前方切除術を受けた患者の排便障害支援システム構築, (分担)
- 「基盤研究(C)」高齢者の早期退院に向けた頸下型簡易サウナによる看護プログラム, (分担)
- 「基盤研究(B)」フットサウナを用いた心疾患患者における QOL と予後の改善を目指した看護ケアの構築, (代表)
- 「基盤研究(B)」癌治療後のリンパ浮腫患者に対してジェネラリストが行う看護技術開発に関する研究, (分担)
- 「挑戦的萌芽研究」睡眠時無呼吸を配慮した心疾患患者における睡眠障害に対する看護ケアの開発, (代表)

川本利恵子

- 「基盤研究(C)」高齢者の早期退院に向けた首下型簡易サウナによる看護プログラムの開発, (分担)
- 「萌芽研究」植え込み型除細動器患者に対する生活の質の向上をめざした看護ケアモデルの開発, (分担)
- 「基盤研究(C)」医療情報電子システム化がもたらしたナースングワークの特性変容の解明, (代表)
- 「基盤研究(B)」がん医療・看護における倫理症例集作成の試み, (分担)
- 「基盤研究(B)」フットサウナを用いた心疾患患者における QOL と予後の改善を目指した看護ケアの構築, (分担)
- 「基盤研究(B)」癌治療後のリンパ浮腫患者に対してジェネラリストが行う看護技術開発に関する研究, (分担)
- 「挑戦的萌芽研究」睡眠時無呼吸を配慮した心疾患患者における睡眠障害に対する看護ケアの開発, (分担)

中尾久子

- 「基盤研究(B)」がん医療・看護における倫理症例集作成の試み, (代表)
- 「基盤研究(C)」高齢者の早期退院に向けた首下型簡易サウナによる看護プログラムの開発, (分担)
- 「基盤研究(C)」直腸癌で超低位前方切除術を受けた患者の排便障害支援システム構築に向けた基礎的研究, (分担)
- 「基盤研究(C)」医療情報電子システム化がもたらしたナースングワーク特性変容の解明, (分担)
- 「基盤研究(B)」癌治療後のリンパ浮腫患者に対してジェネラリストが行う看護技術開発に関する研究, (分担)
- 「挑戦的萌芽研究」睡眠時無呼吸を配慮した心疾患患者における睡眠障害に対する看護ケアの開発, (分担)

中尾富士子

- 「基盤研究(B)」癌治療後のリンパ浮腫に対してジェネラリストが行う看護技術開発に関する研究, (代表)
- 「基盤研究(B)」がん医療・看護における倫理症例集作成の試み, (分担)
- 「基盤研究(C)」直腸癌で超低位前方切除術を受けた患者の排便障害支援システム構築に向けた基礎的研究, (分担)
- 「基盤研究(C)」高齢者の早期退院に向けた首下型簡易サウナによる看護プログラムの開発, (分担)
- 「基盤研究(C)」医療情報電子システム化がもたらしたナースングワーク特性変容の解明, (分担)

宮園真美

- 「基盤研究(C)」高齢者の早期退院に向けた首下型簡易サウナによる看護プログラムの開発, (代表)
- 「基盤研究(C)」直腸癌で超低位前方切除術を受けた患者の排泄障害支援システムの構築, (分担)
- 「基盤研究(B)」がん医療看護における倫理症例集作成の試み, (分担)
- 「基盤研究(C)」医療情報電子システム化がもたらしたナースングワーク特性変容, (分担)
- 「基盤研究(C)」措置入院における保健師のケア技術とケアプログラム開発, (分担)
- 「基盤研究(B)」がん治療後のリンパ浮腫患者に対してジェネラリストが行う看護技術開発に関する研究, (分担)

木下由美子

- 「基盤研究(C)」直腸癌で超低位前方切除術を受けた患者の排便障害支援システム構築に向けた基礎的研究, (代表)
- 「基盤研究(B)」癌治療後のリンパ浮腫に対してジェネラリストが行う看護技術開発に関する研究, (分担)
- 「基盤研究(B)」がん医療・看護における倫理症例集作成の試み, (分担)
- 「基盤研究(C)」高齢者の早期退院に向けた首下型簡易サウナによる看護プログラムの開発, (分担)

金岡麻希

- 「基盤研究(C)」医療情報電子システム化がもたらしたナースングワーク特性変容の検討, (分担)
- 「若手研究(B)」生体肝移植ドナーの自尊感情安定を目指した看護モデルの構築, (代表)
- 「基盤研究(C)」直腸癌で超低位前方切除術を受けた患者の排便障害支援システム構築に向けた基礎的研究, (分担)
- 「基盤研究(C)」高齢者の早期退院に向けた首下型簡易サウナによる看護プログラムの開発, (分担)
- 「基盤研究(B)」がん医療・看護における倫理症例集作成の試み, (分担)

富岡明子

- 「若手研究(B)」心肺蘇生の立ち合いが患者の配偶者に与える影響, (代表)
- 「基盤研究(B)」がん医療・看護における倫理症例集作成の試み, (分担)

孫田千恵

- 「基盤研究(c)」在宅高齢者における介護予防に向けたフットケアプログラムの検証および提唱が
ん医療・看護における倫理症例集作成の試み, (分担)

3. 学内研究経費の受け入れ なし

4. 奨学寄付金の受入れ

樗木晶子

- 「医学研究院保健学部門研究資金」第一三共株式会社

5. その他の外部研究資金の受入れ

樗木晶子

- 「第一三共株式会社 ベプリジールという抗不整脈薬の有効性と安全性について」
- 「Fast VT 停止における抗頻拍ペーシングの有用性 ATP during charging 機能を用いた日本での実態調査(The SATISFACTION trial)」
- 「ヤマギワ株式会社 超音波検査室における最適な照明環境の研究」

6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

7. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- 松永里香, 小池城司, 樗木晶子: 特定保健指導における行動変容ステージ別アプローチ方法, *保健師ジャーナル*, , 2011 年 12 月.
- Nobuko Hashiguchi , Teruyuki Kumamoto , Akiko Chishaki , Yutaka Tochiyama: Effects of different vertical air temperature on physiological and psychological responses in the elderly., *Journal of Human-Environmental System*, , 14,1,9-17 2011 年 05 月.
- Atarashi H, Inoue H, Okumura K, Yamashita T, Origasa H, for the J-RHYTHM Registry Investigators (Chishaki A): Investigation of optimal anticoagulation strategy for stroke prevention in Japanese patients with atrial fibrillation—The J-RHYTHM Registry study design, *Journal of Cardiology*, 57,95-99,2011.04.
- Atarashi H, Inoue H, Okumura K, Yamashita T, Kumagai N, Origasa H, for the J-RHYTHM Registry Investigators (Chishaki A): Present Status of Anticoagulation Treatment in Japanese Patients With Atrial Fibrillation—A Report From the J-RHYTHM Registry—, *Circulation Journal*, , 75,6,1328-1333,2011.06.
- 船越公太, 向井靖, 竹本真生, 井上修二郎, 樗木晶子, 砂川賢二: 高齢で心室細動で発症し, 完全右脚ブロックにより顕性化したと考えられた Brugada 症候群の 1 例, *心臓*, Suppl.2,11,2011.09.
- Inoue H, Okumura K, Atarashi H, Yamashita T, for the J-RHYTHM Registry Investigators (Chishaki A): Determinants of Warfarin Use and International Normalized Ratio Levels in Atrial Fibrillation Patients in Japan-Subanalysis of the J-RHYTHM Registry-, *Circulation Journal*, , 75,10,2357-2362,2011.10.
- 新小田春美, 末次美子, 加藤則子, 浅見恵梨子, 神山潤, 内村直尚, 樗木晶子, 西岡和男, 大久保一郎, 松本一弥, 南部由美子, 加来恒壽: 幼児の遅寝をもたらす親子の睡眠生活習慣の分析, *福岡医学雑誌 FUKUOKA ACTA MEDICA*, 103,1,12-23,2012.01.
- Takemoto M, Mukai Y, Inoue S, Matoba T, Nishizaka M, Ide T, Chishaki A, Sunagawa K: Usefulness of Non-contact Mapping for Radiofrequency Catheter Ablation of Inappropriate Sinus Tachycardia: New Procedural Strategy and Long-term Clinical Outcome, *Intern Med*, , 51,357-352,2012.02.
- Suzuki T, Yamazaki T, Ogawa S, Nagai R, Yamashita T; J-RHYTHM II Investigators(Chishaki A): Echocardiographic predictors of frequency of paroxysmal atrial fibrillation (AF) and its progression to persistent AF in hypertensive patients with paroxysmal AF: results from the Japanese Rhythm Management Trial II for Atrial Fibrillation (J-RHYTHM II Study), *Heart Rhythm.*, 8,12,1831-1836,2011.12.
- J-RHYTHM Registry Investigators(Chishaki A): Determinants of warfarin use and international normalized ratio levels in atrial fibrillation patients in Japan. - Subanalysis of the J-RHYTHM Registry, *Circ J.*, , 75,10 ,2357-2362,2011.10.
- Yamashita T, Inoue H, Okumura K, Kodama I, Aizawa Y, Atarashi H, Ohe T, Ohtsu H, Kato T, Kamakura S, Kumagai K, Kurachi Y, Koretsune Y, Saikawa T, Sakurai M, Sato T, Sugi K, Nakaya H, Hirai M, Hirayama A, Fukatani M, Mitamura H, Yamazaki T, Watanabe E, Ogawa S; J-RHYTHM II Investigators.(Chishaki A) : Randomized trial of angiotensin II-receptor blocker vs. dihydropyridine calcium channel blocker in the

treatment of paroxysmal atrial fibrillation with hypertension (J-RHYTHM II study)., *Europace.*, 13,4,473-479 ,2011.04.

- Ayumi Anan, Michiyo Shiiba, Eiji Sibata, Masayuki Tanaka and Rieko Kawamoto: Mental and Physical Stress of Pregnant Women and Work, *日本職業・災害医学会誌*, 2012年01月.
- 長聡子, 川本利恵子: 一般病棟におけるがん患者の家族ケアに関する実践評価指標の検討(第1報), *国際ナショナル Nursing Care Research*, 2011年10月.
- 長聡子, 川本利恵子: 一般病棟におけるがん患者の家族ケアの実践評価の実態(第2報), *国際ナショナル Nursing Care Research*, 2011年11月.
- 姫野稔子, 小野ミツ, 孫田千恵: フットケアがもたらす在宅高齢者の体験世界と行動変容の検討, *日本老年看護学会誌* 15(2), 2011年6月

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Nakao Hisako, Fujimura Takae, Nagakawa Tomie, Chishaki Akiko, Nakao Fujiko, Miyazono Mami, Kinoshita Yumiko, Kanaoka Maki, Tomioka Akiko, Kawamoto Rieko: A Difference of Awareness to the Ethical Issues by Nursing License in Japan, 22nd International Nursing Research Congress, 2011年7月11日-14日, Cancun, Mexico, : 学会抄録集 p.50
- Eriko Tokunaga, Yoshihiko Maehara, Akiko Chishaki, Sachiyo Suita, Chiharu Kubo: Mental Well-being and Physical Fitness of Female Doctors---Relation with Personal Support and Labor Environment-- International Surgical Week 2011年8月28日-9月1日, 横浜
- Miyuki Makaya, Mami Miyazono, Yuko Ootsuka, Sei Nakai, Harumizu Sakurada, Akiko Chishaki: Symptomatic Heart Failure Is the Most Important Predictor of Impaired Quality of Life and Depression in Outpatients with Implantable Cardioverter Defibrillators., 第26回不整脈学会学術大会・第28回日本心電学会学術集会・4th Asia Pacific Heart Rhythm Society Scientific Session 合同学術集会, 2011年9月20日-22日, Fukuoka, Japan, 学会抄録集 p.314
- Masato Katsuki, Yasushi Mukai, Shujiro Inoue, Masao Takemoto, Akiko Chishaki, Kenji Sunagawa: Experiences of Catheter Ablation with Substrate/Pace Mapping for Hemodynamically Unstable Ventricular Tachycardias. 第26回不整脈学会学術大会・第28回日本心電学会学術集会・4th Asia Pacific Heart Rhythm Society Scientific Session 合同学術集会, 2011年9月20日-22日, Fukuoka, Japan, 学会抄録集 p.319
- Susumu Takase, Yasushi Mukai, Masao Takemoto, Shujiro Inoue, Akiko Chishaki, Kenji Sunagawa.: Catheter Ablation of Idiopathic Left Ventricular Outflow Tract Tachycardia Originating from the Left Sinus of Valsalva Experience of 11 Cases., 第26回不整脈学会学術大会・第28回日本心電学会学術集会・4th Asia Pacific Heart Rhythm Society Scientific Session 合同学術集会, 2011年9月20日-22日福岡(座長付ポスター発表/21日) 学会抄録集 p.353
- Masateru Kawakubo, Michinobu Nagao, Seiji Kumazawa, Akiko Suyama Chishaki, Hiroshi Honda, Junji Morishita: Evaluation of cardiac mechanical dyssynchrony using 4-chamber cine magnetic resonance imaging: Assessment of chronic heart failure The 24th European Congress of Radiology(ECR2012), 2012年3月1日-5日, Wien, Austria (電子ポスター発表/抄録なし)

c. 大学・研究機関などの刊行誌 なし

d. 調査研究報告

- 樗木晶子ほか: 平成22年度九州大学病院きらめきプロジェクト報告書, 2011年04月.
- 樗木晶子ほか: 男女共同参画推進室22年度活動報告書, 2011年09月.

- 川本利恵子, 荒木美枝, 瀧島美紀, 津田たか枝, 福田裕美, 森本一美, 吉川久美子: 「介護施設における看護の質向上に関する検討小委員会報告」平成22年度看護師職能委員会活動報告, 2011年06月.

e. 国内学会での講演, 発表

- 中城総一, 井上修二郎, 向井靖, 竹本真生, 樗木晶子, 砂川賢二: 80代女性の難治性再発性の pulseless VT に対し, アブレーションを行った経験, 第13回福岡山口先端不整脈治療研究会, 2011年05月13日, 北九州.
- 宮園真美, 樗木晶子, 岡村瞳, 谷崎麗子, 肥後太基, 馬場チエミ, 砂川賢二: 植込み型除細動器(ICD)患者のQOL低下を術前から予防する, 第47回日本循環器病予防学会・日本循環器管理研究協議会総会, 2011年06月03日, 福岡.
- 松永里香, 小池城司, 樗木晶子: 特定保健指導対象者における行動変容ステージ別プログラムの有効性の検討, 第47回日本循環器病予防学会・日本循環器管理研究協議会総会, 2011年06月04日, 福岡.
- 樗木晶子: 突然死をいかに生きるか, 第47回日本循環器病予防学会・日本循環器管理研究協議会総会, 2011年06月03日, 福岡.
- 宮園真美, 樗木晶子, 前野有佳里, 橋口暢子, 柝原裕: フットサウナ使用による心不全患者の生理・心理反応, 日本生理人類学会第64回大会, 2011年06月12日, 福岡.
- 橋口暢子, 武田暁, 安山由香里, 樗木晶子, 柝原裕: 低湿度環境の6時間暴露が生理・心理反応に及ぼす影響, 日本生理人類学会第64回大会, 2011年06月12日, 福岡.
- 澤渡浩之, 宮園真美, 橋口暢子, 前野有佳里, 樗木晶子, 柝原裕, 樗木浩朗: 首下ドーム型サウナ使用時の深部体温と血行動態の検討—定量的温熱負荷メニューの構築をめざして—, 第31回日本ホルター・ノンインベシブ心電学研究会, 2011年07月09日, 東京.
- 甲木雅人, 向井靖, 井上修二郎, 竹本真生, 樗木晶子, 砂川賢二: 血行動態的に不安定な心室頻拍に対する substrate/pace mapping の有効性, 第22回九州不整脈研究会, 2011年07月23日, 福岡.
- Miyuki Makaya, Yuko Ohtsuka, Mami Miyazono, Mori Nakai, Harumizu Sakurada, Masao Takemoto, Yasushi Mukai, Shujiro Inoue, Hiroaki Chishaki, Akiko Chishaki: Men and Women Respond Differently in Terms of Post-ICD Implantation Psychological Disorders, 第75回日本循環器学会総会・学術集会, 2011年08月04日, 横浜.
- Yoshiko Ihara, Akiko Chishaki, Mami Miyazono, Miyuki Makaya, Shujiro Inoue, Yasushi Mukai, Masao Takemoto, Hiroaki Chishaki, Kenji Sunagawa: A follow-up Study of Mental Status of Patients with Implantable Cardioverter-defibrillator (ICD) Showed an Importance of Continuous Psychological Care, 第75回日本循環器学会総会・学術集会, 2011年08月04日, 横浜.
- 木下由美子, 川本利恵子, 中尾富士子, 宮園真美, 金岡麻希, 富岡明子, 樗木晶子, 中尾久子: 超低位前方切除術を受けた患者の術後1か月・6か月における排便機能障害とその対処行動, 第37回日本看護研究学会学術集会, 2011年08月07日, 横浜.
- 宮園真美, 樗木晶子, 橋口暢子, 川本利恵子, 中尾久子, 中尾富士子, 木下由美子, 金岡麻希, 富岡明子: フットサウナ使用時の入院患者の生理・心理反応～睡眠～焦点を当てて～, 第37回日本看護研究学会学術集会, 2011年08月08日, 横浜.
- 中尾久子, 樗木晶子: 大学院修士課程(専門看護師:CNS教育課程)における倫理教育の取り組み—がん患者の医療・看護の事例を通して—, 日本生命倫理学会第23回年次大会, 2011年10月16日, 東京.
- 石北綾子, 向井靖, 日浅謙一, 井上修二郎, 竹本真生, 樗木晶子, 砂川賢二: 多数の術後切開線心房頻拍に対して一期的アブレーションが有効であった1例, 第23回カテーテル・アブレーション委員会公開研究会, 2011年10月21日, 横浜.
- 澤渡浩之, 宮園真美, 橋口暢子, 濱田正美, 馬場チエミ, 樗木晶子: フットサウナを用いた慢性心不全患者における生理・心理反応と睡眠効果, 第8回日本循環器看護学会学術集会, 2011年11月12日, 仙台.
- 宮園真美, 橋口暢子, 澤渡浩之, 塩汲望美, 濱田正美, 馬場チエミ, 樗木晶子: 多疾患を合併した虚血性心疾患患者における再発予防のための退院後の介入方法の検討, 第8回日本循環器看護学会学術集会, 2011年11月13日, 仙台.

- 澤渡浩之, 宮園真美, 橋口暢子, 濱田正美, 馬場チエミ, 井上修二郎, 竹本真生, 井手友美, 西坂麻里, 樗木晶子: 下肢加温による慢性心不全患者における循環動態変化と睡眠効果, 第76回日本循環器学会学術集会, 2012年03月16日, 福岡.
- Makaya M, Chishaki A: Poor psychological status and quality of life in the rate-control than in rhythm-control strategy for patients with heart failure and atrial fibrillation, 第76回日本循環器学会学術集会, 2012年03月16日, 福岡.
- Hisako Nakao, Chishaki Akiko, Fujiko Nakao, Mami miyazono, Yumiko Kinoshita, Maki Kanaoka, Akiko Tomioka, Miyuki Ushio, Chie Magota, Rieko Kawamoto: A difference of awareness to the ethical issues by nursing license in Japan ,7th International Nurse Practitioner/Advanced Practice Nursing Network Conference,2011.Aug.20-22, Imperial College, London, England, UK
- Nakao Hisako, Fujimura Takae, Nagakawa Tomie, Chishaki Akiko, Nakao Fujiko, Miyazono Mami, Kinoshita Yumiko, Kanaoka Maki, Tomioka Akiko, Kawamoto Rieko: A Difference of Awareness to the Ethical Issues by Nursing License in Japan, 22nd International Nursing Research Congress, 2011年07月11日, Mexico.
- Nakao Hisako, Fujimura Takae, Nagakawa Tomie, Chishaki Akiko, Nakao Fujiko, Miyazono Mami, Kinoshita Yumiko, Kanaoka Maki, Tomioka Akiko, Kawamoto Rieko: A difference of awareness to the ethical issues by nursing license in Japan, Sigma Theta Tau International's 22nd International Nursing Research Congress, 2011年07月01日, Japan.
- 木下 由美子, 川本利恵子, 中尾富士子, 中尾久子: 肛門括約筋切除術と肛門括約筋全温存術を受けた患者の術後1か月における排便機能障害とその対処行動の比較, 日本がん看護学会, 2012年02月12日, 松江.
- 金岡麻希, 宮園真美, 木下由美子, 富岡明子, 孫田千恵, 潮みゆき, 中尾富士子, 中尾久子, 川本利恵子: 生体肝移植のレシピエントとドナーの周手術期における交流の実態とその相互作用, 第31回日本看護科学学会学術集会, 2011年12月02日, 高知.

f. **学会以外での講演, 発表** なし

著作

a. **単行本**

樗木晶子

- (単著) 高齢者のこころ・からだ事典, 日本老年行動科学会監修, 2011年12月, 中央法規出版.
- (単著) 心不全ケア教本, 眞茅みゆき, 池亀俊美, 加藤尚子編集, 2012年03月, メディカル・サイエンス・インターナショナル.
- (共著) グローバル化した保健と医療-アジアの発展と疾病の変化-, 加来恒壽編, 2011年11月, 国際書院.
- (単著) エビデンスに基づく循環器病予防医学-慢性心不全を防ぐ予防戦略とは?- , 和泉徹監修, 東條美奈子, 猪又孝元編集, 2012年03月, 南山堂.
- (単著) ベーシックナーシング(改訂版), 高久史麿監修, 2011年10月, メディカルレビュー社.
- (編集) HEART 創刊号 Vol.1 No.1, 樗木晶子企画編集, 2011年09月, 医学出版.
- (共著) 新小田春美, 神山潤, 加藤則子, 内村直尚, 加来恒壽, 樗木晶子, 末次美子, 西岡和男, 浅見恵梨子, 大久保一郎, 松本一弥, 南部由美子: こころの健康と病気 2011, (財)精神・神経科学振興財団監修, 樋口輝彦・高橋清久編集, 2012年03月, 日野テクニカルサービス株式会社.

川本利恵子

- (単著) ベーシックナーシング(改訂版), 高久史麿監修, 2011年10月, ディカルレビュー社.

中尾久子

- (単著) 高齢者のこころ・からだ事典, 日本老年行動科学会監修, 2011年12月, 中央法規出版
- (単著) ベーシックナーシング(改訂版), 高久史麿監修, 2011年10月, メディカルレビュー社.

木下由美子

- (単著): リウマチ 高齢者のこころ・からだ事典, 日本老年行動科学会監修, 2011年12月, 中央法規出版.

b. 総説

- 樗木晶子: 突然死をいかに生きるか, 日本循環器病予防学会誌 46(3), 2011年10月

c. 解説, 書評など

樗木晶子

- 樗木晶子ほか: 「ペプリジル研究会 2011」記録集, 第一三共株式会社, 2011年04月
- 樗木晶子: 女性医師のキャリア継続を願って, 日本女医会誌・復刊第209号, 2012年01月

川本利恵子

- 川本利恵子: 初版後9年間の研究成果が盛り込まれた教育研究者必携の書, 看護教育, 2011年04月
- 川本利恵子: 病院・大学を横断する汎用性のある教育プログラムをめざす, 看護管理, 2011年04月

中尾久子

- 中尾久子, 中尾富士子: 病棟スタッフの倫理的感性を磨く効果的な教育方法, ナースマネージャー, 11(12), 2011年05月

中尾富士子

- 中尾久子, 中尾富士子: 病棟スタッフの倫理的感性を磨く効果的な教育方法, ナースマネージャー, 11(12), 2011年05月

宮園真美

- 『看護師国試合格チャレンジテスト』編集委員会: (共著) 第101回看護師国試合格チャレンジテスト(第1回解答・解説書), 2011年04月, 学研メディカル秀潤社.
- 『看護師国試合格チャレンジテスト』編集委員会: (共著) 第101回看護師国試合格チャレンジテスト(第2回解答・解説書), 2011年08月, 学研メディカル秀潤社.
- 『看護師国試合格チャレンジテスト』編集委員会: (共著) 第101回看護師国試合格チャレンジテスト(第3回解答・解説書), 2011年11月, 学研メディカル秀潤社.

木下由美子

- 『看護師国試合格チャレンジテスト』編集委員会：(共著) 第 101 回看護師国試合格チャレンジテスト(第1回解答・解説書)，2011 年 04 月，学研メディカル秀潤社。
- 『看護師国試合格チャレンジテスト』編集委員会：(共著) 第 101 回看護師国試合格チャレンジテスト(第 2 回解答・解説書)，2011 年 08 月，学研メディカル秀潤社。
- 『看護師国試合格チャレンジテスト』編集委員会：(共著) 第 101 回看護師国試合格チャレンジテスト(第 3 回解答・解説書)，2011 年 11 月，学研メディカル秀潤社。

金岡麻希

- 『看護師国試合格チャレンジテスト』編集委員会：(共著) 第 101 回看護師国試合格チャレンジテスト(第1回解答・解説書)，2011 年 04 月，学研メディカル秀潤社。
- 『看護師国試合格チャレンジテスト』編集委員会：(共著) 第 101 回看護師国試合格チャレンジテスト(第 2 回解答・解説書)，2011 年 08 月，。
- 『看護師国試合格チャレンジテスト』編集委員会：(共著) 第 101 回看護師国試合格チャレンジテスト(第 3 回解答・解説書)，2011 年 11 月，学研メディカル秀潤社。

富岡明子

- すいすいフィジカルアセスメントトレーニング DS 医療従事者向けニンテンドーDS ソフト：(共著)，2011 年 04 月，メディカ出版

孫田千恵

- すいすいフィジカルアセスメントトレーニング DS 医療従事者向けニンテンドーDS ソフト：(共著)，2011 年 04 月，メディカ出版

**受賞
報道** なし

樗木晶子

- 九州医事新報，「第 47 回日本循環器病予防学会における，会長挨拶及び会長講演内容」，2011 年 06 月。
- 朝日新聞地方版，「「医・再発見」コーナーにて，きらめきプロジェクトの紹介と女性医療人も働きやすい環境の構築について」，2011 年 08 月。
- NHK，「ぐるっと 8 県九州沖縄の「すいよう元気塾コーナー」にて，様々な心疾患の症状と予防法を紹介」，2011 年 10 月。

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 樗木，ベプリジールという抗不整脈薬の有効性と安全性について，第一三共株式会社，2009 年 10 月～2011 年 10 月
- 樗木，超音波検査室における最適な照明環境の研究，ヤマギワ株式会社，2008 年 04 月～2012 年 03 月

2. 受託研究

- 樗木，Fast VT 停止における抗頻拍ペーシングの有用性 ATP during charging 機能を用いた日本での実態調査(The SATISFACTION trial)，，2009 年 08 月～2011 年 09 月

3. 取得特許 なし

- 4. 兼業 なし
- 5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 樗木, American Heart Association (United States of America), 国際会議, 2011年11月～2011年11月
- 川本, ニューヨーク市立大学ハンター校看護学部 (United States of America), 大学・研究所訪問, 2012年03月～2012年03月 .
- 高雄医学大学看護学部 (Taiwan), 大学・研究所訪問, 2012年02月～2012年02月 .
- 中尾, 高雄医学大学 (Taiwan), 大学・研究所訪問, 2012年02月～2012年02月
- 中尾, Georgetown University, Center for Clinical Bioethics, (Washington D.C) (United States of America), その他, 2012年3月～2012年3月
- 宮園, 高雄医学大学 (Taiwan), 大学・研究所訪問, 2012年02月～2012年02月
- 木下, 高雄医学大学 (Taiwan), 大学・研究所訪問, 2012年02月～2012年02月
- 金岡, 高雄医学大学 (Taiwan), 大学・研究所訪問, 2012年02月～2012年02月
- 孫田, 高雄医学大学 (Taiwan), 大学・研究所訪問, 2012年02月～2012年02月

2. 外国人研究者の受入れ

a. 訪問教授・研究員

- Kathleen Nokes, 訪問教授, Hunter-Bellevue School of Nursing , United States of America.
- Dorothy Hickey, 訪問教授, New York City College of Technology of CUNY

b. 訪問研究者

- Anita Rahamawati, 訪問研究員, Indonesia.

c. 留学生の受入れ

Anita Rahmawati 研究生 留学生

学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 樗木, 男女共同参画室室長
- 樗木, 総長特別補佐
- 樗木, 人事管理委員会委員
- 樗木, 病院遺伝子治療臨床研究倫理審査委員
- 中尾, 高等教育開発推進センター委員
- 中尾, 全学教育運営会議委員

2. 部局委員

- 中尾, 医療系統合教育研究センター委員会
- 中尾, 附属図書館運営委員
- 中尾, 医学部基礎 B 棟運営委員会
- 宮園, 高度先端医療センター 百人部会委員
- 木下, 高度先端医療センター 百人部会委員
- 金岡, 先進医療適応評価委員
- 金岡, 看護実践カブロッサム開花プロジェクト 教育研究推進 WG

3. 部門・コース内委員

- 樗木, 再任審査委員
- 川本, 総務委員会
- 川本, 実習委員会
- 川本, 看護教育運営委員会委員長
- 川本, 入試実施委員会
- 川本, 将来計画, 点検・評価委員会
- 川本, 人事委員会
- 川本, 再任審査委員会委員
- 川本, 教員業績評価委員会
- 川本, 研究推進委員会
- 川本, 財務委員
- 川本, 施設・環境委員
- 川本, 保健学部門学生支援会運営委員
- 川本, カリキュラム WG
- 川本, 助産・保健 WG

- 中尾, 施設:環境委員長
- 中尾, 教務委員
- 中尾, 財務委員
- 中尾, 研究推進委員
- 中尾, 大学院委員
- 中尾, 臨床講座主任
- 中尾, カリキュラム WG
- 中尾(富), FD 委員
- 中尾(富), 実習委員
- 宮園, 保健学部門学生支援会運営委員
- 宮園, 看護学専攻卒業研究委員
- 宮園, 実習委員
- 木下, 実習委員
- 金岡, 施設・環境委員会

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 川本, 国立病院機構関門医療センター看護部講習会, 非常勤講師.
- 川本, 福岡県看護教員養成講習会, 非常勤講師.
- 中尾, 大分県立看護科学大学/看護研究交流センター, 非常勤講師.
- 中尾, 久留米大学/認定看護師教育センター, 非常勤講師.
- 中尾, 久留米大学医学研究院修士課程, 非常勤講師.
- 中尾, 福岡女学院看護大学, 非常勤講師
- 中尾(富) 学校法人川崎学園 川崎医療福祉大学, 非常勤講師.
- 宮園, 福岡県看護教員養成講習会. 非常勤講師
- 木下, 福岡県看護教員養成講習会. 非常勤講師
- 潮, 国立病院機構関門医療センター看護部講習会, 非常勤講師.
- 潮, 福岡県看護教員養成講習会, 非常勤講師.

2. 学協会

- 樗木, 日本時間生物学会, 評議員, 国内.
- 樗木, 日本心電学会, 評議員, 国内.
- 樗木, 日本循環器病予防学会, 理事, 国内.
- 樗木, 日本循環器看護学会, 理事(指名理事, 選任査読委員), 国内.
- 樗木, 日本内科学会, その他(認定研修指導医), 国内.
- 樗木, 日本循環器学会九州地方会 男女共同参画委員会九州支部会, その他(副委員長), 国内.

- 樗木, 日本循環器看護学会, 査読委員(専任査読委員), 国内.
- 樗木, 日本循環器学会, 査読委員, 国内.
- 樗木, Circulation Journal, 査読委員, 国際.
- 樗木, PACE, 査読委員, 国際.
- 樗木, Clinical and Experimental Hypertension, 査読委員, 国際.
- 川本, 日本看護学教育学会, 評議員, 国内.
- 川本, 日本看護協会, その他(看護師職能委員会副委員長), 国内.
- 川本, 日本看護協会, その他(看護職能委員), 国内.
- 川本, 日本看護科学学会雑誌, その他(査読委員), 国内.
- 中尾, 日本看護科学学会, その他(代議員), 国内.
- 中尾, 日本生命倫理学会, 評議員, 国内.
- 中尾, 日本看護科学学会誌, 査読委員, 国内.
- 中尾, 生命倫理, 編集委員, 国内.
- 木下, 九州大学看護師同窓会, その他(会計), 国内.

3. 官界

- 川本, 日本看護学教育学会, 評議員, 国内.
- 川本, 日本看護協会, その他(看護師職能委員会副委員長), 国内.
- 川本, 日本看護協会, その他(看護職能委員), 国内.
- 川本, 日本看護科学学会雑誌, その他(査読委員), 国内.
- 樗木, 日本学術振興会科学研究費委員会 専門委員, 日本学術振興会.
- 中尾, 福岡県身体拘束ゼロ作戦推進会議, 委員長.

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 樗木, 「福津市男女共同参画審議会会長」
- 樗木, 福岡県医療審議会委員
- 樗木, 「福岡県立女子大学改革検討委員会委員」
- 樗木, 福岡県立福岡女子大学の抜本改革に向けた食・健康コース部会委員
- 樗木, 福岡市公務災害補償等認定委員会・委員
- 樗木, 学校心臓検診心電図判読委員
- 樗木, 福岡県医師会男女共同参画部会委員

5. 公開講座・公開講演会

- 樗木, 「九州大学病院きらめきプロジェクト第2回講演会「心から慕われ, 期待され, 尊敬される健全な社会になるために」, 九州大学病院きらめきプロジェクト. 九州大学医学部, 講演会・公開討論.
- 樗木, 「福岡県内科医会・筑豊ブロック内科医会学術講演会にて「生活習慣病と不整脈」の招待講演を行なった。», 福岡県内科医会・第一三共株式会社. 飯塚市パドゥ・ル・コトブキ, 講演会・公開討論.
- 樗木, 「CareAF-心房細動における脳梗塞予防の重要性とかかりつけ医の役割-にて「心房細動の治療と心原性脳塞栓症の発症予防」の講演を行なった。また, 「かかりつけ医における抗凝固療法の現状と課題」のパネルディスカッションにパネリストとして参加した。», 日本脳卒中協会, バイエル薬品株式会社. ホテルオークラ福岡, 講演会・公開討論.
- 樗木, 「研修会にて「もっと知りたい高血圧と腎障害の予防」の講演を行なった。», 福津市健康福祉総合センター. 福津市, セミナー・研修会.
- 樗木, 「筑波大学人間総合科学研究科 FD にて「男女共同参画は多様性」の講演を行なった。», 筑波大学人間総合科学研究科. 筑波大学総合研究棟 D, 講演会・公開討論.
- 樗木, 「(財)福岡県警友会西支部平成23年研修会にて「徴候の無い突然死を防ぐ」の講演を行なった。», (財)福岡県警友会西支部. 福岡市西区市民センター, セミナー・研修会.
- 樗木, 「学術講演会にて「心房細動と新しい抗凝固薬」の講演を行なった。», 塩野義製薬株式会社. ホテル日航福岡, 講演会・公開討論.

- 樗木,「農業・食品産業技術総合研究機構セミナーにて「男女共同参画は多様性」の講演を行なった。」、農業・食品産業技術総合研究機構. 九州沖縄農業研究センター 交流センター会議室, セミナー・研修会.
- 樗木,「平成 23 年度理学研究院化学部門 FD・HD 講演会にて「九州大学における男女共同参画」講演を行なった。」、九州大学理学研究院. 九州大学箱崎キャンパス, 講演会・公開討論.
- 中尾,「看護倫理」, 済生会福岡総合病院. 福岡市, セミナー・研修会.
- 中尾,「看護現場に求められる倫理」, 島根県看護協会. 松江市, セミナー・研修会.
- 中尾,「看護倫理について」, 新小倉病院. 北九州市, セミナー・研修会.

初等中等教育への貢献 なし

看護学分野

《発達看護》

教授	加来 恒壽
教授	平田 伸子
准教授	新小田 春美
准教授	濱田 裕子
准教授	木下 義晶
講師	野口 ゆかり
助教	仲道 由紀
助教	藤田 紋佳
助教	末次 美子

1. 教育活動

1. 大学院講義

加来恒壽

健康支援ケアシステム論Ⅰ(分担)	前期
発達看護学特論Ⅱ(分担)	後期
健康支援ケアシステム論Ⅱ(分担)	後期
先端医療論(がん病態・治療論)(分担)	前期
病態情報解析学Ⅰ(分担)	前期
病態情報解析学Ⅱ(分担)	後期

平田伸子

発達看護学特論Ⅲ(分担)	後期
発達看護学特論Ⅱ(分担)	後期
母子発達ケアシステム論Ⅰ(分担)	後期
母子発達ケアシステム論Ⅱ(分担)	後期
リプロダクティブヘルス看護論(分担)	後期

新小田春美

母性発達看護特論Ⅰ(分担)	前期
母子発達ケアシステム論(分担)	前期
保健学研究論(分担)	前期

濱田裕子

小児家族看護学	後期
感性コミュニケーション概論(分担)	前期
発達看護学特論Ⅰ(分担)	前期
母子発達ケアシステム論	前期

木下義晶

保健医療とソーシャルサポート(分担)	後期
発達看護学特論Ⅰ(分担)	前期
先端医療論(がん病態・治療論)(分担)	前期

野口ゆかり		
アジアにおける保健学(分担)		通年
発達看護学特論Ⅱ(分担)		後期
仲道由紀		
発達看護学特論Ⅱ(分担)		後期
藤田紋佳		
発達看護学特論Ⅰ(分担)		前期
末次美子		
発達看護学特論Ⅲ(分担)		通年

2. 大学院実験・実習 なし

3. 大学院演習

加来恒壽		
保健学特別研究		通年
看護学特別研究		通年
病態情報解析学Ⅱ		通年
健康支援システム論		通年
平田伸子		
保健学特別研究		通年
発達看護学特論Ⅲ(分担)		後期
看護学特別研究		通年
新小田春美		
母性発達看護特論Ⅰ(分担)		前期
母子発達ケアシステム論(分担)		前期
看護学特別研究		通年
濱田裕子		
ユーザー感性学 PTL(2)		前期
ユーザー感性学 PTL(5)		後期
小児・家族コミュニケーション演習		後期
発達看護学特論Ⅰ		前期
看護学特別研究		通年
木下義晶		
保健医療とソーシャルサポート(分担)		後期
発達看護学特論Ⅰ(分担)		前期

4. 大学院修士課程修了者

森山淳子 医療的ケアが必要な重い病気や障がいのある人やその家族が心豊かに暮らすために～2人の青年との関わりを通して～

5. 大学院博士課程修了者 なし

6. 学部講義

加来恒壽

臨床医学論 I (分担)	後期
泌尿器・生殖器(分担)	前期
母性疾病論	前期
母性看護学Ⅱ	後期

平田伸子

助産管理(分担)	後期
基礎助産学(分担)	前期
助産学概論(分担)	前期
地域母子保健(分担)	前期
助産診断・技術学(分担)	前期
リプロダクティブヘルス基礎理論(分担)	前期
女性学・男性学(分担)	前期

新小田春美

母性看護学演習(分担)	後期
母性疾病論(分担)	前期
母性看護学Ⅰ(分担)	前期
母性看護学Ⅱ(分担)	後期

濱田裕子

小児看護学概論	後期
小児看護援助論(分担)	前期

木下義晶

小児疾病論Ⅰ	前期
小児疾病論Ⅱ	前期
医学総論Ⅰ(分担)	前期

野口ゆかり

全学教育少人数セミナー	後期
周産期健康教育演習(分担)	前期
助産診断・技術学演習(分担)	前期
助産過程論(分担)	前期
医療法律学(分担)	前期
助産診断・技術学(分担)	前期
リプロダクティブヘルス基礎理論(分担)	前期
基礎助産学(分担)	前期

仲道由紀

リプロダクティブヘルス基礎理(分担)	前期
助産過程論(分担)	前期
基礎助産学(分担)	前期
助産診断・技術学(分担)	前期

藤田紋佳

小児看護援助論(分担)	前期
-------------	----

末次美子	
母性看護援助論(分担)	後期
母性看護学Ⅰ(分担)	前期
母性看護学Ⅱ(分担)	後期

7. 学部の実験・実習・演習

平田伸子	
卒業研究(分担)	通年
助産学実習(分担)	前期
助産診断・技術学(分担)	前期
リプロダクティブヘルス基礎理論(分担)	前期
新小田春美	
母性看護学実習(分担)	通年
卒業研究(分担)	後期
母性看護学援助論(分担)	後期
総合実習(分担)	前期
濱田裕子	
小児看護学実習(分担)	通年
卒業研究(分担)	通年
総合実習	前期
木下義晶	
小児看護学実習(分担)	後期
卒業研究(分担)	通年
総合実習(分担)	前期
野口ゆかり	
助産学実習(分担)	前期
卒業研究(分担)	通年
総合実習(分担)	前期
全学教育少人数セミナー	後期
周産期健康教育演習(分担)	前期
助産診断・技術学演習(分担)	前期
助産過程論(分担)	前期
助産診断・技術学(分担)	前期
リプロダクティブヘルス基礎理論(分担)	前期
基礎助産学(分担)	前期
仲道由紀	
助産学実習(分担)	前期
総合実習(分担)	前期
助産診断・技術学演習(分担)	前期
周産期健康教育演習(分担)	前期
卒業研究(分担)	通年
藤田紋佳	
卒業研究(分担)	通年
小児看護学実習(分担)	通年

総合実習(分担)	前期
末次美子	
卒業研究(分担)	通年
母性看護学実習(分担)	通年
総合実習(分担)	前期
母性看護援助論(分担)	後期

8. 卒業論文作成者

増田祐美	病産院における妊娠期からの愛着形成による虐待予防 ー望まない妊娠をした妊婦に焦点をあててー
増田すばる	院内助産システムの現状と課題ー助産師が自立した助産ケアを行うにはー
赤澤慶子	母子分離状態にある低出生胎児の退院後を見据えた母乳育児支援について
井口裕加	交代制勤務にある看護師の妊娠経過異常の予防的関わりの検討-就労環境の在り方や休息の取り方-
石光絢香	核家族における乳幼児の睡眠覚醒リズムに及ぼす影響要因の検討
大庭 麗香	幼児期の子どもを対象としたプレパレーションの方法-継続的な視点からの分析-
尾崎 由佳	小児がんの子どもへの Truth Telling に関する意思決定で両親が抱く困難とその要因の検討ー思春期の子どもをもつ両親に焦点をあててー
津村 美緒	慢性疾患を持ちつつ地域の中で生活する学童期の子どもたちへの継続支援-医療・家庭・教育の連携における現状と課題-
西之園晶衣	妊娠先行結婚の母親に対する母親役割獲得過程を促進する看護
田中小百合	産褥早期の褥婦にとっての効果的なバースレビュー
田村美聡	妊娠期における母親から自への愛着に関する要因とその支援
藤崎菜月	低出生体重児を出産した母親に対する児の受容に向けた支援のあり方
森崎美佑紀	妊娠先行型結婚した父親の「親性」発達に向けた支援のあり方
向井那美	不妊治療の終結を選択する女性の心理とその支援
伊藤沙恵	NICU における家族支援の現状
坂本愛	学童後期・思春期の小児がん患児をとりまく復学支援の現状と看護の課題
河野有紗	緊急手術を受ける子どもと家族への支援
広岡茉紋	入院している子どものきょうだいに対する支援
真山庸旭	小児心臓カテーテル検査における看護の現状と課題
柳亜依香	広汎支給全摘術に伴う排尿障害に対する適切な看護援助の検討
須賀佳菜	会陰切開が女性の心身へ及ぼす影響
荒木美沙	経膣分娩直後のカンガルーケアがもたらす母児への影響

9. 研究生

李 瑩

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導 なし

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1	婦人科悪性腫瘍における RCAS1 の発現とその意義	加来
2	婦人科悪性腫瘍における血管新生の臨床的意義	加来
3	婦人科悪性腫瘍における細胞学的研究	加来
4	婦人科悪性腫瘍における臨床病理学的研究	加来
5	ジェンダー分析による働く女性の周経期症候群とその健康支援	平田
6	遅寝改善にみる乳幼児の生活リズム安定と心身の健康を導く研究	新小田
7	高照度環境にある NICU 入院早産児の睡眠・覚醒リズム形成と心身発達に関する前方視的研究	新小田
8	「難病の子ども居場所を創造するアクションリサーチ-日本型子どもホスピスの探求-」	濱田
9	在宅療養児のトータルケアの視点からの場の提案～地域に根ざした子どもホスピスの可能性を探る～	濱田
10	小児悪性固形腫瘍の oncogenesis における β カテニン遺伝子および WT1 遺伝子の関与	木下
11	小児固形悪性腫瘍における Glypican3 の発現の検討, 新規腫瘍マーカーとしての有用性の検討	木下
12	小児疾患に対する QOL を考慮した外科治療に関する研究	木下
13	妊娠・分娩・産褥期の母児の健康支援・健康教育に関する研究	野口
14	超音波検査室における最適な照明環境の研究	野口
15	こども虐待予防-揺さぶられ症候群予防に関する研究	野口
16	「祖父母となること」の発達に関する研究	仲道
17	三世代家族における次世代育成支援に関する研究	仲道
18	小児がんの子どもと家族の QOL に関する研究	藤田
19	難病のこどもの居場所に関する研究	藤田
20	生体肝移植を受けた子どもと家族の QOL に関する研究	藤田
21	女性の母親役割獲得過程に関する研究	末次
22	母子相互作用に関する研究	末次

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

加来恒壽

- 「基盤研究(C)」子宮頸部扁平上皮癌およびLSIL・HSIL・ASCの核クロマチン分布の定量的解析(代表)
- 「基盤研究(C)」NICU高照度環境が及ぼす早産児の睡眠・覚醒リズム形成と心身発達の前方視的研究(代表)

平田伸子

- 「基盤研究(B)」周産期からの子ども虐待予防推進のための助産師対象現任教育プログラムの実証的研究(代表)

新小田春美

- 「基盤研究(C)」NICU高照度環境が及ぼす早産児の睡眠・覚醒リズム形成と心身発達の前方視的研究(代表)
- 「基盤研究(C)」摂食・嚥下機能低下がみられた脳血管疾患患者への介護予防のための前向き介入研究(分担)

濱田裕子

- 「基盤研究(C)」難病の子どもの居場所を創造するアクションリサーチ-日本型子どもホスピスの探求-(代表)

木下義晶

- 「基盤研究(C)」小児固形悪性腫瘍におけるGLYPICAN3をターゲットとした分子標的治療(代表)
- 「基盤研究(C)」難病の子どもの居場所を創造するアクションリサーチ-日本型子どもホスピスの探求-(分担)
- 「基盤研究(C)」NICU高照度環境が及ぼす早産児の睡眠・覚醒リズム形成と心身発達の前方視的研究(分担)

仲道由紀

- 「若手研究(B)」養育期の家族における家族機能と祖父母の心理的発達に関する縦断研究(代表)

藤田紋佳

- 「若手研究(B)」外来化学療法を受ける子どもと家族のヘルスプロモーションを促す看護援助に関する研究(代表)
- 「基盤研究(C)」難病の子どもの居場所を創造するアクションリサーチ-日本型子どもホスピスの探求-(分担)

末次美子

- 「若手研究(B)」低出生体重児と母親の関係性発達支援プログラムの開発(代表)
- 「基盤研究(C)」NICU高照度環境が及ぼす早産児の睡眠・覚醒リズム形成と心身発達の前方視的研究(分担)

3. 学内研究経費の受け入れ なし

4. 奨学寄付金の受入れ なし

5. その他の外部研究資金の受入れ

加来恒壽

- 「臨床病態医学研究所 地域医療における細胞診断の意義」

濱田裕子

- 「勇美記念財団 在宅医療助成 在宅療養児のトータルケアの視点からの場の提案～地域に根ざした子どもホスピスの可能性を探る～」

木下義晶

- 「厚生労働省医療技術実用化総合研究事業(スーパー特区) 創薬化を目指した glypican-3 由来癌ペプチドワクチン療法のエビデンス創出のための臨床試験」
- 「がんのこどもを守る会助成金 新規腫瘍マーカーによる小児固形悪性腫瘍における診断システムの確立」

野口ゆかり

- 「ヤマギワ株式会社 株式会社 コ・メディカル 超音波検査室における最適な照明環境の研究」

藤田紋佳

- 「国内共同研究/生体肝移植を受けた子どもと家族の QOL に関する研究」公益財団法人 ファイザーヘルスリサーチ振興財団.

6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

7. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- Jingu R, Ohki M, Watanabe S, Tamiya S, Sugishima S, Kaku T: Quantitative Image Analysis of Nuclear Chromatin Distribution for Cytological Diagnosis, Acta Cytologica, 2011 年 10 月.
- Takatsu A, Shinozawa T, Miyamoto T, Kurosawa K, Kashima H, Yamada T, Kaku T, Mikami Y, Kiyokawa T, Tsuda H, Ishii K, Togashi K, Koyama T, Fujinaga Y, Kadoya M, Hashi A, Susumu N, Konishi I: Preoperative Differential Diagnosis of Minimal Deviation Adenocarcinoma and Lobular Endocervical Glandular Hyperplasia of the Uterine Cervix, Int J Gynecological Cancer, 2011 年 10 月.
- 仲 正喜, 大久保文彦, 渡邊壽美子, 田宮貞史, 加来恒壽, 杉島節夫, 山元英崇, 小林裕明, 小田義直: 子宮頸部細胞診における fiber cell の意義, 日本臨床細胞学会雑誌, 209-213, 2011 年 07 月.
- 新小田春美, 末次美子, 加藤則子, 浅見恵梨子, 神山潤, 内村直尚, 樗木晶子, 西岡和男, 大久保一郎, 松本一弥, 南部由美子, 加来恒壽: 幼児の遅寝をもたらす親子の睡眠生活習慣分析, 福岡医学雑誌, 2012 年 01 月.
- 萩原聖子, 谷口秀一, 園田隆徳, 嶋本富博, 加来恒壽, 斉藤俊章, 松隈敬太: 成人型卵巣顆粒膜細胞における臨床病理学的予後因子の検討, 日本婦人科腫瘍学会雑誌, 2012 年 01 月.
- 新小田 春美: 夜型社会における子どもの睡眠リズムによる心身発達の前方視的観察と「眠育」介入, こころの健康と病気 2011 財団法人 精神・神経科学振興財団 樋口輝彦, 高橋清久 編, 2012 年 03 月.

- 末次 美子: 乳幼児の発達年齢および親子の睡眠習慣からみた遅寝の実態とその影響要因の分析, 福岡医学雑誌, 2011 年 12 月.

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Hiromi Yamamoto, Nobuko Hirata: Concept analysis of Japanese nursing care for hospitalized pregnant women with threatened premature delivery. Sigma Theta Tau International's 22nd International Nursing Research Congress, 2011 年 07 月 13 日, Mexico.
- Ayaka Fujita, Yoshiko Suetsugu, Yuki Nakamichi: The interaction between a premature baby and a nurse using Japanese version of Nursing Child Assessment Feeding Scale, ICN(International Council of Nurses) conference 2011 Malta, 2011 年 05 月.
- Yoshiko Suetsugu: The emotional work and the mental health of nurses on the emotional labor in Japan, ICN(International Council of Nurses) conference 2011 Malta, 2011 年 05 月.

c. 大学・研究機関などの刊行誌 なし

d. 調査研究報告

- 新小田春美, 神山潤, 加藤則子, 内村直尚, 加来恒壽, 樗木晶子, 末次美子, 西岡和男, 浅見恵梨子, 大久保一郎, 松本一弥, 南部由美子: 夜型社会における子どもの睡眠リズムによる心身発達の前方視的観察と「眠育」介入, こころの病気と健康 2011, 2012 年 03 月.
- 上野恭子, 仲道由紀: 助産師による超音波断層装置の適切な利用に関する研究—地域における助産外来の取り組みと産科超音波診断研修会の効果—, 木村看護教育振興財団看護研究集録 18 号, 2011 年 09 月.
- 平田伸子, 野口ゆかり, 仲道由紀, 平田瑛子: 産科医療機関における周産期からの子ども虐待予防—Maternal Caregiving に焦点を当てた看護職教育プログラムの構築—, 木村看護教育振興財団 看護研究集録 18 号, 2011 年 09 月.
- 藤田 紋佳: 平成 24 年度看護実践力プロッサム開花プロジェクト報告書(人事交流における報告)2012 年 03 月.

e. 国内学会での講演, 発表

- 麻生佳愛, 井上貴史, 八木裕史, 河野善明, 兼城英輔, 奥川馨, 矢幡秀昭, 園田顕三, 加来恒壽, 小林裕明, 和氣徳夫: 当院における子宮頸部小細胞癌 I b1 期の検討, 2011 年 06 月 05 日, 沖縄.
- 渡邊壽美子, 加来恒壽, 田宮貞史, 鷺山和幸, 金城満, 杉島節夫, 小林裕明, 中尾佳史, 横山正俊, 岩坂剛: 細胞周期からみた核クロマチンの意義—臨床検体への応用を目指して—, 第 52 回日本臨床細胞学会総会春期大会, 2011 年 05 月 22 日, 福岡.
- 山口将太, 渡邊壽美子, 金城満, 鷺山和幸, 坂梨史則, 田宮貞史, 神宮綾多郎, 大喜雅文, 加来恒壽, 杉島節夫: 膀胱注入療法に伴う核クロマチン分布の経時的変化—RD 療法と PMC 分類の比較検討—, 第 52 回日本臨床細胞学会総会春期大会, 2011 年 05 月 21 日, 福岡.
- 渡邊英理子, 渡邊壽美子, 田宮貞史, 西村和徳, 鷺山和幸, 金城満, 加来恒壽, 横山正俊, 岩坂剛, 杉島節夫: Pap 染色における核所見と核 DNA 量の比較検討, 第 52 回日本臨床細胞学会総会春期大会, 2011 年 05 月 21 日, 福岡.
- 釣本美沙貴, 渡邊壽美子, 田宮貞史, 西村和徳, 鷺山和幸, 金城満, 加来恒壽, 横山正俊, 岩坂剛, 杉島節夫: 培養細胞を用いた核 DNA ロケーションと Pap 染色性の比較検討, 第 52 回日本臨床細胞学会総会春期大会, 2011 年 05 月 21 日, 福岡.
- 遠峯由希恵, 加来恒壽, 渡邊壽美子, 田宮貞史, 杉島節夫, 小林裕明, 小田義直: 子宮内膜癌における同一症例の組織像と組織像の比較検討—化生細胞に注目して—, 第 52 回日本臨床細胞学会総会春期大会, 2011 年 05 月 21 日, 福岡.
- 仲正喜, 大久保文彦, 渡邊壽美子, 田宮貞史, 加来恒壽, 杉島節夫, 山元英崇, 小林裕明, 和氣徳夫, 小田義直: 子宮頸部軽度異形成の経過観察における SL 細胞の意義, 第 52 回日本臨床細胞学会総会春期大会, 2011 年 05 月 22 日, 福岡.

- 西村和徳, 渡邊壽美子, 田宮貞史, 加来恒壽, 大久保文彦, 小田義直, 小林裕明, 和氣徳夫, 岩坂剛, 杉島節夫: 2核細胞の形成機序と子宮頸部腺系病変での臨床的意義についての検討, 第52回日本臨床細胞学会総会春期大会, 2011年05月22日, 福岡.
- 上原俊貴, 渡邊壽美子, 田宮貞史, 西村和徳, 加来恒壽, 中尾佳史, 横山正俊, 岩坂剛, 杉島節夫: 細胞周期からみた核クロマチン分布の検討, 第52回日本臨床細胞学会総会春期大会, 2011年05月22日, 福岡.
- 奥川馨, 小川伸二, 井上貴史, 兼城英輔, 矢幡秀昭, 園田顕三, 加来恒壽, 小林裕明 : 卵巣原発悪性黒色腫の一例, 第52回日本臨床細胞学会総会春期大会, 2011年05月22日, 福岡.
- 松元隆, 日浦昌道, 野河孝充, 小西郁生, 馬場長, 塩沢丹里, 八重樫伸生, 小林裕明, 笠松高弘, 落合和徳, 石河修, 吉川裕之, 川村直樹, 横田治重, 嘉村敏治, 岩坂剛, 波多江正紀, 加来恒壽, 津田均, 福永真治, 坂本穆彦: 子宮ポリープ状異型腺筋腫(atypical polypoid adenomyoma, APAM)の治療法確立に向けた臨床病理学的研究~第1報: 臨床的事項を中心として~, 第50回日本婦人科腫瘍学会学術講演会, 2011年07月22日, 札幌.
- 兼城英輔, 小林裕明, 井上貴史, 奥川馨, 矢幡秀昭, 園田顕三, 加来恒壽, 和氣徳夫, 平川俊夫, 松田貴雄, 加藤秀則: 胎状奇胎の病理診断に関する TSSC3 免疫染色の有用性-DNA 診断, p57kip2 免疫染色との比較検討-, 第50回日本婦人科腫瘍学会学術講演会, 2011年07月22日, 札幌.
- 小林裕明, 奥川馨, 井上貴史, 兼城英輔, 矢幡秀昭, 園田顕三, 加来恒壽, 和氣徳夫 : 妊婦帰結と同時に広汎子宮頸部摘出術を行った頸癌症例より考察する in utero trachelectomy の留意点, 第50回日本婦人科腫瘍学会学術講演会, 2011年07月23日, 札幌.
- 兼城英輔, 小林裕明, 井上貴史, 奥川馨, 矢幡秀昭, 小川伸二, 園田顕三, 加来恒壽, 和氣徳夫, 平川俊夫, 松田貴雄, 加藤秀則 : 胎状奇胎の病理診断に関する TSSC3 免疫染色の有用性-DNA 多型による遺伝子診断との比較検討-, 第63回日本産婦人科学会学術講演会, 2011年08月29日, 大阪.
- 前之原章司, 井上貴史, 兼城英輔, 奥川馨, 矢幡秀昭, 小川伸二, 園田顕三, 加来恒壽, 小林裕明, 和氣徳夫: タキサン治療後再発子宮頸癌に対する塩酸イリノテカン+シスプラチン療法の後方視的検討, 第63回日本産婦人科学会学術講演会, 2011年08月30日, 大阪.
- 長山利奈, 小林裕明, 兼城英輔, 井上貴史, 奥川馨, 矢幡秀昭, 小川伸二, 園田顕三, 加来恒壽, 和氣徳夫: 子宮体癌における筋層浸潤の術中評価-肉眼的評価と組織学的評価の相関程度について-, 第63回日本産婦人科学会学術講演会, 2011年08月30日, 大阪.
- 木村奈津子, 矢幡秀昭, 井上貴史, 兼城英輔, 奥川馨, 小川伸二, 園田顕三, 加来恒壽, 小林裕明, 和氣徳夫 : 再発・増悪 Mullerian carcinoma に対するリポソーマルドキソルピシン単剤療法の検討, 第63回日本産婦人科学会学術講演会, 2011年08月30日, 大阪.
- 矢幡秀昭, 小林裕明, 井上貴史, 兼城英輔, 奥川馨, 小川伸二, 園田顕三, 加来恒壽, 和氣徳夫: 感受性再発卵巣癌に対するカルボプラチン+リポソーマルドキソルピシン併用療法の検討, 第63回日本産婦人科学会学術講演会, 2011年08月30日, 大阪.
- 安武伸子, 河野善明, 井上貴史, 兼城英輔, 奥川馨, 矢幡秀昭, 園田顕三, 加来恒壽, 小林裕明, 和氣徳夫: 著明な扁平上皮化生を伴った子宮留膿症合併子宮体癌の一例, 第143回福岡産科婦人科学会, 2011年10月02日, 久留米大学医学部筑水会館.
- 遠峯由希恵, 加来恒壽, 渡邊壽美子, 田宮貞史, 杉島節夫, 小林裕明, 小田義直: 扁平上皮化生に注目した子宮内膜癌における同一症例の細胞像と組織像の比較検討, 第50回日本臨床細胞学会秋期大会, 2011年10月22日, 東京.

- 中武優理, 麻生佳愛, 井上貴史, 兼城英輔, 河野善明, 奥川馨, 矢幡秀昭, 園田顕三, 加来恒壽, 小林裕明, 和氣徳夫 : 単純型子宮内膜増殖症を伴った卵巣間質性黄体腫の一例, 第 144 回福岡産科婦人科学会, 2012 年 01 月 29 日, 福岡.
- 日浅佳奈, 赤澤宗俊, 松下知子, 東條伸平, 権丈洋徳, 遠城幸子, 西田眞, 梅津隆, 西島豊, 加来恒壽 : 卵巣境界悪性明細胞腫瘍の一例, 第 144 回福岡産科婦人科学会, 2012 年 01 月 29 日, 福岡.
- 大谷芳子, 阿部祥子, 柴田和子, 森山淳子, 濱田裕子, 藤田紋佳: 難病の子どもの居場所を創造するアクションリサーチ第 1 報-第 1 回子どもホスピスフォーラムにおけるイメージ調査について-, 第 58 回日本小児保健協会学術集会, 2011 年 09 月 02 日, 名古屋.
- 濱田裕子, 大谷芳子, 森山淳子, 阿部祥子, 柴田和子, 藤田紋佳, 相星香: 難病の子どもの居場所を創造するアクションリサーチ第 2 報-7 事例への関わりを通して-, 第 58 回日本小児保健協会学術集会, 2011 年 09 月 02 日, 名古屋.
- 濱田裕子: 子どものホスピスへ〜亡くなった子どもへの手紙〜物語を紡ぐということ, 第 8 回日本質的心理学会, 2011 年 11 月 27 日, 広島.
- 濱田裕子, 藤田紋佳, 京極新治: 看護がつなぐ新しいケアのカタチ〜福岡子どもホスピスプロジェクトの試み〜, 第 31 回日本看護科学学会, 2011 年 12 月 03 日, 高知.
- 木下義晶, 永田公二, 手柴理沙, 江角元史郎, 金城唯宗, 落合正行, 永田弾, 山村健一郎, 池田和幸, 原寿郎, 藤田恭之, 和氣徳夫, 前野泰樹, 角秀秋, 田口智章: 完全大血管転移症を合併した先天性横隔膜ヘルニア, 第 47 回日本周産期・新生児医学会, 2011 年 07 月 12 日, 札幌.
- 木下義晶, 手柴理沙, 江角元史郎, 宗崎良太, 永田公二, 田尻達郎, 藤田恭之, 福嶋恒太郎, 和氣徳夫, 田口智章: 当科における巨大仙尾部奇形腫の検討と胎児治療に関する展望, 第 48 回日本小児外科学会, 2011 年 07 月 20 日, 東京.
- 木下義晶, 宗崎良太, 古賀友紀, 住江愛子, 三好きな, 孝橋賢一, 小田義直, 原寿郎, 田口智章: 小児腎腫瘍の新病理分類に基づく解析ー特に後腎芽細胞優位型ー, 第 53 回日本小児血液・がん学会, 2011 年 11 月 26 日, 前橋.
- 木下義晶, 宗崎良太, 古賀友紀, 住江愛子, 三好きな, 孝橋賢一, 小田義直, 原寿郎, 田口智章: 新病理分類による九州地区登録例の検討, JWITS 研究会, 2012 年 1 月 29 日, 東京.
- 木下義晶, 宗崎良太, 古賀友紀, 住江愛子, 三好きな, 孝橋賢一, 小田義直, 原寿郎, 田口智章: 小児泌尿器腫瘍の新病理分類による九州地区登録例の解析, 九州地区小児固形悪性腫瘍研究会, 2012 年 3 月 3 日, 東京.
- 仲道由紀, 平田伸子, 鈴宮寛子, 野口ゆかり: 子ども虐待一次予防を目指して-母子の家庭訪問に関する調査-, 第 11 回日本母子看護学会学術集会, 2011 年 07 月 09 日, 福岡.
- 仲道由紀, 齊藤ひさ子, 平田伸子, 野口ゆかり: 「祖父母となることの発達」測定尺度の開発, 第 31 回日本看護科学学会学術集会, 2011 年 12 月 03 日, 高知.
- 藤田紋佳, 濱田裕子: 小児看護学実習に活かす技術演習教材の評価-幼児のバイタルサイン測定教材を用いて-, 日本小児看護学会 第 21 回学術集会, 2011 年 07 月 24 日, 埼玉会館.

f. 学会以外での講演, 発表 なし

著作

a. 単行本

- 加来恒壽(編者), 有川節夫, 武内和彦, 尾身茂, モハメド・サレー・モハメド・ヤシン, 永淵正法, 林純, 樗木晶子, 平田伸子, 喜多悦子, 水田祥代 : (編集) グローバル化した保健と医療, 2011 年 11 月, 国際書院.

- 加来恒壽, 大石善丈, 小川伸二: (共著) 病気の分子形態学, 2011年09月, 学際企画株式会社.
- 加来恒壽, 大石善丈, 遠峯由希恵: (共著) 産婦人科学レビュー2011, 2011年05月, 総合医学社.
- 平田伸子, 岩崎和代, 及川裕子, 大澤豊子, 小笹由香, 加藤章子, 熊澤美奈好, 斉藤益子, 佐藤喜美子, 関島英子, 檜原洋子, 野々山未希子, 濱寄眞由美, 藤本薫, 松永佳子, 三島みどり, 宮崎文子, 山崎圭子, 渡邊知佳子: (共著) 助産師国家試験予想問題 2011, 2011年07月, クオリティケア

b. 総説

- 濱田裕子: 生を支える子どもホスピス～欧州からの風～第1回ようこそ子どもホスピスへ, 小児看護 へるす出版, 2011年06月.
- 濱田裕子: 生を支える子どもホスピス～欧州からの風～第2回いのちのかがやきのために～, 小児看護 へるす出版, 2011年07月.
- 濱田裕子: 生を支える子どもホスピス～欧州からの風～第3回どんときも～, 小児看護 へるす出版, 2011年08月.
- 濱田裕子: 生を支える子どもホスピス～欧州からの風～最終回 知と技の結集-「ケアする/される」を超えて～, 小児看護 へるす出版, 2011年09月.

c. 解説, 書評など

- 加来恒壽, 新小田春美, 末次美子, 渡邊壽美子: 子宮体癌, 薬局 増刊号 63(4), 2012年03月.
- 加来恒壽, 渡邊壽美子, 末次美子 : 病気のはなし 子宮頸部腺癌, 検査と技術 39巻 11号 医学書院, 2011年11月.

受賞 報道

- 加来, 読売新聞, 「子宮頸がん」, 2011年12月.
- 平田, 西日本新聞広告社, 「国際助産師の日の意義, 内容紹介」, 2011年05月.
- 濱田, 西日本新聞, 「「重い障害ある子と家族を支える」子どもホスピスプロジェクトにおける難病の子どもへの訪問活動の紹介」, 2011年05月.
- 濱田, 西日本新聞, 「10月22日に福岡子どもホスピスプロジェクトディスカッション企画として開催した, 20歳の難病の青年を迎えて「余命を知って生きるということ」の様子がとりあげられた」, 2011年10月.
- 濱田, 西日本新聞, 「H23, 9月23日に福岡子どもホスピスプロジェクトの一環として, フランスからのクリニックを招いて, 在宅療養している難病児 5組の家庭を訪問した様子が取り上げられた」, 2011年09月.
- 濱田, RKB毎日, FM福岡, 「こころのオルゴール「子どもホスピス」」, 2011年11月.

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 木下, 創薬化を目指した glypican-3 由来癌ペプチドワクチン療法のエビデンス創出のための臨床試験, 厚生労働省医療技術実用化総合研究事業(スーパー特区), 2009年09月～2011年09月.
- 木下, 新規腫瘍マーカーによる小児固形悪性腫瘍における診断システムの確立, がんのこどもを守る会助成金, 2010年05月～2011年05月.
- 野口, 超音波検査室における最適な照明環境の研究, ヤマギワ株式会社 株式会社 コ・メディカル, 2007年01月～2012年03月.

2. 受託研究

- 加来, 地域医療における細胞診断の意義, 臨床病態医学研究所, 2007年01月～2013年04月.

3. 取得特許 なし

4. 兼業なし

5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 濱田, RUSH University (United States of America), その他, 2011年05月～2011年05月 (2週間未満).
- 野口, 台湾高雄医学大学 (Taiwan), 大学・研究所訪問, 2012年02月～2012年02月 (2週間未満).
- 仲道, 台湾高雄医学大学 (Taiwan), 大学・研究所訪問, 2012年02月～2012年02月 (2週間未満).

2. 外国人研究者の受入れ

- a. 訪問教授・研究員 なし
- b. 訪問研究者 なし

留学生の受入れ

李 瑩 研究生 留学生

学生の海外派遣なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 加来, 教育研究評議会委員.
- 加来, 入学試験審議会委員.
- 新小田, 臨床研究センター業務支援(プロトコール審査委員).
- 濱田, 情報環境利用委員.

2. 部局委員

- 加来, 医学研究院情報公開委員会委員.
- 加来, 医学研究院教員業績評価専門部会委員.
- 加来, 九州大学医の倫理に関する協議会委員.
- 平田, 医学研究院 ヒトES細胞の樹立及び使用に関する倫理審査専門委員会.
- 新小田, 九州大学 センター試験 主任監督.
- 新小田, 馬出地区安全・衛生委員会.
- 濱田, 臨床研究倫理審査委員会.
- 野口, カリキュラム WG.

3. 部門・コース内委員

- 平田, 学生委員.
- 新小田, 社会人入試英語問題作成委員, 代表.
- 新小田, 臨床実習指導者会議, 保健学科代表委員.
- 新小田, 実習委員会委員.
- 新小田, 広報委員会委員.
- 濱田, 修士課程入学試験英語問題作成委員.
- 濱田, 保健学専攻博士課程入学試験英語問題作成委員.

- 仲道, 卒業研究実行委員.
- 藤田, 施設環境委員会看護学分野ワーキンググループ.
- 藤田, 実習委員会委員.
- 末次, 看護実践カブロッサム開花プロジェクト 運営実行委員.
- 末次, 地域国際連携推進委員.

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 加来, 佐賀大学医学部看護学科, 非常勤講師.
- 濱田, 産業医科大学・産業保健学部, 非常勤講師.
- 濱田, 独立行政法人国立病院機構九州ブロック 実習指導者養成講習会, 非常勤講師.
- 濱田, 福岡市立こども病院, 非常勤講師.
- 木下, 原看護専門学校, 非常勤講師.
- 仲道, 香蘭女子短期大学・ライフプランニング総合学科, 非常勤講師.
- 藤田, 福岡医療福祉大学, 非常勤講師.

2. 学協会

- 加来, 日本臨床細胞学会, 細胞診専門医委員会委員, 学術団体.
- 加来, 日本臨床細胞学会, 教育委員会委員, 学術団体.
- 加来, 福岡母性衛生学会, 理事, 国内.
- 加来, 日本婦人科腫瘍学会, 評議員, 国内.
- 加来, 日本臨床細胞学会九州連合会, 理事(編集委員長), 国内.
- 加来, 日本臨床細胞学会, 評議員, 国内.
- 加来, 日本臨床細胞学会, 福岡県支部長, 国内.
- 加来, 日本婦人科腫瘍学会, 理事, 国内.
- 加来, 福岡産科婦人科学会, 評議員, 国内.
- 加来, 日本母性衛生学会, 評議員, 国内.
- 加来, 日本臨床細胞学会, 細胞診専門医委員会委員, 国内.
- 加来, 日本臨床細胞学会, 教育委員会委員, 国内.
- 加来, 日本細胞診断学推進協会, 代議員, 国内.
- 加来, 日本臨床細胞学会, 理事, 国内.
- 加来, 日本臨床細胞学会, 国際交流委員担当理事, 国内.
- 加来, International Journal of Clinical Oncology, 編集委員, 国際.
- 加来, 日本臨床細胞学会, 査読委員, 国内.
- 平田, 日本母子看護学会, 理事及び査読委員, 国内.
- 平田, 日本母子衛生学会, 査読委員, 国内.
- 平田, 日本看護科学学会, 査読委員, 国内.
- 平田, 日本助産学会, 査読委員, 国内.
- 平田, 日本助産師会, 評議員, 国内.
- 平田, 社団法人福岡県助産師会, 会長, 国内.
- 平田, 公益法人全国助産師教育協議会, 理事(地区理事3期, 広報委員), 国内.
- 平田, 公益法人全国助産師教育協議会会報, 編集委員長, 国内.
- 新小田, 日本助産学会, 代議員, 国内.
- 新小田, 日本母性衛生学会, 査読委員, 国内.
- 新小田, 福岡県助産師会, 広報委員(福岡県助産師会ホームページ委員)
- 新小田, 日本看護教育学会, 査読委員, 国内.
- 新小田, 日本看護研究学会雑誌, 査読委員, 国内.
- 新小田, 日本助産学会, 査読委員, 国内.
- 新小田, 日本応用心理学会, 査読委員, 国内.
- 濱田, 日本小児看護学会, 査読委員, 国内.

- 木下, 日本周産期・新生児医学会, 運営委員 (学術委員会), 国内.
- 木下, 日本小児泌尿器科学会, 評議員, 国内.
- 木下, 日本小児外科学会, 評議員, 国内.
- 木下, 日本小児外科学会, 悪性腫瘍委員会委員, 国内.
- 木下, 日本小児外科学会, 運営委員 (教育委員), 国内.
- 木下, 日本小児血液・がん学会, 評議員
- 野口, 日本助産学会, 査読委員, 国内.
- 野口, 福岡市助産師会, 副会長, 国内.
- 野口, 福岡母性衛生学会, 幹事, 国内.
- 野口, 九州大学助産師同窓会, 理事, 国内.
- 野口, 福岡県看護協会, 推薦委員, 国内.
- 仲道, 九州大学助産師同窓会, 役員, 国内.
- 仲道, 福岡母性衛生学会, 幹事, 国内.
- 藤田, 九州大学助産師同窓会 役員, 国内
- 末次, 福岡母性衛生学会, 幹事, 国内.

3. 官界

- 加来, 「福岡県社会保険診療報酬請求書審査委員会審査委員」, 社会保険診療報酬支払基金福岡支部.
- 平田, 「福岡県社会福祉審議会・専門部会(児童虐待等死亡事例検証部会委員), 福岡市児童福祉審議会・権利擁護等専門部会・児童虐待死亡事例検証部会委員」, 福岡県 福岡市 .
- 平田, NPO 法人子ども家庭センター, 理事 (副理事長), 国内.
- 新小田, 福岡県看護協会, 社会経済福祉委員会.
- 新小田, 福岡県看護連盟, 地区(福岡県 5 支部)施設代表, 国内.
- 新小田, 福岡県助産師会, 地区理事, 国内.

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 新小田, 平成 23 年度福岡県看護協会 助産師職能研修 助産師臨床実習指導者研修会講師
- 新小田, 平成 23 年度九州大学病院 臨床指導者研修会講師

5. 公開講座・公開講演会

- 濱田, 「第 9 回九州大学医学部保健学科公開講座—小児の緩和ケアと子どもホスピス—」, 九州大学医学部保健学科. 九州大学医学部百年講堂, 公開講座.
- 濱田, 「重い病気や障がいのある子どもと家族のトータルケア*～小児緩和ケアの視点から～」, 中外製薬. 熊本大学附属病院, セミナー・研修会.
- 木下, 「子どもが安心して検査や手術を受けるための工夫」, 第 22 回福岡国際母子総合研究シンポジウム 第 9 回市民公開講座. 福岡市, 公開講座.

6. 初等中等教育への貢献

- 平田, 「性を考える「性感染症」」, 福岡市立香椎第二中学校 2 年生全員. 講演・セミナー等.
- 新小田, 北海道の委託事業「助産師外来担当者上級実践能力向上研修」, 講師, 日本赤十字北海道看護大学.

看護学分野

《地域・精神看護》

教授	鳩野 洋子
教授	小野 ミツ
講師	藤野 成美
講師	寺岡 佐和
講師	前野 有佳里
助教	木村 一絵
助教	木原 深雪
助教	重松 由佳子

1. 教育活動

1. 大学院講義

鳩野 洋子		
看護学研究方法論Ⅱ(分担)		前期
地域生活ケアシステム論Ⅰ(分担)		前期
地域生活ケアシステム論Ⅱ(分担)		後期
ヘルスサイエンス論(分担)		前期
小野 ミツ		
ヘルスサイエンス論(分担)		前期
アジアにおける保健学(分担)		前期
地域生活ケアシステム論(分担)		前期
前野 有佳里		
アジアにおける保健学(分担)		前期

- 2. 大学院実験・実習 なし
- 3. 大学院演習 なし
- 4. 大学院修士課程修了者 なし
- 5. 大学院博士課程修了者 なし

6. 学部講義

鳩野 洋子		
地域看護概論(分担)		後期
疫学・保健統計(分担)		後期
看護研究入門(分担)		前期
健康教育論(分担)		前期
看護における社会調査法(分担)		前期
対象別地域看護活動論(分担)		前期

小野 ミツ	
グループ・組織化活動論(分担)	前期
健康政策論(分担)	後期
健康と社会(分担)	後期
藤野 成美	
精神看護学概論(分担)	前期
精神疾病論(分担)	前期
地域精神保健学(分担)	前期
健康と社会(分担)	後期
精神看護援助論(分担)	後期
寺岡 佐和	
在宅看護概論(分担)	前期
産業看護論(分担)	後期
地域看護学概論(分担)	後期
コアセミナー(分担)	前期
前野 有佳里	
保健福祉行政論(分担)	前期
地域看護診断論(分担)	前期
地域看護学総論(分担)	前期
健康教育論(分担)	前期
地域精神保健(分担)	前期
木村 一絵	
グループ・組織化活動論(分担)	前期
産業看護論(分担)	後期
コアセミナー(分担)	前期
健康と社会(分担)	
重松 由佳子	
健康教育論(分担)	前期
地域看護学概論(分担)	後期
健康と社会(分担)	後期

7. 学部の実験・実習・演習

鳩野 洋子	
地域看護学実習(分担)	通年
地域看護診断論(分担)	前期
卒業研究(分担)	通年
小野 ミツ	
地域看護学実習(分担)	通年
地域看護技術学(分担)	前期
総合実習(分担)	前期
在宅看護技術論(分担)	後期
卒業研究(分担)	通年

藤野 成美	
総合実習(分担)	前期
精神看護学実習(分担)	通年
卒業研究(分担)	通年
寺岡 佐和	
地域看護学実習(分担)	通年
総合実習(分担)	前期
在宅看護技術論(分担)	後期
卒業研究(分担)	通年
前野 有佳里	
地域看護学実習(分担)	通年
卒業研究(分担)	通年
木村 一絵	
在宅看護技術論(分担)	後期
地域看護学実習(分担)	通年
総合実習(分担)	前期
卒業研究(分担)	通年
重松 由佳子	
地域看護学実習(分担)	通年
卒業研究(分担)	通年

8. 卒業論文作成者

羽田美砂	震災時における地域高齢者の健康上の課題とその対応
寺田実加	児童虐待に関わる行政保健師を含む専門職の連携を促進するための要因の検討
江本安姫	妊娠期における産後うつ発生を予測する要因の検討
陣内舞	地域における高齢者の「社会的孤立」に関する検討
木村安奈	病院における臭気対策—看護師の日常業務の中で行える消臭対策—
原田結希	認知症高齢者の尊厳を支えるケアに必要なアセスメントの視点についての検討—センター方式の利用報告から—
木下洋平	認知症高齢者とその介護者の病院受診を障害する要因の検討
磯貝悠加	要介護高齢者を介護している家族介護者の状況—性別に焦点をあてて—
池田麻衣	軽度の発達障害児をもつ母親への支援の検討—母親の思いの分析から—
税所麻由子	過疎地域で生活する高齢者を支える要因について—都市部高齢者の特徴と比較して—
野中理紗	高齢者が一人暮らしを継続できる要因の検討
油田みなみ	過疎地域の高齢者に関する健康課題—都市周辺部にみられる交通の不便な地域の高齢者に関する健康課題の検討に向けて—
檜木慧	低出生体重児をもつ父親の役割行動に至るプロセスと課題—地域における支援の在り方の検討に向けて—
野口寛子	認知症高齢者を受容できるまでの介護者の心理的プロセスと看護のあり方に関する検討
新谷知沙	アスペルガー症候群患者に対する医療機関における看護の現状—入院中の看護と外来看護に焦点を当てて—

土井歌織	統合失調症患者の母親がたどる心理的プロセス —患者の発症時から母親が体験した出来事に沿って—
西崎奈美	患者から暴力を受けた精神科看護師の感情とコーピングの時間的変化について

9. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導

寺岡佐和	新入生合宿研修(新入生担任として参加)
木村一絵	新入生合宿研修(新入生担任として参加)

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1	統括保健師の役割・機能に関する研究	鳩野
2	高齢者虐待の実態と虐待防止, 早期発見に関する研究	小野
3	配偶者看取り後の独居高齢者の QOL 構築プロセスと 地域ケアシステムの 国際(日本・フィンランド・スウェーデン)比較研究	小野
4	高齢者の予防訪問の有用性と効果的な運用に関する国際(日本・フィンランド・デンマーク・スウェーデン)比較研究	小野
5	地域生活へ移行する統合失調症者に対するアドヒアランス・セラピーの介入に関する質的研究	藤野
6	認知症高齢者の QOL に関する研究	寺岡
7	措置入院における保健師のケア技術に関する研究	前野
8	育児支援に関する研究	木村
9	幼児の問題行動が減少することを旨とした地域における子育てプログラムに関する研究	木村
10	薬物依存症の回復過程に影響を及ぼす要因 2. 司法精神看護学の確立に向けての研究	木原
11	保健師と地域組織との協働した保健活動に関する研究	重松

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

鳩野 洋子

- 「基盤研究(C)」保健師の措置入院における要保護者ケアプログラムの開発, (分担)
- 「基盤研究(C)」保健師のリーダーシップ能力尺度の開発と評価, (代表)
- 「基盤研究(C)」地区活動を強化するコミュニティ・エンパワメントモデルの開発, (分担)
- 「基盤研究(C)」地域保健分野で活動する NPO のアセスメント指標の開発, (分担),
- 「基盤研究(C)」身体合併症ケア能力強化のための精神科看護師実践プログラムの開発, (分担)

小野 ミツ

- 「基盤研究(C)」在宅高齢者における介護予防に向けたフットケアプログラムの検証および提唱，(分担)
- 「基盤研究(B)」多理論統合モデルを用いた介護予防プログラム介入のランダム化比較研究，(分担)
- 「基盤研究(B)」地域看護職者による高齢者全数の予防訪問の実施方法と効果，(分担)
- 「基盤研究(C)」看護職と被虐待高齢者・家族支援の実践教育プログラムの開発，(代表)
- 「萌芽研究」高齢者用日本文化型カード式回想法の開発，(分担)

藤野 成美

- 「基盤研究(C)」身体合併症ケア能力強化のための精神科看護師実践プログラムの開発とその評価，(代表)

寺岡 佐和

- 「若手研究(B)」介護保険施設における認知症の三次予防に効果的な園芸療法プログラムの作成方法の研究，(代表)

前野 有佳里

- 「基盤研究(C)」措置入院における保健師のケア技術とケアプログラム開発，(代表)
- 「基盤研究(B)」在日外国人に対する看護の現状と諸外国における状況との比較，(連携)
- 「基盤研究(C)」高齢者の早期退院に向けた首下型簡易サウナによる看護プログラムの開発，(分担)

重松 由佳子

- 「一般研究(C)」地域保健分野で活動するNPOのアセスメント指標の開発，(代表)

3. 学内研究経費の受け入れ なし

4. 奨学寄附金の受入れ

藤野 成美

- 「精神科看護師の看護実践能力向上に向けた教育プログラム構築に関する研究」 日本精神科看護技術協会

5. その他の外部資金の受入れ

小野 ミツ

- 「社会福祉法人 朝日新聞厚生文化事業団」在宅高齢者介護における介護状況評価表の開発

6. 受託研究員・研修員の受入れ

7. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- 山下清香, 鳩野洋子, 前野有佳里, 原善子 : 自治体における特定保健指導の質の管理システム導入の意義に関する検討—保健師の認識の変化から—, *福岡県立大学看護学研究紀要* 2012;9(2):33-42, 2012年03月. (査読あり)
- 鳩野洋子, 前野有佳里 : 都市在住高齢者における生活実態に関する郵送調査未返送者の特徴, *厚生の指標* 58巻12号, 2011年10月. (査読あり)
- 姫野稔子, 小野ミツ, 太田陽子, 孫田千恵 : 在宅高齢者におけるフットケアの効果の継続性～ケア終了6ヶ月後の追跡調査から～, *日本赤十字九州国際看護大学紀要*, 10号 : pp. 73-82, 2011
- 姫野稔子, 小野ミツ, 孫田千恵 : フットケアがもたらす在宅高齢者の体験世界と行動変容の検討, *老年看護学*, 15(2) : pp. 51-57, 2011
- 藤野成美, 岡村仁 : 長期入院統合失調症患者の苦悩評価尺度の作成とその信頼性・妥当性の検討, *日本看護研究学会誌*, 2011年09月

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Reiko Okamoto, Keiko Koide, Emiko Kusano, Saori Iwamoto, Yoko Hatono, Hiromi Kayano: Characteristics the learning process in Japan, Based on reflections of the Public health nurses who participated in the competency development program, ICCHNR Symposium, 2011年05月05日, Canada.
- Yoko Hatono, Hiroko Suzuki, Naoko Masaki: Roles expected of municipal public health nurse supervisors (Tokatsu), The 2nd Japan-Korea joint conference on community health nursing, 2011年07月18日, Japan.
- Emiko Kusano, Reiko Okamoto, Keiko Koide, Saori Iwamoto, Yoko Hatono, Hiromi Kayano, Kyoko Fukukawa, Fusami Nagano: Characteristics examined in public health nurse education backround of young public health nurses and factors related to self-evaluation of practical proficiency in Japan, The 2nd Japan-Korea joint conference on community health nursing, 2011年07月18日, Japan.
- Hiromi Kayano, Reiko Okamoto, Keiko Koide, Emiko Kusano, Saori Iwamoto, Yoko Hatono, Kyoko Fukukawa, Fusami Nagano: Relationship between PHNs self-confidence as a professional development scales (PDS), The 2nd Japan-Korea joint conference on community health nursing, 2011年07月18日, Japan.
- Kyoko Fukukawa, Reiko Okamoto, Keiko Koide, Saori Iwamoto, Emiko Kusano, Yoko Hatono, Hiromi kayano: Actual conditions of the practical proficiency of public health nurses working in administration agencies , The 2nd Japan-Korea joint conference on community health nursing, 2011年07月18日, Japan.
- Reiko Okamoto, Keiko Koide, Emiko Kusano, Saori Iwamoto, Yoko Hatono, Hiromi Kayano, Kyoko Fukukawa, Fusami Nagano: Actual conditions of evidence-based public health nursing practices -An analysis of the descriptions of “Identified target” and “Outcome expression”-, The 2nd Japan-Korea joint conference on community health nursing, 2011年07月18日, Japan.
- Saori Iwamoto, Reiko Okamoto, Keiko Koide, Emiko Kusano, Yoko Hatono, Hiromi Kayano, Kyoko Fukukawa: Comparing changes in the basic public health activity skills of public health nurses over time, The 2nd Japan-Korea joint conference on community health nursing, 2011年07月18日, Japan.
- Yukari Maeno, Yoko Hatono, Kaori Baba: Research on public health nurse’s care for a patient who is in the process of being involuntarily hospitalized in a mental hospital, The 2nd Japan-Korea joint conference on community health nursing, 2011年07月18日, Japan.
- Shigetuki Kajiki, Naoto Ito, Suo Taira, Masako Nagata, Yukari Maeno, Yoko Hatono, Tomofumi Sone, Koji Mori: Third party certification system regarding service quality of healthcare advice with a particular focus on the Metabolic syndrome, 30th International congress on occupational health, 2012年03月22日, Mexico.
- Kaori Nakaya, Mitsu Ono, Aaron Tabacco, Tomoko Tanuma, Kumiko Morita, Akiko Sasaki, Early support system for children with special needs and their parents in Oregon: The 10th International Family Nursing Conference, Jun 2011, Kyoto Japan.
- Akiko Sasaki, Mitsu Ono, Masako Nishigori, Kumiko Morita, Tomoko Tanuma, Hiroko Endo, Kanako Iijima, Helli Kitinoja, Lene Hollonder, Harriet Persson; Preventive visits to elderly people for the purpose of health promotion and preventive care in Japan, The 5th International Conference on Community Health Nursing Research (ICCHNR2011), May 2011, Edmonton, Alberta Canada.
- Yuko Wakizaki, Narumi Fujino: Experience and Wishes to Support Living of Elderly Schizophrenia Patients during Long-Term Admission, Grobal Congress for Qualitative Health Research, 2011年06月27日, Korea.

- Teraoka, S., Konishi, M., Harada, H. : An Examination of Effective Horticultural Activity Program for the Mental Stability of Elderly with Dementia, The 2nd Japan-Korea Joint Conference on Community Health Nursing, 2011年07月17日, Japan.
- Harada, H., Konishi, M., Teraoka, S. : Desired Child-care Support for Supporter and Supportee and the Task, The 2nd Japan-Korea Joint Conference on Community Health Nursing, 2011年07月17日, Japan.
- Nagahiro, C., Ozasa, Y., Saito, H., Teraoka, S., Yoshinaga, K., Furugen, C., Namitome, C., Nakashima, K. : Child Abuse in Japan(Part2) Research on Demographic Characteristics of Public Health Nurse Experiences of Child Abuse Cases, The 2nd Japan-Korea Joint Conference on Community Health Nursing, 2011年07月17日, Japan.
- Shigeyuki Kajiki, Naoto Ito, Suo Taira, Masako Nagata, Yukari Maeno, Yoko Hatono, Tomofumi Sone, Koji Mori: Third Party Certification System regarding Service Quality of Healthcare Advice with a Particular Focus on the Metabolic Syndrome, 30th International Congress on Occupational Health, 2012年03月18日, Mexico.
- Yukari Maeno, Yoko Hatono, Kaori Baba: Research on Public Health Nurse's Care for a Patient who is in the Process of Being Involuntarily Hospitalized in a Mental Hospital, The 2nd JAPAN-KOREA Joint Conference on Community Health Nursing, 2011年07月18日, Japan.

c. 大学・研究機関などの刊行誌 なし

d. 調査研究報告

- 小野ミツ, 佐々木明子: 看護職と被虐待高齢者・家族支援の実践教育プログラムの開発, 2012年03月.

e. 国内学会での講演, 発表

- 岩木三保 鳩野洋子: 筋委縮性側索硬化症(ALS)介護者の肯定的認知に関連する要因の検討, 第4回福岡神経難病ケア研究会, 2011年04月23日, 福岡市.
- 原善子, 鳩野洋子: 産業保健師のメンタルヘルス活動に関するコンピテンシー, 第84回日本産業衛生学会, 2011年05月15日, 東京.
- 上村景子, 鳩野洋子, 大江千恵子, 井本ひとみ, 松尾史子, 田中薫, 中村利恵, 荒巻悦子: 若年層を対象とした保健指導の評価~40歳未満の若年層の行動変容を促すプログラムの実践報告~, 第84回日本産業衛生学会, 2011年05月15日, 東京.
- 大江千恵子, 鳩野洋子, 上村景子, 井本ひとみ, 松尾史子, 田中薫, 中村利恵, 荒巻悦子: 若年層を対象とした保健指導の評価~40歳未満の若年群と40歳以上の群との比較~年層を対象とした保健指導の評価~40歳未満の若年層の行動変容を促すプログラムの実践報告~, 第84回日本産業衛生学会, 2011年05月15日, 東京.
- 梶木繁之, 伊藤直人, 西本真証, 篠原将貴, 永田昌子, 鳩野洋子, 曾根智文, 森晃爾: 保健指導サービスの質に関する第三者評価制度の開発(第2報)-評価制度の実施体制(案), 第84回日本産業衛生学会, 2011年05月15日, 東京.
- 鎌田久美子, 岡島さおり, 海法澄子, 松井通子, 松本珠美, 三井尚美, 大場エミ, 佐伯和子, 田高悦子, 多田敏子, 鳩野洋子, 藤丸和子, 横山美江: 保健師教育課程における産業保健及び学校保健を組み込んだ臨地実習の実態調査について~教育施設における調査結果~(第1報), 第1回日本保健師学術集会, 2012年03月09日, 東京.
- 山下清香, 鳩野洋子, 久保善子, 前野有佳里: 市町村への特定保健指導の質の管理システム導入支援の試み-保健師の認識の変化から-, 第70回日本公衆衛生学会, 2011年10月20日, 秋田.
- 鈴木浩子, 鳩野洋子, 真崎直子: 市町村統括保健師に求められる役割・機能と影響要因, 第70回日本公衆衛生学会, 2011年10月20日, 秋田.

- 長野扶佐美, 岡本玲子, 鳩野洋子, 岩本里織, 草野恵美子, 小出恵子, 茅野裕美, 福川京子: 活動の必要性と成果を見せる能力の実態 ~保健師の全国調査より~, 第70回日本公衆衛生学会, 2011年10月20日, 秋田.
- 岡本玲子, 鳩野洋子, 長野扶佐美, 岩本里織, 草野恵美子, 小出恵子, 茅野裕美, 福川京子: 公衆衛生看護技術評価尺度開発の試み1 活動の必要性を見せる能力の評価, 第70回日本公衆衛生学会, 2011年10月20日, 秋田.
- 鳩野洋子, 岡本玲子, 長野扶佐美, 岩本里織, 草野恵美子, 小出恵子, 茅野裕美, 福川京子: 公衆衛生看護技術評価尺度開発の試み2 活動の必要性を見せる能力の測定, 第70回日本公衆衛生学会, 2011年10月20日, 秋田.
- 小出恵子, 岡本玲子, 茅野裕美, 鳩野洋子, 岩本里織, 草野恵美子, 福川京子, 長野扶佐美: 保健師の引き継ぎ資料の実態と学習要因との関連, 第70回日本公衆衛生学会, 2011年10月20日, 秋田.
- 茅野裕美, 岡本玲子, 小出恵子, 鳩野洋子, 岩本里織, 草野恵美子, 福川京子, 長野扶佐美: 保健師のプロフェッショナルとしての自信度, 専門性発展力の実態と学習要因との関連, 第70回日本公衆衛生学会, 2011年10月20日, 秋田.
- 久保善子, 鳩野洋子, 前野有佳里: メンタルヘルス対策に関する産業保健師のコンピテンシー-二次予防の観点より-, 第70回日本公衆衛生学会, 2011年10月20日, 秋田.
- 岩木三保, 鳩野洋子: ALS患者の重症度に応じた社会資源活用と介護者の肯定的認知の実態, 第16回日本難病看護学会学術集会, 2011年08月28日, 東京.
- 海法澄子, 鎌田久美子, 岡島さおり, 松井通子, 松本珠美, 三井尚美, 大場エミ, 佐伯和子, 田高悦子, 多田敏子, 鳩野洋子, 藤丸和子, 横山美江: 保健師教育課程における産業保健及び学校保健を組み込んだ臨地実習の実態調査について~教育施設における調査結果~(第2報), 第1回日本保健師学術集会, 2012年03月09日, 東京.
- 石川勝彦, 小野ミツ, 佐々木明子, 牧本道子, 木村一絵: 相談員は虐待の疑いのある事例をどのようにとらえているのか, 第16回日本在宅ケア学会学術集会, 2012年03月17日, 神奈川.
- 高木祐介, 小野ミツ: 本邦中国地方の豪雪地帯における除雪作業の実態と身体的負荷について, 日本民族衛生学会, 2011年11月23日, 福岡.
- 大高のぶえ, 佐々木明子, 田沼寮子, 森田久美子, 小野ミツ, 錦織正子: 介護予防における地域包括支援センター保健師の地域活動の視点, 第70回日本公衆衛生学会総会, 2011年10月19日, 秋田.
- 佐々木明子, 小野ミツ, 錦織正子, 田沼寮子, 森田久美子, 遠藤寛子: 事業統括保健師からみた市町村における高齢者全数への予防訪問の有用性, 第70回日本公衆衛生学会総会, 2011年10月19日, 秋田.
- 小野ミツ, 佐々木明子, 金藤亜希子, 石川勝彦: 在宅高齢介護者のQOLの実態と支援のあり方についての検討.第16回日本在宅ケア学会学術集会,2012,03月18日,神奈川.
- 藤野成美, 鳩野洋子, 岡村仁: 精神科看護師における看護アセスメントに関する実態調査, 第37回日本看護研究学会, 2011年08月08日, 横浜.
- 脇崎裕子, 藤野成美: 長期入院生活を送る統合失調症の老いを生きることへの支えとなる体験や思い, 第37回日本看護研究学会, 2011年08月08日, 横浜.
- 白井ひろ子, 川本利恵子, 藤野成美他: 臨地実習指導者が「実習指導者」という役割を担う中で認識している困難の内容, 第21回日本看護学教育学会, 2011年08月31日, 埼玉.
- 富森玲子, 藤野成美: 精神科看護師における院内他科研修の成果と今後の課題, 日本看護管理学会, 2011年08月27日.
- 白井ひろ子, 川本利恵子, 藤野成美他: 看護職員の実習指導の認識に関する検討, 日本看護管理学会, 2011年08月27日,
- 白井ひろ子, 川本利恵子, 藤野成美他: 看護職員の実習指導における教師効力と関連する要因の検討, 第31回日本看護科学学会, 2011年12月02日, 高知.

- 前野有佳里, 高木幸子, 久保陽子, 野元由美, 川口貞親：日本の病院における外国人入院患者への看護の現状に関する調査-第2報-, 多文化間精神医学会学術総会, 2011年10月01日, 東京都.
- 高木幸子, 久保陽子, 前野有佳里, 野元由美, 川口貞親：日本の病院における外国人入院患者への看護の現状に関する調査-第1報-, 多文化間精神医学会学術総会, 2011年10月01日, 東京都.
- 野元由美, 高木幸子, 前野有佳里, 久保陽子, 川口貞親：日本の病院における外国人入院患者への看護の現状に関する調査-第3報-, 多文化間精神医学会学術総会, 2011年10月01日, 東京都.
- 久保陽子, 高木幸子, 前野有佳里, 野元由美, 川口貞親：日本の病院における救急外来での外国人入院患者への看護の現状, 多文化間精神医学会学術総会, 2011年10月01日, 東京都.
- 前野有佳里, 鳩野洋子：保健師の措置入院におけるケアに関する研究, 第70回日本公衆衛生学会総会, 2011年10月20日, 秋田.
- 山下清香, 鳩野洋子, 久保善子, 前野有佳里：市町村への特定保健指導の質の管理システム導入支援の試み 保健師の認識の変化から, 第70回日本公衆衛生学会総会, 2011年10月20日, 秋田.
- 久保善子, 鳩野洋子, 前野有佳里：メンタルヘルス対策に関する産業保健師のコンピテンシー 二次予防の視点より, 第70回日本公衆衛生学会総会, 2011年10月20日, 秋田.

f. 学会以外での講演, 発表 なし

著作

- a. 単行本** なし
b. 総説

鳩野 洋子

- 鳩野洋子：震災支援:生活を支援する立場から, 教育と医学 2011;10:68-76, 2011年09月

小野 ミツ

- 佐々木明子, 小野ミツ, 佐々木明子, 寺岡佐和, 木村一絵, 他: (共著) 2013年版 保健師国家試験問題 解答・解説, 2011年04月 メヂカルフレンド社.

- c. 解説, 書評など** なし

前野 有佳里

- 前野有佳里 他: (共著) 2012年度版 保健師国家試験問題 解答と解説, 2011年04月, 医学書院.

受賞 なし

報道

小野 ミツ

- 小野, 朝日新聞, 「高齢者虐待防止研究プロジェクト」が, 介護者による虐待を防ぐため, 介護状況を把握する評価表づくりを進めている。朝日新聞厚生文化事業団と朝日新聞社の主催する「高齢者への暴力防止プロジェクト助成」の今年度の助成対象に決まった。 2011年07月。

木村 一絵

- 木村, 朝日新聞, 福岡市ふくふくプラザにおいて, 幼児の「敏感期」のかかわりを学ぶシンポジウムが開かれ, シンポジストとしてコメントした内容が記事となった。 2011年05月。

4. 産学連携活動

1. 共同研究

藤野 成美

- ・ 藤野, 精神科看護師の看護実践能力向上に向けた教育プログラム構築に関する研究, 日本精神科看護技術協会, 2011年02月～2013年03月

2. 受託研究 なし

3. 取得特許 なし

4. 兼業

5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

鳩野 洋子

- 鳩野, アモイ大学(China), 大学・研究所訪問, 2012年03月
- 鳩野, ロンドン・シティ大学(United Kingdom), 大学・研究所訪問, 2012年03月

寺岡 佐和

- 寺岡, 高雄医学大学(Taiwan), 大学・研究所訪問, 2012年02月

前野 有佳里

- 前野, Hunter College of the city university of New York(United States of America), 大学・研究所訪問, 2012年02月～2012年03月

木村 一絵

- 木村, 高尾医学大学(Taiwan), 大学・研究所訪問, 2012年02月

2. 外国人研究者の受入れ

- a. 訪問教授・研究員 なし
- b. 訪問研究者 なし

留学生の受入れ なし

学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員 なし

2. 部局委員 なし

3. 部門・コース内委員

鳩野 洋子

- 鳩野, 大学院委員会副委員長.
- 鳩野, 保健学科 FD 実行委員会委員長.
- 鳩野, 実習委員会

小野 ミツ

- 小野, 研究推進委員会委員.
- 小野, 財務委員会委員.
- 小野, 人事委員会委員.
- 小野, 広報委員会委員・委員長.

藤野 成美

- 藤野, 教務委員会

寺岡 佐和

- 寺岡, 施設ワーキンググループ

木村 一絵

- 木村, 卒業研究委員会

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

小野 ミツ

- 小野, 広島大学医学部保健学科, 非常勤講師.

藤野 成美

- 藤野, 国際医療福祉大学 福岡看護学部, 非常勤講師.

2. 学協会

鳩野 洋子

- 鳩野, 日本公衆衛生学会, 評議員 査読委員, 国内.
- 鳩野, 日本看護科学学会, 代議員 査読委員, 国内.
- 鳩野, 日本地域看護学会, 評議員 編集委員会委員, 国内.
- 鳩野, 福岡医学雑誌, 編集委員, 国内.

3. 官界

鳩野 洋子

- 鳩野, 「福岡市保健福祉審議会委員」, 福岡市.
- 鳩野, 「福岡市介護予防教室運営業務委託事業者選定委員会委員」, 福岡市.
- 鳩野, 「福岡市地域保健部会委員」, 福岡市.
- 鳩野, 「福岡市高齢者保健福祉部会委員」, 福岡市.
- 鳩野, 「粕屋町国保ヘルスアップ事業運営委員会委員」, 粕屋町.
- 鳩野, 「福岡市保健福祉審議会委員」, 福岡市.
- 鳩野, 科学研究費委員会専門委員, 日本学術振興会.

小野 ミツ

- 小野, 日本地域看護学会, (評議員・査読委員), 国内.
- 小野, 日本高齢者虐待防止学会(理事・査読委員), 国内.
- 小野, 日本在宅ケア学会(評議員, 査読委員), 国内.
- 小野, 日本老年看護学会(査読委員), 国内.
- 小野, 日本看護教育学会(査読委員), 国内.
-

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

鳩野 洋子

- 鳩野, 教育と医学, 編集委員, 国内.

寺岡 佐和

- 寺岡, 「第60回福岡社会福祉研究会 講師」

5. 公開講座・公開講演会

鳩野 洋子

- 鳩野, 「熊本市中堅保健師能力向上研修会」, 熊本市. 研修会.
- 鳩野, 「福岡市中堅前期保健師研修会/保健活動の計画と評価」, 福岡市. 研修会.
- 鳩野, 「福岡市初任者保健師研修会」, 福岡市. 研修会.
- 鳩野, 「保健活動と評価」, 久留米市. 研修会.
- 鳩野, 「保健活動と評価(プリセプター向け)」, 久留米市. 研修会.
- 鳩野, 「保健師活動と研究」, 熊本県. 研修会.

小野 ミツ

- 小野, 「看護と介護」, 福岡市, 研修会.
- 小野, 「メンタルケアの手法」, 福岡市. 研修会.

寺岡 佐和

- 寺岡, 「第 60 回福岡社会福祉研究会 講師」, 行動医学研究所, セミナー・研修会.

木村 一絵

- 木村, 「「敏感期って? 反抗期って?」子育てシンポジウムのシンポジスト」, 福岡市. シンポジウム.

6. 初等中等教育への貢献 なし

3-2. 教員の活動：医用量子線科学分野

医用量子線科学分野

《基礎放射線科学》

教授	大喜 雅文
教授	豊福 不可依
准教授	高橋 昭彦
准教授	有村 秀孝
准教授	納富 昭弘
助教	小段 謙一

1. 教育活動

1. 大学院講義

大喜 雅文	
保健・医療とIT (分担)	前期
医用画像情報科学論 (分担)	前期
量子線理工科学 I (分担)	前期
豊福 不可依	
量子線理工科学 I (分担)	前期
基礎量子力学	後期
先端医用量子線工学論	後期
高橋 昭彦	
基礎電磁波論	前期
量子線理工科学 I (分担)	前期
有村 秀孝	
量子線治療科学論	後期
保健・医療とIT (分担)	前期
医学物理情報理論	前期
量子線理工科学 I (分担)	前期

2. 大学院実験・実習 なし

3. 大学院演習

大喜 雅文	
量子線理工科学 II (分担)	通年
医用画像情報科学演習 (分担)	通年
豊福 不可依	
量子線理工科学 II (分担)	通年
有村 秀孝	
医用画像情報科学論演習 (分担)	前期
量子線治療科学演習	後期

4. 大学院修士課程修了者

川口聡一郎	90度散乱線補正法によるマンモグラフィX線スペクトルの測定に関する研究
山口 義樹	放射光励起蛍光X線を用いた散乱X線スペクトルの解析
江崎 正二	光による眼底血管酸素飽和度測定のモンテカルロシミュレーション
溝口明日実	放射線治療におけるEPIDを用いた4次元線量分布自動推定法の開発(Automated Estimation of Four-dimensional Dose Distribution Using EPID in Radiation Therapy)
徳永 千晶	3次元T1強調画像のファジィメンバーシップマップを用いたアルツハイマー病患者の脳皮質厚自動測定方法の開発(Automated Measurement of Cerebral Cortical Thicknesses in Alzheimer's Patients Using Fuzzy Membership Maps of 3-D T1-Weighted Images)
桑水流純平	アダプティブレベルセット法を用いた肺腫瘍領域抽出方法の開発(Computerized Contouring of Lung Tumors Using an Adaptive Level Set Method)

5. 大学院博士課程修了者 なし

6. 学部講義

大喜 雅文

医療統計学(分担)	前期
現代物理学概論(分担)	前期
医用情報解析学(分担)	前期
基礎医療統計(分担)	後期
放射線医学入門(分担)	前期

豊福 不可依

放射線物理学	前期
放射線診断機器学	後期
X線CT画像技術学	前期
放射線診断物理学	後期
放射線医学入門(分担)	前期

高橋 昭彦

電磁気学	前期
医用電気電子工学Ⅰ	前期
医用光学	前期
電磁気学	後期
医用電気電子工学Ⅱ	後期
放射線医学入門(分担)	前期

有村 秀孝

医用情報解析学(分担)	前期
コンピュータ支援診断学(分担)	前期
放射線治療機器学(分担)	前期
品質管理論(分担)	後期
医用画像処理学Ⅰ	後期
放射線医学入門(分担)	前期

納富 昭弘

放射線計測学Ⅱ(分担)	前期
放射線計測学Ⅰ(分担)	後期
放射線治療機器学(分担)	前期

放射性同位元素検査学・実習 (分担)	前期
放射線治療技術学実習 (分担)	後期
放射線医学入門 (分担)	前期
小段謙一	
放射線診断機器学 (分担)	後期
放射線医学入門 (分担)	前期

7. 学部の実験・実習・演習

大喜 雅文	
卒業研究 (分担)	通年
情報処理演習 I (分担)	後期
豊福 不可依	
卒業研究 (分担)	通年
放射線機器学実験(分担)	後期
放射線計測学実験(分担)	後期
高橋 昭彦	
卒業研究 (分担)	通年
医用電気電子工学実験 II (分担)	前期
有村 秀孝	
卒業研究 (分担)	通年
医用画像処理学演習	前期
放射線計測学実験(分担)	後期
納富 昭弘	
卒業研究 (分担)	通年
放射性同位元素検査学・実習 (分担)	前期
放射線計測学実験 (分担)	後期
放射線治療技術学実習 (分担)	後期
小段 謙一	
卒業研究 (分担)	通年
放射性同位元素検査学・実習	前期
放射線機器学実験(分担)	後期
医用電気電子工学実験 II (分担)	前期
放射線計測学実験(分担)	後期

8. 卒業論文作成者

増田 弘和	細胞診画像における細胞内クロマチン分布の画像解析
白石 愛	シェーグレン症候群の超音波画像診断における画像解析の開発
時吉 彩香	CD ファントム像自動解析によるデジタル X 線撮影系の画質評価
大野 昌也	赤外線三次元形状計測を用いた単純 X 線撮影シミュレータの開発
上川 洋平	掲示的差分画像撮影におけるリアルタイム位置モニタリングシステムの開発
小園 健太	赤外線投影方式三次元形状計測システムによる距離画像の測定精度
上川 洋平	経時的差分画像撮影におけるリアルタイム位置モニタリングシステムの開発
大野 昌也	赤外線投影方式3次元形状計測装置を用いた単純 X 線撮影シミュレータの開発
小園 健太	赤外線投影方式3次元形状計測システムによる距離画像の測定精度

成川 紘将	Lock-in 検出法を用いた光散乱性物質の位置情報の測定
大月 博文	ボクセルを用いた I-123 のエネルギースペクトルのモンテカルロシミュレーション
曾根田健吾	ボクセルを用いた任意形状ファントムの X 線画像のモンテカルロシミュレーション
松浦 修平	モンテカルロシミュレーションを用いた眼底組織における光の透過・散乱特性の解析
神沢 聡	ペンシルビーム法を用いた 陽子線線量分布計算アルゴリズムの開発と 治療計画への適用
仲本 宗泰	Ultra-short Echo Time (UTE) を用いた マウスの MR 画像における肺の 3 次元 T2* マッピング方法の開発
松下 矩正	前立腺癌放射線治療のための患者セットアップエラーの自動検出方法の開発
吉田 千晃	医用画像レジストレーションの最適化方法の検討
長峰 周治	ポリエチレン内張り型反跳陽子比例計数管の $^{241}\text{Am-Be}$ 線源からの中性子線に対する応答特性
田中 亮治	アクリルコンバータと IP を用いた中性子エネルギーの評価方法の基礎的研究 ～ $^{241}\text{Am-Be}$ 線源を用いた測定実験～

9. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導 なし

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1	医療系教育における e-Learning システムの構築とその評価	大喜
2	医用画像処理による診断支援	大喜
3	3次元形状計測の放射線医学利用	豊福
4	レーザー生成プラズマによる短波長光源の開発とその応用	高橋
5	光生体計測の計算機シミュレーションに関する研究	高橋
6	モンテカルロシミュレーションの核医学応用に関する研究	高橋
7	アルツハイマー病検出のためのコンピュータ支援診断システムの開発	有村
8	多発性硬化症のためのコンピューター支援診断システムの開発	有村
9	高精度放射線治療計画支援システムの開発	有村
10	放射線治療のための類似症例自動検索方法の開発	有村
11	・医療応用の為の放射線計測技術ならびに線量評価技術の基礎的研究・新しい中性子線量評価技術の開発	納富
11	減弱データによる X 線スペクトルの算出	小段
12	低次多項式による誤差の少ない補間法の研究	小段
13	低次多項式による誤差の少ない自動補間法の開発	小段
14	マイクロデンシトメータを用いた MTF 自動測定法の開発	小段

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

豊福 不可依

- 「基盤研究(C)」3次元形状計測を利用した定量的X線撮影法の開発, (代表), 800 千円.

有村 秀孝

- 「基盤研究(C)」類似症例検索に基づく高精度 3 次元放射線治療計画支援システムの開発, (代表), 0 千円.
- 「基盤研究(C)」アルツハイマー病発症前診断のためのマルチパラメトリック MRI の開発(代表吉浦敬), (分担), 0 千円.
- 「基盤研究(C)」機能画像を用いた低リスク肺癌高精度放射線治療法の開発(代表塩山善之), (分担), 0 千円.
- 「基盤研究(C)」3次元形状計測を利用した定量的X線撮影法の開発(代表豊福不可依), (分担), 0 千円.
- 「挑戦的萌芽研究」サイバーナイフ治療におけるマシンビジョンシステムを用いた位置認識システムの開発(代表中村和正), (分担), 0 千円.
- 「特別研究員奨励費」放射線治療計画データベースに基づく高精度治療計画支援システムの開発(日本学術振興会 DC1 馬込大貴), (代表), 700 千円.

3. 学内研究経費の受け入れ なし

4. 奨学寄附金の受入れ なし

5. その他の外部資金の受入れ なし

6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

7. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- 山下泰生, 有村秀孝, 吉浦 敬, 徳永千晶, 桑水流純平, 馬込大貴, 門司晃, 小林幸次, 古閑省一, 中村泰彦, 大屋信義, 本田 浩, 大喜雅文, 豊福不可依: MR 脳血流マップ画像を用いたアルツハイマー病の鑑別支援システムの開発, *医用画像情報学会雑誌*, , 2011 年 10 月. (査読あり)
- Tanaka N, Naka K, Fukushima H, Morishita J, Toyofuku F, Ohki M, Higashida Y.: Digital magnification mammography with matched incident exposure: physical imaging properties and detectability of simulated microcalcifications, *Radiological Physics and Technology*, , 2011 年 07 月. (査読あり)
- Jingu R, Ohki M, Watanabe S, Tamiya S, Sugishima S, Kaku T.: Quantitative image analysis of nuclear chromatin distribution for cytological diagnosis., *Acta Cytologica*, , 2011 年 10 月. (査読あり)
- S. Torii, T. Makimura, K. Okazaki, D. Nakamura, A. Takahashi, T. Okada, H. Niino: Micromachining of polydimethylsiloxane induced by laser plasma EUV light, *SPIE Proceedings 2011*, , 2011 年 04 月. (査読あり)
- T. Makimura, S. Torii, Kota Okazaki, D. Nakamura; A. Takahashi, H. Niino, K. Murakami: Responses of polymers to laser plasma EUV light beyond ablation threshold and micromachining, *SPIE Proceedings*, , 2011 年 04 月. (査読あり)
- 鳥居 周一, 牧村 哲也, 村上 浩一, 岡崎 功太, 中村 大輔, 岡田 龍雄, 高橋 昭彦, 新納 弘之: 高パワー密度狭帯域軟X線加工装置の開発とシリコーンゴムの微細加工, *電気学会研究会資料 OQD-12*, , 2012 年 03 月. (査読なし)
- Anai S, Arimura H, Nakamura K, Araki F, Matsuki T, Yoshikawa H, Yoshidome S, Shioyama Y, Honda H, Ikeda N.: Estimation of focal and extra-focal radiation profiles based on Gaussian modeling in medical linear accelerators, *Radiological Physics and Technology*, 4(2):173-9, 2011 年 07 月. (査読あり)
- 山下泰生, 有村秀孝, 吉浦 敬, 徳永千晶, 桑水流純平, 馬込大貴, 門司晃, 小林幸次, 古閑省一, 中村泰彦, 大屋信義, 本田 浩, 大喜雅文, 豊福不可依: MR 脳血流マップ画像を用いたアルツハイマー病の鑑別支援システムの開発, *医用画像情報学会雑誌*, Vol. 28, No.3, pp. 72-78, 2011, 2011 年 10 月. (査読あり)
- Kuwazuru J, Arimura H, Kakeda S, Yamamoto D, Magome T, Yamashita Y, Ohki M, Toyofuku F, Korogi Y.: Automated Detection of Multiple Sclerosis Candidate Regions in

MR Images: False-Positive Removal with Use of an ANN-controlled Level Set Method, *Radiological Physics and Technology*, 5(1):105-13., 2012年01月. (査読あり)

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Magome T, Arimura H, Shioyama Y, Tokunaga C, Nakamura K, Honda H, Ohki M, Hirata H, Toyofuku F: Automated method for determination of beam directions based on similar cases for lung stereotactic body radiotherapy, 6th Japan-Korea Joint Meeting on Medical Physics (JKMP), 11th Asia-Oceania Congress of Medical Physics (AOCMP), 2011年10月01日, Japan.
- Tokunaga C, Arimura H, Yoshiura T, Yamashita Y, Kobayashi K, Magome T, Honda H, Hirata H, Toyofuku F, Ohki M: Automated measurement of three-dimensional cortical thicknesses in ten cerebral lobar regions for patients with Alzheimer's disease, 6th Japan-Korea Joint Meeting on Medical Physics (JKMP), 11th Asia-Oceania Congress of Medical Physics (AOCMP), 2011年10月01日, Japan.
- Mizoguchi A, Arimura H, Yoshidome S, Hirose T, Shioyama Y, Anai S, Nakamura K, Honda H, Umezu Y, Hirata H, Ohki M, Toyofuku F: Real-time monitoring of a lung tumor region based on gamma evaluation during stereotactic body radiotherapy, 6th Japan-Korea Joint Meeting on Medical Physics (JKMP), 11th Asia-Oceania Congress of Medical Physics (AOCMP), 2011年10月01日, Japan.
- Magome T, Arimura H, Shioyama Y, Tokunaga C, Nakamura K, Anai S, Honda H, Ohki M, Toyofuku F, Hirata H: Automated Determination of Beam Arrangement Based on Similar Cases in Radiotherapy Treatment Planning Database for Lung Stereotactic Body Radiotherapy, ASTRO 2011, 2011年10月05日, United States of America.
- Kakiuchi G, Arimura H, Shioyama Y, Nagano A, Minohara S, Mizoguchi A, Honda H, Toyofuku F, Ohki M, Hirata H: Optimization Of Robust Beam Angles To Patient Setup Errors For Head and Neck Cancer In Hadron Particle Therapy, ASTRO 2011, 2011年10月05日, United States of America.
- Yamashita Y, Arimura H, Yoshiura T, Tokunaga C, Monji A, Toyofuku F, Kuwazuru J, Magome T, Kobayashi K, Nakamura Y, Ohya N, Honda H, Ohki M: Computer-aided Classification System for Alzheimer's Disease Based on Functional Image Features of Arterial Spin Labeling Cerebral Blood Flow, Radiological Society of North America 2011 (RSNA), 2011年12月01日, United States of America.
- Araki S, Arimura H, Yoshiura T, Tokunaga C, Yamashita Y, Ohki M, Honda H, Hirata H, Toyofuku F: A Novel Segmentation Method for Three-Dimensional Hippocampal Regions based on Bayes' Theorem and Probabilistic Atlases: Development and Application to Alzheimer's Disease, Radiological Society of North America 2011 (RSNA), 2011年12月01日, United States of America.
- Magome T, Arimura H, Shioyama Y, Mizoguchi A, Tokunaga C, Nakamura K, Honda H, Ohki M, Toyofuku F: Computer-assisted radiation treatment planning system for determination of beam directions based on similar cases in a database for stereotactic body radiotherapy, SPIE Medical Imaging 2012, 2012年02月07日, United States of America.
- Nobukazu Tanaka, Tsutomu Akasaka, Hidetake Yabuuchi, Masafumi Ohki, Junji Morishita: Potential dose reduction in an indirect flat panel detector system employing irradiation side sampling, Joint AAPM/COMP Meeting, 2011年07月31日, Canada.
- Michinobu Matsuyama, Hiroshi Akamine, Masafumi Ohki, Junji Morishita: Effect of illuminance on display function of LCD monitors with different kinds of surface treatments, 6th Japan-Korea Joint Meeting on Medical Physics (JKMP), 11th Asia-Oceania Congress of Medical Physics (AOCMP), 2011年10月01日, Japan.

- Yuichi Murakami, Masafumi Ohki, Kenji Tokumori: A web-based log analyzer for dcm4chee DICOM server, The 6th Japan-Korean Joint Meeting on Medical Physics (JKMP), 11th Asia-Oceania Congress of Medical Physics (AOCMP), 2011年10月01日, Japan.
- Kuwazuru J, Arimura H, Shioyama Y, Taniyama E, Magome T, Nakamura K, Honda H, Toyofuku F, Hirata H, Sasaki M.: Computerized Delineation of Gross Tumor Volumes in Treatment Planning CT Images Using an Adaptive Level Set Method, 6th Japan-Korea Joint Meeting on Medical Physics (JKMP), 11th Asia-Oceania Congress of Medical Physics (AOCMP), Fukuoka, 2011年09月30日, Japan.
- Magome T, Arimura H, Shioyama Y, Tokunaga C, Nakamura K, Honda H, Ohki M, Hirata H, Toyofuku F.: Automated method for determination of beam directions based on similar cases for lung stereotactic body radiotherapy. , 6th Japan-Korea Joint Meeting on Medical Physics (JKMP), 11th Asia-Oceania Congress of Medical Physics (AOCMP), Fukuoka, 2011年10月01日, Japan.
- Tokunaga C, Arimura H, Yoshiura T, Yamashita Y, Kobayashi K, Magome T, Honda H, Hirata H, Toyofuku F, Ohki M.: Automated measurement of three-dimensional cortical thicknesses in ten cerebral lobar regions for patients with Alzheimer's disease, 6th Japan-Korea Joint Meeting on Medical Physics (JKMP), 11th Asia-Oceania Congress of Medical Physics (AOCMP), Fukuoka, 2011年09月30日, Japan.
- Mizoguchi A, Arimura H, Yoshidome S, Hirose T, Shioyama Y, Anai S, Nakamura K, Honda H, Umezu Y, Hirata H, Ohki M, Toyofuku F.: Real-time monitoring of a lung tumor region based on gamma evaluation during stereotactic body radiotherapy, 6th Japan-Korea Joint Meeting on Medical Physics (JKMP), 11th Asia-Oceania Congress of Medical Physics (AOCMP), Fukuoka, 2011年09月30日, Japan.
- Kuwazuru J, Arimura H, Shioyama Y, Taniyama E, Sasaki M, Magome T, Nakamura K, Honda H, Toyofuku F, Hirata H.: Computerized Contouring of Gross Tumor Volume Based On Multimodality Images Using an Adaptive Level Set Method, ASTRO2011, Miami Beach, 2011年10月04日, United States of America.
- Magome T, Arimura H, Shioyama Y, Tokunaga C, Nakamura K, Anai S, Honda H, Ohki M, Toyofuku F, Hirata H.: Automated Determination of Beam Arrangement Based on Similar Cases in Radiotherapy Treatment Planning Database for Lung Stereotactic Body Radiotherapy, ASTRO 2011, Miami Beach, 2011年10月05日, United States of America.
- Mizoguchi A, Arimura H, Yoshidome S, Hirose T, Shioyama Y, Anai S, Nakamura K, Honda H, Toyofuku F, Hirata H.: Real-time monitoring of a lung tumor region based on gamma evaluation using portal dose cine images during stereotactic body radiotherapy, ASTRO 2011, Miami Beach, 2011年10月05日, United States of America.
- Kakiuchi G, Arimura H, Shioyama Y, Nagano A, Minohara S, Mizoguchi A, Honda H, Toyofuku F, Ohki M, Hirata H.: Optimization Of Robust Beam Angles To Patient Setup Errors For Head and Neck Cancer In Hadron Particle Therapy, ASTRO 2011, Miami Beach, 2011年10月05日, United States of America.
- Yamashita Y, Arimura H, Yoshiura T, Tokunaga C, Monji A, Toyofuku F, Kuwazuru J, Magome T, Kobayashi K, Nakamura Y, Ohya N, Honda H, Ohki M.: Computer-aided Classification System for Alzheimer's Disease Based on Functional Image Features of Arterial Spin Labeling Cerebral Blood Flow, Radiological Society of North America 2011 (RSNA), CHICAGO, 2011年12月01日, United States of America.
- Araki S, Arimura H, Yoshiura T, Tokunaga C, Yamashita Y, Ohki M, Honda H, Hirata H, Toyofuku F.: A Novel Segmentation Method for Three-Dimensional Hippocampal Regions

based on Bayes' Theorem and Probabilistic Atlases: Development and Application to Alzheimer's Disease, Radiological Society of North America 2011 (RSNA), CHICAGO, 2011年12月01日, United States of America.

- Arimura H, Kuwazuru J, Shioyama Y, Taniyama E, Magome T, Nakamura K, Honda H, Hirata H, Sasaki M, Toyofuku F.: Automated Contouring of Tumor Regions in CT Images Using an Adaptive Level Set Method(P.46-49), IWAIT2012, Ho Chi Minh City, Vietnam, 2012年01月09日, Vietnam.
- Magome T, Arimura H, Shioyama Y, Mizoguchi A, Tokunaga C, Nakamura K, Honda H, Ohki M, Toyofuku F, Hirata H.: Computer-assisted radiation treatment planning system for determination of beam directions based on similar cases in a database for stereotactic body radiotherapy, SPIE Medical Imaging 2012, San Diego, 2012年02月07日, United States of America.
- A. Nohtomi, N. Sugiura, T. Itoh, G. Wakabayashi, T. Sakae, T. Terunuma, K. Yabuta, M. Tamura, T. Fujibuchi, T. Takata, K. Kume: Method of Neutron Energy Evaluation by an Imaging Plate and Acrylic Converter, JSMP/KSMP, 2011年09月30日, Japan.

c. 大学・研究機関などの刊行誌 なし

d. 調査研究報告 なし

e. 国内学会での講演, 発表

- 山下泰生、有村秀孝、吉浦敬、徳永千晶、馬込大貴、中村泰彦、大屋信義、本田浩、大喜雅文、豊福不可依: ASLによる機能的特徴量に基づいたアルツハイマー病鑑別支援システムの構築, 第67回日本放射線技術学会総会学術大会(Web開催), 2011年05月09日, .
- 荒木翔, 有村秀孝, 吉浦敬, 徳永千晶, 山下泰生, 本田浩, 平田秀紀, 豊福不可依, 大喜雅文: アルツハイマー型認知症における海馬領域の自動抽出方法の開発, 第101回日本医学物理学会学術大会(Web開催), 2011年05月09日, .
- 徳永千晶, 有村秀孝, 吉浦敬, 山下泰生, 馬込大貴, 本田浩, 平田秀紀, 豊福不可依, 大喜雅文: アルツハイマー病診断のためのフアジィc平均法を用いた大脳皮質抽出法の開発, 第67回日本放射線技術学会総会学術大会(Web開催), 2011年05月09日, .
- 徳永千晶, 有村秀孝, 吉浦敬, 山下泰生, 小林幸次, 馬込大貴, 本田浩, 平田秀紀, 豊福不可依, 大喜雅文: 3次元 T1 強調画像を用いたアルツハイマー病の鑑別支援システムの開発, 第30回日本医用画像工学会学術大会(JAMIT), 2011年08月05日, 栃木.
- 荒木翔, 有村秀孝, 吉浦敬, 徳永千晶, 山下泰生, 本田浩, 平田秀紀, 豊福不可依: 海馬領域の統計的アトラスに基づく自動抽出方法の開発, 第30回日本医用画像工学会学術大会(JAMIT), 2011年08月05日, 栃木.
- 有村秀孝、溝口明日実、吉留郷志、廣瀬貴章、塩山善之、穴井重男、中村和正、本田浩、梅津芳幸、豊福不可依、平田秀紀、大喜雅文: 肺定位放射線治療における肺腫瘍領域線量分布のモニタリング法の開発, 2011年度電子情報通信学会医用画像研究会, 2011年09月06日, つくば.
- 山下泰生, 有村秀孝, 吉浦敬, 徳永千晶, 桑水流純平, 馬込大貴, 門司晃, 小林幸次, 古閑省一, 中村泰彦, 大屋信義, 本田浩, 大喜雅文, 豊福不可依: ASLの脳血流マップを用いたアルツハイマー型認知症の鑑別支援診断システムの開発, 医用画像情報学会, 2011年10月22日, 徳島.
- 馬込大貴, 有村秀孝, 塩山善之, 徳永千晶, 中村和正, 穴井重男, 本田浩, 大喜雅文, 豊福不可依, 平田秀紀: 肺定位放射線治療における類似症例を用いたビームアングルの自動決定法, 第24回日本放射線腫瘍学会(JASTRO), 2011年11月19日, 神戸.
- 馬込大貴, 有村秀孝, 塩山善之, 徳永千晶, 中村和正, 本田浩, 大喜雅文, 豊福不可依, 平田秀紀: 放射線治療計画支援のための類似症例を用いたビーム方向決定法の開発, メディカルイメージング連合フォーラム, 2012年01月19日, 沖縄.

- 荒木翔, 有村秀孝, 吉浦敬, 徳永千晶, 山下泰生, 本田浩, 平田秀紀, 豊福不可依, 大喜雅文: アルツハイマー型認知症のコンピュータ支援診断のための海馬領域自動抽出方法の開発, メディカルイメージング連合フォーラム, 2012年01月19日, 沖縄.
- 垣内玄雄, 有村秀孝, 塩山善之, 蓑原伸一, 溝口明日実, 中村和正, 本田 浩, 豊福不可依, 大喜雅文, 平田秀紀: 粒子線治療における患者セットアップエラーにロバストなビーム方向自動決定法の開発, 第59回 応用物理学関係連合講演会, 2012年03月15日, .
- 松山倫延, 杜下淳次, 大喜雅文: 環境照度の変化が異なる表面加工の医用 LCD モニタの階調特性に及ぼす影響, 日本放射線技術学会第39回秋季学術大会, 2011年10月29日, .
- 津田規吏, 田中延和, 井手口忠光, 納富昭弘, 大喜雅文, 橋田昌弘, 杜下淳次: イメージングプレートを用いた福岡市環境放射線調査の報告-福島第一原子力発電所事故の影響-, 第6回九州放射線医療技術学術大会, 2011年11月06日, .
- 白石 愛, 村上 雄一, 角 忠輝, 中村 卓, 大喜 雅文: シェーグレン症候群の超音波画像診断における画像解析の開発, 第6回九州放射線医療技術学術大会, 2011年11月06日, .
- 江崎正二 高橋昭彦: 眼底血管画像のモンテカルロシミュレーション, 第5回九州放射線医療技術学術大会, 2011年11月20日, 崇城大学(熊本県熊本市).
- 鳥居周一, 牧村哲也, 岡崎功太, 中村大輔, 高橋昭彦, 岡田龍雄, 新納弘之, 村上浩一: レーザープラズマ軟X線照射によるシリコーンゴムの微細加工特性, 第72回応用物理学学会学術講演会, 2011年09月30日, 山形大学.
- 鳥居 周一, 牧村 哲也, 岡崎 功太, 中村 大輔, 高橋 昭彦, 岡田 龍雄, 新納 弘之, 村上 浩一: レーザープラズマ軟X線によるポリメチルメタクリレートのアブレーション微細加工, 第58回応用物理学関係連合講演会, 2012年03月25日, 早稲田大学.
- 江崎正二 高橋昭彦: 眼底血管画像のモンテカルロシミュレーション, 第39回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2011年10月28日, 神戸国際会議場.
- 荒木翔, 有村秀孝, 吉浦敬, 徳永千晶, 山下泰生, 本田浩, 平田秀紀, 豊福不可依, 大喜雅文: 海馬領域の統計的アトラスに基づく自動抽出方法の開発, 第30回日本医用画像工学会学術大会(JAMIT), 栃木, 2011年08月05日, 日本国際福祉大学(栃木).
- 徳永千晶, 有村秀孝, 吉浦敬, 山下泰生, 小林幸次, 馬込大貴, 本田浩, 平田秀紀, 豊福不可依, 大喜雅文: 3次元 T1 強調画像を用いたアルツハイマー病の鑑別支援システムの開発, 第30回日本医用画像工学会学術大会(JAMIT), 栃木, 2011年08月05日, 国際福祉大学大田原市キャンパス(栃木).
- 溝口明日実, 有村秀孝, 吉留郷志, 橘昌幸, 廣瀬貴章, 穴井重男, 塩山善之: EPID を用いた線量分布画像自動取得方法の開発, 第67回日本放射線技術学会総会学術大会(Web開催), 2011年05月09日, Web開催.
- 徳永千晶, 有村秀孝, 吉浦敬, 山下泰生, 馬込大貴, 本田浩, 平田秀紀, 豊福不可依, 大喜雅文: アルツハイマー病診断のためのファジィc平均法を用いた大脳皮質抽出法の開発, 第67回日本放射線技術学会総会学術大会(Web開催), 2011年05月09日, Web開催.
- 垣内玄雄, 有村秀孝, 塩山善之, 溝口明日実, 永野あい, 蓑原伸一, 馬込大貴, 本田浩, 平田秀紀: 粒子線治療における患者位置ずれによる線量分布変化のモンテカルロシミュレーション, 第101回日本医学物理学学会学術大会(Web開催), 2011年05月09日, Web開催.
- 荒木翔, 有村秀孝, 吉浦敬, 徳永千晶, 山下泰生, 本田浩, 平田秀紀, 豊福不可依, 大喜雅文: アルツハイマー型認知症における海馬領域の自動抽出方法の開発, 第101回日本医学物理学学会学術大会(Web開催), 2011年05月09日, Web開催.
- 吉留郷志, 有村秀孝, 塩山善之, 中村和正, 穴井重男, 中村浩太, 野元諭, 本田浩, 豊福不可依, 平田秀紀: EPID シネ画像におけるガウシアン像強調フィルタを用いた腫瘍位置

のずれ量自動推定方法の開発，第 101 回日本医学物理学学会学術大会 (Web 開催)，
2011 年 05 月 09 日，Web 開催。

- 山下泰生、有村秀孝、吉浦 敬、徳永千晶、馬込大貴、中村泰彦、大屋信義、本田 浩、大喜雅文、豊福不可依：ASL による機能的特徴量に基づいたアルツハイマー病鑑別支援システムの構築，第 67 回日本放射線技術学会総会学術大会 (Web 開催)，2011 年 05 月 09 日，Web 開催。
- 垣内玄雄、有村秀孝、塩山善之、永野あい、蓑原伸一、溝口明日実、本田浩、豊福不可依、大喜雅文、平田秀紀：モンテカルロシミュレーションを用いた粒子線治療における頭頸部領域の患者位置ずれの線量分布への影響，2011 年秋季第 72 回 応用物理学学会学術講演会，山形，2011 年 08 月 30 日，山形大学。
- 溝口明日実、有村秀孝、吉留郷志、廣瀬貴章、塩山善之、穴井重男、中村和正、本田浩、梅津芳幸、豊福不可依、平田秀紀、大喜雅文：肺定位放射線治療におけるシネ画像とガンマ解析に基づいた腫瘍領域の線量分布モニタリング法の開発，2011 年秋季第 72 回 応用物理学学会学術講演会，山形，2011 年 08 月 30 日，山形大学。
- 有村秀孝、溝口明日実、吉留郷志、廣瀬貴章、塩山善之、穴井重男、中村和正、本田浩、梅津芳幸、豊福不可依、平田秀紀、大喜雅文：肺定位放射線治療における肺腫瘍領域線量分布のモニタリング法の開発，2011 年度電子情報通信学会医用画像研究会、つくば，2011 年 09 月 06 日，産業技術総合研究所 つくばセンターつくば本部。
- 吉田千晃、有村秀孝、徳永千晶、馬込大貴、山下泰生：高速医用画像レジストレーションアルゴリズムの検討，第 6 回九州医療技術学術大会，鹿児島，2011 年 11 月 05 日，宝山ホール(鹿児島)。
- 松下矩正、有村秀孝、塩山善之、馬込大貴、吉留郷志、本田浩、中村和正、梅津芳幸、豊福不可依、平田秀紀：放射線治療のための患者セットアップエラー自動検出方法の開発，第 6 回九州医療技術学術大会，鹿児島，2011 年 11 月 05 日，宝山ホール(鹿児島)。
- 神沢聡、有村秀孝、納富昭弘、塩山善之、豊福不可依：陽子線治療におけるペンシルビーム法の線量分布計算アルゴリズムの検討，第 6 回九州医療技術学術大会，鹿児島，2011 年 11 月 05 日，宝山ホール(鹿児島)。
- 仲本宗泰、有村秀孝、徳永千晶、荒木翔、小坂克子、梅尾理、高橋昌哉：マウスの MR 画像における肺の 3 次元 T2*マッピング方法の開発，第 6 回九州医療技術学術大会，鹿児島，2011 年 11 月 05 日，宝山ホール(鹿児島)。
- 松木孝臣・有村秀孝・渥美和重・塩山善之・中村和正・本田浩：人工ニューラルネットワークを用いた放射線治療後の食道狭窄率予測，第 6 回九州医療技術学術大会，鹿児島，2011 年 11 月 06 日，宝山ホール(鹿児島)。
- 山下泰生、有村秀孝、吉浦 敬、徳永千晶、桑水流純平、馬込大貴、門司晃、小林幸次、古閑省一、中村泰彦、大屋信義、本田 浩、大喜雅文、豊福不可依：ASL の脳血流マップを用いたアルツハイマー型認知症の鑑別支援診断システムの開発，医用画像情報学会，徳島，2011 年 10 月 22 日，徳島大学。
- 溝口明日実、有村秀孝、吉留郷志、廣瀬貴章、塩山善之、穴井重男、中村和正、梅津芳幸、本田浩、平田秀紀：肺定位放射線治療におけるガンマ解析に基づいた肺腫瘍領域線量分布のモニタリング法の開発，第 24 回日本放射線腫瘍学会 (JASTRO) 神戸，2011 年 11 月 18 日，神戸ポートピアホテル。
- 桑水流純平、有村秀孝、塩山善之、谷山恵里奈、馬込大貴、中村和正、本田浩、豊福不可依、平田秀紀、佐々木雅之：治療計画 CT と PET-CT 画像を利用した肺腫瘍領域自動抽出方法の開発，第 24 回日本放射線腫瘍学会 (JASTRO) 神戸，2011 年 11 月 17 日，神戸ポートピアホテル。
- 馬込大貴、有村秀孝、塩山善之、徳永千晶、中村和正、穴井重男、本田 浩、大喜雅文、豊福不可依、平田秀紀：肺定位放射線治療における類似症例を用いたビームアングルの

自動決定法, 第 24 回日本放射線腫瘍学会 (JASTRO) 神戸, 2011 年 11 月 19 日, 神戸ポートピアホテル.

- 岡田昌洋, 中村和正, 穴井重男, 吉留郷志, 平田秀紀, 有村秀孝, 永田弘典: IMRT 治療における吸引式固定具のセットアップエラーの検討, 第 24 回日本放射線腫瘍学会 (JASTRO) 神戸, 2011 年 11 月 17 日, 神戸ポートピアホテル.
- 馬込大貴, 有村秀孝, 塩山善之, 徳永千晶, 中村和正, 本田 浩, 大喜雅文, 豊福不可依, 平田秀紀: 放射線治療計画支援のための類似症例を用いたビーム方向決定法の開発, メディカルイメージング連合フォーラム(沖縄), 2012 年 01 月 19 日, 那覇市ぶんかテンブス館.
- 荒木翔, 有村秀孝, 吉浦敬, 徳永千晶, 山下泰生, 本田浩, 平田秀紀, 豊福不可依, 大喜雅文: アルツハイマー型認知症のコンピュータ支援診断*のための海馬領域自動抽出方法の開発, メディカルイメージング連合フォーラム(沖縄), 2012 年 01 月 19 日, 那覇市ぶんかテンブス館.
- 神沢 聡, 有村秀孝, 垣内玄雄, 納富昭弘, 塩山善之, 中村和正, 豊福不可依: ペンシルビーム法を用いた陽子線線量分布計算アルゴリズムの開発と治療計画への適用と応用, 2012 年春季 第 59 回 応用物理学関係連合講演会, 2012 年 03 月 15 日, 早稲田大学(東京).
- 垣内玄雄, 有村秀孝, 塩山善之, 蓑原伸一, 溝口明日実, 中村和正, 本田 浩, 豊福不可依, 大喜雅文, 平田秀紀: 粒子線治療における患者セットアップエラーにロバストなビーム方向自動決定法の開発, 2012 年春季 第 59 回 応用物理学関係連合講演会, 2012 年 03 月 15 日, 早稲田大学(東京).
- 中西大樹, 長峰周治, 田中亮治, 納富昭弘: ポリエチレン内張り型反跳陽子比例計数管の Am-Be 線源からの中性子線に対する応答特性, 応用物学会, 2011 年 08 月 02 日, 宮城県 仙台市 秋保温泉.

f. 学会以外での講演, 発表 なし

著作

a. 単行本 なし

b. 総説 なし

c. 解説, 書評など

- Arimura H, Kuwazuru J, Shioyama Y, Taniyama E, Magome T, Nakamura K, Honda H, Toyofuku F, Hirata H, Sasaki M.: Automated Contouring of Tumor Regions in CT Images Using an Adaptive Level Set Method, Proceedings of The 2012 International Workshop on Advanced Image Technology, 2012 年 01 月, .
- Mizoguchi A, Arimura H, Yoshidome S, Hirose T, Shioyama Y, Anai S, Nakamura K, Honda H, Umezu Y, Hirata H, Ohki M, Toyofuku F.: Real-time monitoring of a lung tumor region based on gamma evaluation during stereotactic body radiotherapy, Japan-Korea Joint Meeting on Medical Physics (JKMP), Asia-Oceania Congress of Medical Physics (AOCMP), Fukuoka, 2011 年 09 月, .
- Tokunaga C, Arimura H, Yoshiura T, Yamashita Y, Kobayashi K, Magome T, Honda H, Hirata H, Toyofuku F, Ohki M: Automated measurement of three-dimensional cortical thicknesses in ten cerebral lobar regions for patients with Alzheimer's disease, Japan-Korea Joint Meeting on Medical Physics (JKMP), Asia-Oceania Congress of Medical Physics (AOCMP), Fukuoka, 2011 年 09 月, .
- Magome T, Arimura H, Shioyama Y, Tokunaga C, Nakamura K, Honda H, Ohki M, Hirata H, Toyofuku F.: Automated method for determination of beam directions based on similar cases for lung stereotactic body radiotherapy, Japan-Korea Joint Meeting on Medical

Physics (JKMP), Asia-Oceania Congress of Medical Physics (AOCMP), Fukuoka, 2011年09月, .

- Kuwazuru J, Arimura H, Shioyama Y, Taniyama E, Magome T, Nakamura K, Honda H, Toyofuku F, Hirata H, Sasaki M.: Computerized Delineation of Gross Tumor Volumes in Treatment Planning CT Images Using an Adaptive Level Set Method, Japan-Korea Joint Meeting on Medical Physics (JKMP), Asia-Oceania Congress of Medical Physics (AOCMP), Fukuoka, 2011年09月, .

受賞

- 有村, 「Automated method for determination of beam directions based on similar cases for lung stereotactic body radiotherapy」, Second Place in Young investigator Symposium (Magome T, Arimura H, et al.) Automated method for determination of beam directions based on similar cases for lung stereotactic body radiotherapy, 6th Japan-Korea Joint Meeting on Medical Physics (JKMP) 11th Asia-Oceania Congress of Medical Physics (AOCMP), Fukuoka, 2011年10月.
- 有村, 「治療計画 CT と PET-CT 画像を利用した肺腫瘍領域自動抽出方法の開発」, 優秀演題賞(桑水流純平, 有村秀孝他) 治療計画 CT と PET-CT 画像を利用した肺腫瘍領域自動抽出方法の開発, 第24回日本放射線腫瘍学会(JASTRO), 神戸, 2011年11月.
- 有村, 「Automated method for determination of beam directions based on similar cases for lung stereotactic body radiotherapy」, Finalist in Young investigator Symposium (Magome T, Arimura H, et al.) Automated method for determination of beam directions based on similar cases for lung stereotactic body radiotherapy, 6th Japan-Korea Joint Meeting on Medical Physics (JKMP) 11th Asia-Oceania Congress of Medical Physics (AOCMP), Fukuoka, 2011年10月.
- 有村, 「Computer-assisted radiation treatment planning system for determination of beam directions based on similar cases in a database for stereotactic body radiotherapy」, Conference Finalist of the Best Student Paper Award (Magome T, Arimura H, et al.) Computer-assisted radiation treatment planning system for determination of beam directions based on similar cases in a database for stereotactic body radiotherapy, International Society for Optics and Photonics (SPIE Medical Imaging), San Diego, 2012年02月.

報道 なし

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 高橋, レーザー生成プラズマからの極端紫外線による無機材料の微細加工に関する研究, 筑波大学大学院, 2008年04月~, 公開.

2. 受託研究 なし

3. 取得特許

- 粒子線ビーム方向決定システム、粒子線ビーム方向決定方法及び粒子線ビーム方向決定コンピュータ用プログラム, 有村秀孝, 垣内玄雄, 塩山善之, 中村和正, 特願2012-41569号 (QP110195), 平成24年2月28日 (国内・国外申請中).
- 粒子線ビーム方向決定システム、粒子線ビーム方向決定方法及び粒子線ビーム方向決定コンピュータ用プログラム, 有村秀孝, 垣内玄雄, 塩山善之, 中村和正, .
- 放射線ビームアングル決定システム、放射線ビームアングル決定方法及び放射線ビームアングル決定用コンピュータプログラム, 有村秀孝, 馬込大貴, 塩山善之, 特願2012-69606号 (QP110196), 平成24年 3月26日.
- 放射線ビームアングル決定システム、放射線ビームアングル決定方法及び放射線ビームアングル決定用コンピュータプログラム, 有村秀孝, 馬込大貴, 塩山善之, .

4. 兼業 なし

5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 有村, Miami Beach Convention Center, Miami Beach (United States of America), 国際会議, 2011年10月～2011年10月(2週間未満)。
- 有村, Mc Cormick Place, Chicago (United States of America), 国際会議, 2011年11月～2011年12月(2週間未満)。
- 有村, Department of Nuclear Physics, University of Science – HCMC Vietnam National University (“Researches and Development of Computer-Aided Radiotherapy in My Laboratory”講演及び施設訪問)(Vietnam), 大学・研究所訪問, 2012年01月～2012年01月(2週間未満)。
- 有村, Majestic Hotel Saigon, Ho Chi Minh City (Vietnam), 国際会議, 2012年01月～2012年01月(2週間未満)。
- 納富, National Physical Laboratory (NPL) (United Kingdom), その他, 2011年12月～2012年02月(1ヶ月以上)。
- 納富, National Physical Laboratory (United Kingdom), Oxford University (United Kingdom), その他, 教育の質向上支援プログラム(EEP) 2011年12月～2012年02月

2. 外国人研究者の受入れ

- a. 訪問教授・研究員 なし
- b. 訪問研究者 なし

留学生の受入れ

斬 沢 (Jin Ze, キン タク) G30

修士課程

受入れ教員:有村秀孝

学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 大喜, 保健学科支線 LAN 管理者.
- 大喜, 情報通信基盤連絡会議.
- 大喜, 認証評価部会委員.
- 大喜, 全学教育企画委員会(基礎科学科目)企画部会 [情報処理科目].
- 高橋, 入学者選抜研究委員会.
- 有村, 病院地区 総合研究棟 支線LAN管理者.

2. 部局委員

- 大喜, 保健学部門副部門長.

3. 部門・コース内委員

- 大喜, 広報委員長.
- 納富, 地域国際連携委員会委員.

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 大喜, 九州大学歯学部, 非常勤講師.
- 大喜, 福岡医健専門学校, 非常勤講師.
- 大喜, 長崎大学歯学部, 非常勤講師.
- 納富, 近畿大学, 原子力研究所客員准教授.

2. 学協会

- 大喜, 日本歯科放射線学会, その他(代議員), 国内.
- 有村, JKMP(日韓医学物理学会)-AOCMP(アジアオセアニア医学物理学会)共同開催の国際会議を九州大学大学院医学研究院保健学部門医用量子線科学分野が主催し, 事務局長として学会

運営に努めた。(大会長:豊福不可依教授, 9/29-10/1,2011), JKMP(日韓医学物理学会)-AOCMP(アジアオセアニア医学物理学会), 学術団体.

- 有村, 応用物理学会放射線分科会, 幹事, 国内.
- 有村, 電子情報通信学会 医用画像研究専門委員, その他(医用画像研究専門委員), 国内.
- 有村, 医用画像情報学会 MII, 理事(庶務担当理事), 国内.
- 有村, 日本医学物理学会(JSMP) 編集委員, その他(編集委員), 国内.
- 納富, 日本医学物理学会, その他(第 103 回 学術大会 プログラム委員), 国内.

3. 官界 なし

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職 なし

5. 公開講座・公開講演会

- 大喜, 「第 12 回(平成 23 年度)認定看護管理制度セカンドレベル教育「情報テクノロジー」の講義を行った」, 福岡県看護協会・認定看護管理教育運営委員会. 福岡市, セミナー・研修会.
- 有村, 「がんプロ西日本・市民公開シンポジウム、医学物理士のパネリスト」, がんプロフェッショナル養成協議会、日本対がん協会、大阪対がん協会. ドーンセンター大阪7F(7/26), 講演会・公開討論.
- 有村, 「九重セミナー、放射線物理」, 日本医学放射線学会九州地方会. 九州大学医学部コラボステーション I, セミナー・研修会.
- 納富, 「2011 年 医学物理ミニマム講習会」での講義(7/29) 「放射線基礎物理」, 日本医学物理士会, 秋葉原ダイビル, セミナー・研修会

6. 初等中等教育への貢献

- 納富, 「出前授業」, 佐世保北高等学校. 講演・セミナー等.

医用量子線科学分野

《医用放射線科学》

教授	小坂 克子
教授	佐々木 雅之
教授	平田 秀紀
教授	杜下 淳次
准教授	藪内 英剛
講師	熊澤 誠志
助教	赤坂 勉

1. 教育活動

1. 大学院講義

佐々木 雅之		
分子機能画像科学論 (分担)		後期
臨床量子線科学 I (分担)		前期
ヘルスサイエンス論 (分担)		前期
小坂 克子		
臨床量子線科学 I (分担)		前期
平田 秀紀		
国際社会とチーム医療 (分担)		前期
アジアの保健学 (分担)		前期
臨床量子線科学 I (分担)		前期
がん病態治療論 (分担)		前期
杜下 淳次		
医用画像科学論		後期
保健学研究論 (分担)		前期
臨床量子線科学 I (分担)		前期
藪内 英剛		
臨床量子線科学 I (分担)		前期
分子機能画像科学論 (分担)		後期

2. 大学院実験・実習 なし

3. 大学院演習

佐々木 雅之		
分子機能画像科学演習 (分担)		前期
臨床量子線科学 II (分担)		後期
平田 秀紀		
臨床量子線科学 II (分担)		後期
杜下 淳次		
臨床量子線科学 II (分担)		後期

小坂 克子		
	分子機能画像科学演習 (分担)	前期
	臨床量子線科学Ⅱ (分担)	後期
藪内 英剛		
	分子機能画像科学演習 (分担)	前期
	臨床量子線科学Ⅱ (分担)	後期

4. 大学院修士課程修了者

張 鉄嬌	ファントムを用いた PET/CT による腫瘍標的体積の自動輪郭抽出に関する検討 Phantom study on target volume delineation by PET/CT based auto-contouring
光元 勝彦	PET/CT 検査の定量性改善に関する研究~胸部病変診断における息止め PET/CT の至適撮像条件の検討~
岡田 昌洋	「前立腺癌放射線治療の位置精度における吸引式固定具の有用性の検証、並びにデジタル再構成画像とポータル画像を用いた回転推定法の開発」
本村賢大朗	原発性肺癌における肺葉切除術後の肺機能予測:肺血流シンチグラフィと肺血流 SPECT/CT との比較
赤嶺 寛地	画像読影用 liquid-crystal display におけるグレイスケール画像の色の変化に関する研究
松山 倫延	異なる表面加工の液晶ディスプレイにおける環境光の影響とシャープネスに関する研究

5. 大学院博士課程修了者

浅尾 喜美枝	The interpolated projection data estimation method improves the image quality of myocardial perfusion SPECT with a short acquisition time.
--------	--

学部講義

佐々木 雅之		
	コアゼミナール放射線医学入門 (分担)	前期
	医学総論 I (分担)	前期
	放射化学・実験 (分担)	後期
	核医学検査学 I	通年
	核医学検査学 II	通年
	放射性同位元素検査技術学・実習 (分担)	前期
平田 秀紀		
	医学総論 I (分担)	前期
	放射線生物学 (分担)	前期
	放射線治療技術学 (分担)	前期
	放射線基礎医学 (分担)	後期
	放射線治療技術学 II (分担)	後期
	インフォームド・コンセント (分担)	後期
	放射線治療機器学 (分担)	前期
	コアゼミナール放射線医学入門 (分担)	前期
	放射性同位元素検査技術学・実習 (分担)	前期

臨床概説 (分担)	前期
杜下 淳次	
コアゼミナール放射線医学入門 (分担)	前期
放射線画像技術学Ⅰ	後期
医用画像評価学・実習	後期
熊澤 誠志	
コアゼミナール放射線医学入門 (分担)	前期
医用画像処理学Ⅱ	後期
放射線画像技術学Ⅱ	前期
品質管理論	後期
赤坂 勉	
コアゼミナール放射線医学入門 (分担)	前期
放射線管理学	前期
写真工学	前期

6. 学部の実験・実習・演習

佐々木 雅之	
放射化学・実験 (分担)	後期
放射性同位元素検査技術学・実習 (分担)	前期
核医学検査学実習 (分担)	通年
臨地実習(分担)	通年
卒業研究(分担)	通年
平田 秀紀	
放射線治療技術学実習 (分担)	後期
臨床医学基本実習 (分担)	後期
臨地実習(分担)	通年
卒業研究(分担)	通年
杜下 淳次	
放射線画像技術学実験 (分担)	後期
放射線機器学実験 (分担)	後期
放射線画像技術学実周 (分担)	後期
臨地実習(分担)	通年
卒業研究(分担)	通年
熊澤 誠志	
医用画像処理学演習 (分担)	前期
放射化学・実験 (分担)	後期
臨地実習(分担)	通年
卒業研究(分担)	通年
赤坂 勉	
放射線管理学実験	後期
写真工学実験	後期
臨地実習(分担)	通年
卒業研究(分担)	通年

7. 卒業論文作成者

笠原有紀子	TOF-PET/CTによる大口径ファントムの Noise と Contrast の改善
谷口 隆文	PSF 補正および TOF 補正による PET/CT 画像の空間分解能の改善
小島 幸	子宮頸がん放射線治療の時間的線量分布
大道 寺龍	骨盤部放射線治療用固定具使用の継時的姿勢変化の解析
原 久美子	IVR 関連医師の職業被曝についての調査
皆良田明美	胸部 X 線画像における*間質性肺炎模擬病変の検出能*Irradiation Side Sampling 方式*間接変換型 FPD と CR の比較
白木 一史	3T-MRI を用いた手関節体位変化による TFCC 描出能の検討
岡本 直華	デジタルマンモグラフィにおける微小石灰化検出能*:FPD と CR の比較
牛島 大悟	EPI 画像における磁場不均一性に起因した幾何学的歪みのシミュレーション
関木 崇彦	EPI 画像における幾何学的歪みに対する歪み補正手法の比較検討
岡本 裕人	環境放射能汚染対策における診療放射線技師の役割
田中 智美	半導体式線量計 (Unfos 社製 ThinXRAD Dose) の特性
石井 佳織	デジタルマモグラムの類似度の定量化に関する研究
矢野 雄大	蛍光灯の発光色の違いが LCD の色に及ぼす影響
岡本直華	デジタルマンモグラフィにおける微小石灰化検出能～FPD と CR の比較～
皆良田明美	胸部 X 線画像における間質性肺炎模擬病変の検出能～Irradiation Side Sampling 方式間接変換型 FPD と CR の比較～
白木一史	3T-MRIを用いた手関節体位変化による TFCC 描出能の検討

8. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導 なし

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1	PET/CT, SPECT/CT を用いた分子イメージングによる腫瘍診断	佐々木
2	PET/CT, SPECT/CT を用いた分子イメージングによる中枢神経系の診断	佐々木
3	悪性腫瘍および正常組織に対する放射線の効果	平田
4	デジタル X 線画像の画質評価法の開発	杜下
5	画像情報を用いた自動認識技術の開発	杜下
6	乳腺腫瘍の MRI による診断、頭頸部腫瘍の MRI による診断、造影ダイナミック MRI と拡散強調 MRI を用いた乳癌の予後予測画像所見の研究、肺癌の化学療法効果を早期に予測する画像パラメーターの研究	藪内
7	デジタルマンモグラフィの乳癌診断能の研究	藪内
8	functional MRI における脳機能部位の高精度抽出	熊澤
9	EPI 撮像法におけるゴーストアーチファクトの低減	熊澤
10	MRI 画像におけるインタラクティブな領域抽出	熊澤
11	拡散テンソル MR 画像における脳の機能・形態情報抽出および可視化手法の開発	熊澤
12	患者被ばく線量の測定	赤坂

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

佐々木雅之

- 「基盤研究(C)」TOF方式PET装置を用いた分子イメージングの放射線治療計画への応用, 佐々木(代表), 70 千円.

熊澤 誠志

- 「基盤研究(C)」拡散テンソルMR画像における脳の機能・形態情報抽出および可視化手法の開発, 熊澤(代表), 1400 千円.

3. 学内研究経費の受け入れ なし

4. 奨学寄付金の受入れ

佐々木 雅之

- 「PET による腫瘍診断の研究」日本メジフィジックス, 佐々木.
- 「核医学による腫瘍の診断と治療の研究」フジRIファーマ, 佐々木.

5. その他の外部研究資金の受入れ

杜下 淳次

- 「株式会社ナナオ 医療用液晶モニタの画像特性に関する研究」杜下.
- 「ヤマギワ株式会社・株式会社コ・メディカル 超音波検査室に於ける最適な照明環境の研究」杜下.

6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

7. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- Mitsumoto K, Abe K, Sakaguchi Y, Zhang T, Tachiya Y, Ohya N, Baba S, Sasaki M.: Determination of the Optimal Acquisition Protocol of Breath-Hold PET/CT for the Diagnosis of Thoracic Lesions., *Nucl Med Commun*, 32(12):1148-54. Epub 2011 Sep 30., 2011 年 12 月. (査読あり)
- Asao K, Takaki A, Tominaga M, Sasaki M.: The interpolated projection data estimation method improves the image quality of myocardial perfusion SPECT with a short acquisition time., *Ann Nucl Med*, 26 (2):123-130. Epub 2011 Oct 28., 2012 年 02 月. (査読あり)
- Makoto Shinoto, Yoshiyuki Shioyama, Tomonari Sasaki, Katsumasa Nakamura, Hiroshi Ohura, Yasushi Toh, Yuichiro Higaki, Toshiro Yamaguchi, Kayoko Ohnishi, Kazushige Atsumi, Hideki Hirata, Hiroshi Honda: Clinical Results of Definitive Chemoradiotherapy for Patients With Synchronous Head and Neck Squamous Cell Carcinoma and Esophageal Cancer, *American Journal of Clinical Oncology*, , 2011 年 08 月. (査読あり)
- Kayoko Tsujino, Kenichi Kashihara, Shouko Kotani, Kazushige Hayakawa, Kazufumi Imanaka, Yasuhiro Takeda, Takashi Uno, Hideki Hirata, Yuko Kaneyasu, Kenji Sekiguchi, Etsuyo Ogo, Junichi Hiratsuka, Eisaku Yoden, Toshinori Soejima: A survey of patients with inflammatory skin recurrence corresponding to the area of previous irradiation after postoperative radiotherapy for breast cancer, *Journal of Radiation Research*, , 2011 年 11 月. (査読あり)
- Saiji Ohga, Katsumasa Nakamura, Tadamasu Yoshitake, Yoshiyuki Shioyama, Takefumi Ohga, Tomonari Sasaki, Takeshi Nonoshita, Kaori Asai, Masaru Morita, Yoshihiro Kakeji, Hideki Hirata, Hiroshi Honda: A case of recurrent esophageal cancer treated with chemoradiation combined with long-term hyperthermia treatment, , 2012 年 03 月. (査読あり)

- Nobukazu Tanaka, Kentaro Naka, Hiroko Fukushima, Junji Morishita, Fukai Toyofuku, Masafumi Ohki, Yoshiharu Higashida: Digital magnification mammography with matched incident exposure: physical imaging properties and detectability of simulated microcalcifications, *Radiological Physics and Technology*, , 2011年07月. (査読あり)
- Satoru Matsuo, Junji Morishita, Tetsuro Katafuchi, Chika Honda, Hiroshi Fujita: Image-quality assessment method for digital phase-contrast imaging based on two-dimensional power spectral analysis, *Radiological Physics and Techonology*, , 2012年01月. (査読あり)
- 松尾 悟, 片渕哲朗, 杜下淳次, 藤田広志: デジタル位相コントラストイメージングにおける拡大率とサンプリングピッチの検討, *医用画像情報学会雑誌*, , 2012年03月. (査読あり)
- Yabuuchi H, Matsuo Y, Tsukamoto H, Sunami S, Kamitani T, Sakai S, Hatakenaka M, Nagafuji K, Horiuchi T, Harada M, Akashi K, Honda H: Correlation between pretreatment or follow-up CT findings and therapeutic effect of autologous peripheral blood stem cell transplantation for interstitial pneumonia associated with systemic sclerosis, *Eur J Radiol*, , 2011年08月. (査読あり)
- Yabuuchi H, Hatakenaka M, Takayama K, Matsuo Y, Sunami S, Kamitani T, Jinnouchi M, Sakai S, Nakanishi Y, Honda H: Non-small cell lung cancer: detection of early response to chemotherapy by Using contrast-enhanced dynamic and diffusionweighted MR Imaging, *Radiology*, , 2011年11月. (査読あり)

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Baba S, Abe K, Sawamoto H, Tanabe Y, Maruoka Y, Sasaki M, Honda H.: Visualization and dose estimation of 90Y-ibritumomab-tiukisetan accumulation in lymphoma patients using TOF PET/CT., 58th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine, 2011年06月04日, United States of America.
- Abe K, Baba S, Sawamoto H, Tanabe Y, Maruoka Y, Ogawa S, Sasaki M, Honda H.: The clinical value of SPECT/CT for sentinel node mapping in patients with uterine cervical cancer., 58th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine, 2011年06月04日, United States of America.
- Maruoka Y, Abe K, Baba S, Sawamoto H, Tanabe Y, Sasaki M, Honda H.: Incremental diagnostic value of SPECT/CT on I-131 scintigraphy in radioiodine therapy for patients with well differentiated thyroid carcinoma., 58th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine, 2011年06月04日, United States of America.
- Sawamoto H, Abe K, Baba S, Tanabe Y, Maruoka Y, Sasaki M, Honda H.: Effect of time-of-flight in PET image reconstruction on standardized uptake value., 58th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine, 2011年06月04日, United States of America.
- Akamatsu G, Mitsumoto K, Taniguchi T, Kasahara Y, Ohya N, Umezu Y, Komiya I, Tsutsui Y, Sasaki M.: Impact of PSF and TOF on improving PET/CT images using a large phantom, 11th Asia-Oceania Congress of Medical Physics, 2011年09月28日, Japan.
- Mitsumoto K, Akamatsu G, Taniguchi T, Kasahara Y, Ohya N, Umezu Y, Komiya I, Tsutsui Y, Sasaki M.: Improvement of PET/CT image quality using a large phantom by PSF and TOF in relation to the acquisition time and reconstruction parameters, 11th Asia-Oceania Congress of Medical Physics, 2011年09月28日, Japan.
- Kuwazurua J, Arimura H, Shioyama Y, Taniyama E, Magome T, Nakamura K, Honda H, Toyofuku F, Hirata H, Sasaki M.: Computerized Delineation of Gross Tumor Volumes in Treatment Planning CT Images Using an Adaptive Level Set Method, 11th Asia-Oceania Congress of Medical Physics, 2011年09月28日, Japan.
- Motomura K, Yabuuchi H, Sasaki M, Abe K, Baba S, Yano Y, Yano T, Honda H.: Prediction of postoperative pulmonary function after lobectomy for primary lung cancer

using pulmonary perfusion scintigraphy: comparison between planar images and SPECT-CT., 11th Asia-Oceania Congress of Medical Physics, 2011年09月28日, Japan.

- Miwa K, Wagatsuma K, Akimoto K, Matsubayashi F, Koyama M, Fujibuchi T, Kojima H, Umeda T, Inubushi M and Sasaki M.: Radiation Shielding for Beta and Bremsstrahlung Radiation from 89Sr and 90Y, 11th Asia-Oceania Congress of Medical Physics, 2011年09月28日, Japan.
- Kuwazuru J, Arimura H, Shioyama Y, Taniyama E, Sasaki M, Magome T, Nakamura K, Honda H, Toyofuku F, Hirata H.: Computerized Estimation of Possible Clinical Target Volume Based on Multimodality Images Using A Dual Active Contour Model, American Society for Radiation Oncology, 53rd annual meeting, 2011年10月02日, United States of America.
- Mitsumoto K, Abe K, Sakaguchi Y, Zhang T, Tachiya Y, Ohya N, Sasaki M.: Determination of the Optimal Acquisition Protocol of Breath-Hold PET/CT for the Diagnosis of Thoracic Lesions, EANM'11 - Annual Congress of the European Association of Nuclear Medicine, 2011年10月15日, United Kingdom.
- Akamatsu G, Ishikawa K, Zhang T, Takagi S, Ohya N, Mitsumoto K, Enomoto M, Yamaguchi K, Sasaki M.: Impact of PSF and TOF on improving clinical PET/CT images in relation to BMI and injected dose, EANM'11 - Annual Congress of the European Association of Nuclear Medicine, 2011年10月15日, United Kingdom.
- Akamatsu G, , Zhang T, Mitsumoto K, Tachiya Y, Ohya N, Sasaki M.: Impact of PSF and TOF in PET/CT: Performance evaluation and initial experience, EANM'11 - Annual Congress of the European Association of Nuclear Medicine, 2011年10月15日, United Kingdom.
- Mitsumoto K, Enomoto M, Tsutsui Y, Ohya N, Akamatsu G, Sasaki M.: Difference in brain perfusion images between two SPECT/CT scanners evaluated by 3D brain phantom and 3D-SSP, EANM'11 - Annual Congress of the European Association of Nuclear Medicine, 2011年10月15日, United Kingdom.
- Miwa K, Koyama M, Umeda T, Kojima R, Inubushi M, Sasaki M.: Quantitative Response to Therapy in Non-Hodgkins Lymphoma Using Partial Volume Correction by FDG PET, 97th Scientific Assembly and Annual Meeting RSNA2011, 2011年11月27日, United States of America.
- Arimura H, Kuwazuru J, Shioyama Y, Taniyama E, Magome T, Nakamura K, Honda H, Hirata H, Sasaki M.: Automated Contouring of Tumor Regions in CT Images Using an Adaptive Level Set Method, The 2012 International Workshop on Advanced Image Technology (IWAIT 2012), 2012年01月09日, Vietnam.
- Yuki Yano, Hidetake Yabuuchi, Nobukazu Tanaka, Junji Morishita: Detectability of simulated lesions on chest X-ray imaging: comparison between Irradiation Side Sampling, indirect FPD, and CR systems, Radiological Society of North America (RSNA) 97th Scientific Assembly and Annual Meeting, 2011年11月08日, United States of America.
- Nobukazu Tanaka, Tsutomu Akasaka, Hidetake Yabuuchi, Masafumi Ohki, Junji Morishita: Potential dose reduction in an indirect flat panel detector system employing irradiation side sampling, 2011 Joint AAPM/COMP Meeting, 2011年07月31日, Canada.
- Shinya Takarabe, Hiroshi Akamine, Hidetake Yabuuchi, Yasuhiko Nakamura, Noriyuki Hashimoto, Junji Morishita: Investigation of the contrast ratio required for medical-grade liquid-crystal displays, 2011 Joint AAPM/COMP Meeting, 2011年07月31日, Canada.

- Yoichiro Ikushima, Hiroshi Akamine, Yasuhiko Nakamura, Noriyuki Hashimoto, Junji Morishita: Verification of the usefulness of evaluation method for angular performance with the ANG test pattern, 2011 Joint AAPM/COMP Meeting, 2011年07月31日, Canada.
- Hiroshi Akamine, Shinichi Awamoto, Hitoshi Miyazaki, Yasuhiko Nakamura, Noriyuki Hashimoto, Junji Morishita: Variations of the chromaticity in gray-scale images displayed on different liquid crystal display monitors, 2011 Joint AAPM/COMP Meeting, 2011年07月31日, Canada.
- Michinobu Matsuyama, Hiroshi Akamine, Masafumi Ohki, Junji Morishita: Effect of illuminance on display function of LCD monitors with different kinds of surface treatments, 6th Japan-Korea Joint Meeting on Medical Physics and 11th Asia-Oceania Congress of Medical Physics, 2011年10月01日, Japan.
- Hiroshi Akamine, Michinobu Matsuyama, Fukai Toyofuku, Junji Morishita: Comparison of the viewing angle performance in the chromaticity between a medical-grade LCD monitor and a general-purpose LCD monitor, 6th Japan-Korea Joint Meeting on Medical Physics and 11th Asia-Oceania Congress of Medical Physics, 2011年10月01日, Japan.
- Yuki Yano, Hidetake Yabuuchi, Nobukazu Tanaka, Junji Morishita: Evaluation of Irradiation Side Sampling indirect FPD for the detection of simulated chest lesions: comparison with CR systems, 6th Japan-Korea Joint Meeting on Medical Physics and 11th Asia-Oceania Congress of Medical Physics, 2011年10月01日, Japan.
- Risa Toge, Junji Morishita: Improvement of an automatic image-searching method for chest radiographs based on biological fingerprints and a template-matching technique, 6th Japan-Korea Joint Meeting on Medical Physics and 11th Asia-Oceania Congress of Medical Physics, 2011年10月01日, Japan.
- Nobukazu Tanaka, Junji Morishita, Yuki Yano, Hidetake Yabuuchi, Masafumi Ohki: Comparison of image quality between a flat panel detector system employing irradiation side sampling (ISS) and a computed radiography system, 6th Japan-Korea Joint Meeting on Medical Physics and 11th Asia-Oceania Congress of Medical Physics, 2011年10月01日, Japan.
- Norisato Tsuda, Nobukazu Tanaka, Tsutomu Akasaka, Hidetake Yabuuchi, Junji Morishita: Evaluation of basic imaging properties of dual-side reading imaging plate in computed radiographic system, 6th Japan-Korea Joint Meeting on Medical Physics and 11th Asia-Oceania Congress of Medical Physics, 2011年09月30日, Japan.
- Masateru Kawakubo, Michinobu Nagao, Seiji Kumazawa, Akiko Suyama Chishaki, Hiroshi Honda, Junji Morishita: Evaluation of cardiac mechanical dyssynchrony using 4-chamber cine magnetic resonance imaging: Assessment of chronic failure, The 24th European Congress of Radiology (ECR 2012), 2012年03月01日, Austria.
- Risa Toge, Yasuo Sasaki, Junji Morishita: How to automatically locate lost chest radiographs accurately in a PACS server, The 24th European Congress of Radiology (ECR 2012), 2012年03月01日, Austria.
- Shogo Tokurei, Masaki Asahara, Junji Morishita: How to evaluate display devices by use of commercially available digital cameras with different image sensors, The 24th European Congress of Radiology (ECR 2012), 2012年03月01日, Austria.
- Kumazawa S, Yoshiura T, Honda H, Toyofuku F: Brain tissue segmentation for diffusion tensor imaging (DTI) data using multi-tensor estimation, International Society for Magnetic Resonance in Medicine, 2011年05月10日, Canada.
- Seiya Kai, Seiji Kumazawa, Hidetake Yabuuchi, and Fukai Toyofuku : A correction method for the local intensity nonuniformity in MR images based on the Gaussian profile

model, 6th Japan-Korea Joint Meeting on Medical Physics 11th Asia-Oceania Congress of Medical Physics, 2011年09月29日, Japan.

- Seiya Kai, Seiji Kumazawa, Hidetake Yabuuchi, Fukai Toyofuku: Correction of the local intensity nonuniformity artifact in high field MR, European congress of radiology, 2012年03月01日, Austria.
- Seiji Kumazawa, Takashi Yoshiura, Hiroshi Honda, Fukai Toyofuku: Development of a novel a partial volume brain tissue segmentation method based on diffusion tensor MR imaging data using multi-tensor model, European congress of radiology, 2012年03月01日, Austria.
- Yuki Yano, Hidetake Yabuuchi, Koji Kobayashi, Seiji Kumazawa, Takeshi Kamitani, Yoshio Matsuo, Hiroshi Honda: Diffusion tensor MR imaging of normal breast: evaluation of the influence of breast composition, European congress of radiology, 2012年03月01日, Austria.
- Masateru Kawakubo, Michinobu Nagao, Seiji Kumazawa, Akiko Suyama Chishaki, Hiroshi Honda, Junji Morishita : Evaluation of cardiac mechanical dyssynchrony using 4-chamber cine magnetic resonance imaging: Assessment of chronic heart failure, European congress of radiology, 2012年03月01日, Austria.
- Yabuuchi H, Hatakenaka M, Takayama K, Matsuo Y, Sunami S, Kamitani T, Jinnouchi M, Sakai S, Nakanishi Y, Honda H: Detection of early response to chemotherapy in non-small cell lung cancer using dynamic contrast-enhanced and diffusion-weighted MRI and comparison with prognosis, The 2nd Asian Congress of Thoracic Radiology, 2011年5月13日, Kyoto, Japan.

c. 大学・研究機関などの刊行誌 なし

d. 調査研究報告 なし

e. 国内学会での講演, 発表

- 光元勝彦、榎本真奈、筒井悠治、大屋信義、安岡博昭、赤松剛、佐々木雅之：3D脳ファントムと3D-SSPを用いた脳血流SPECT/CT画像の二機種間の差の検討，第67回日本放射線技術学会総会学術大会，2011年04月07日，web.
- 赤松 剛、石川香、張 鉄嬌、高木眞三、大屋信義、光元勝彦、佐々木雅之：PET/CT検査におけるPSF補正およびTOF補正の効果と体格・FDG投与量との関係，第67回日本放射線技術学会総会学術大会，2011年04月07日，web.
- 佐々木雅之：放射線被曝・医療被曝を考える，第39回 日本血管外科学会学術総会，2011年04月20日，那覇市.
- 佐々木雅之：核医学専門医教育セミナー・核医学指導者コース「PET/CT」，第11回 日本核医学会春季大会，2011年05月08日，大阪市.
- 佐々木雅之：PET研修セミナー・医師歯科医師コース 臨床編③「悪性リンパ腫・原発不明癌・炎症その他」，第11回 日本核医学会春季大会，2011年05月08日，大阪市.
- 光元勝彦，赤松 剛，谷口隆文，笠原有紀子，大屋信義，梅津芳幸，小宮勲，筒井悠治，佐々木雅之：大口径ファントムを用いたPSF補正・TOF補正の効果の検討(1):収集時間および再構成条件の影響，第31回 日本核医学技術学会総会学術大会，2011年10月27日，つくば市.
- 赤松 剛，光元勝彦，谷口隆文，笠原有紀子，大屋信義，梅津芳幸，小宮勲，筒井悠治，佐々木雅之：大口径ファントムを用いたPSF補正・TOF補正の効果の検討(2):放射能濃度の影響，第31回 日本核医学技術学会総会学術大会，2011年10月27日，つくば市.
- 三輪建太、我妻慧、秋本健太、菊池明泰、小山眞道、犬伏正幸、早坂和正、滝口智洋、大澤敦、佐々木雅之：骨シンチ診断支援ソフトにおけるMorphonセグメンテーションの精度，第31回 日本核医学技術学会総会学術大会，2011年10月27日，つくば市.

- 三輪建太、我妻慧、小山眞道、犬伏正幸、佐賀恒夫、長尾充伸、佐々木雅之：フラクタル次元を用いた肺がんと炎症性疾患の鑑別，第 51 回 日本核医学会学術総会，2011 年 10 月 27 日，つくば市。
- 阿部光一郎、馬場真吾、磯田拓郎、丸岡保博、佐々木雅之、本田 浩：I-131 MIBG シンチグラフィによる副腎褐色細胞腫の診断能についての検討，第 51 回 日本核医学会学術総会，2011 年 10 月 28 日，つくば市。
- 磯田拓郎、阿部光一郎、馬場真吾、丸岡保博、佐々木雅之、本田 浩：甲状腺癌術後ヨード治療の結果予測：所属リンパ節 FDG 集積による分析，第 51 回 日本核医学会学術総会，2011 年 10 月 29 日，つくば市。
- 馬場真吾、阿部光一郎、磯田拓郎、丸岡保博、氷室和彦、佐々木雅之、本田 浩：TOF-PET を用いた 90Y 標識イブリツモマブチウキセタン集積の描出，第 51 回 日本核医学会学術総会，2011 年 10 月 28 日，つくば市。
- 笠原有紀子、光元勝彦、赤松剛、谷口隆文、大屋信義、梅津芳幸、小宮勲、筒井悠治、佐々木雅之：TOF-PET/CT による大口径ファントムの Contrast/Noise 比の改善，第 6 回 九州放射線医療技術学術大会，2011 年 11 月 05 日，鹿児島市。
- 谷口隆文、笠原有紀子、光元勝彦、赤松剛、氷室和彦、小宮勲、佐々木雅之：異なるコントラスト比におけるリカバリ係数の TOF 補正による改善，第 6 回 九州放射線医療技術学術大会，2011 年 11 月 05 日，鹿児島市。
- 赤松剛、光元勝彦、笠原有紀子、谷口隆文、小宮勲、大屋信義、佐々木雅之：FDG のリンパ節集積に対する TOF 補正の影響，第 6 回 九州放射線医療技術学術大会，2011 年 11 月 05 日，鹿児島市。
- 光元勝彦、赤松剛、笠原有紀子、谷口隆文、氷室和彦、小宮勲、佐々木雅之：3D 脳ファントムを用いた脳 PET 画像の再構成法の検討，第 6 回 九州放射線医療技術学術大会，2011 年 11 月 05 日，鹿児島市。
- 平田秀紀：総合がん診療における放射線治療の位置づけと時代の方向性，第 40 回筑豊地区放射線化セミナー，2011 年 09 月 01 日，飯塚市。
- 平田秀紀：緩和ケアにおける放射線療法の位置づけ，第 103 回福岡緩和ケア研究会，2011 年 10 月 19 日，。
- 平田秀紀：日常診療と放射線被ばくの考え方，第 342 回福岡東部地区小児科医会，2012 年 02 月 02 日，福岡県古賀市。
- 平田秀紀 寺島廣美 原康司 安達光代 小島貴文：100 回以上温熱療法を行った 5 例の検討と抗腫瘍効果の仮説，第 24 回九州・山口地区ハイパーサーミア研究会，2011 年 07 月 09 日，北九州市。
- 平田秀紀：画像診断からみた胃腸疾患と全身の相関，第 434 回豊西症例検討会，2011 年 11 月 25 日，大分県竹田市。
- 幾嶋洋一郎、赤嶺寛地、杜下淳次：ANG テストパターンを用いた視野角特性の評価法の検証，日本放射線技術学会第 67 回総会学術大会，2011 年 05 月 09 日，WEB 開催。
- 寶部真也、赤嶺寛地、藪内英剛、杜下淳次：X 線写真を表示する液晶ディスプレイ装置に必要な輝度比の検討，日本放射線技術学会第 67 回総会学術大会，2011 年 05 月 09 日，WEB 開催。
- 徳禮将吾、高橋慶多、朝原正喜、杜下淳次：Bayer 配列の CCD を採用したデジタルカメラによる医用 LCD の粒状評価における raw データの取り扱い，日本放射線技術学会第 67 回総会学術大会，2011 年 05 月 09 日，WEB 開催。
- 津田規吏、田中延和、赤坂 勉、藪内英剛、杜下淳次：一般撮影領域における両面集光方式 IP の物理特性の評価，日本放射線技術学会第 67 回総会学術大会，2011 年 05 月 09 日，WEB 開催。

- 田中延和, 津田規吏, 赤坂 勉, 藪内英剛, 杜下淳次: Irradiation side sampling 方式による間接変換型 FPD の画質と被曝線量低減の可能性, 日本放射線技術学会第 67 回総会学術大会, 2011 年 05 月 09 日, WEB 開催.
- 矢野佑季, 藪内英剛, 杜下淳次, 田中延和, 増田雅史: 胸部単純 X 線画像における模擬病変の検出能: Irradiation side sampling 方式間接型 FPD と CR の比較, 日本放射線技術学会第 67 回総会学術大会, 2011 年 05 月 09 日, WEB 開催.
- 峠 理沙(学生賞受賞), 杜下淳次: 胸部単純 X 線画像における Biological Fingerprints とテンプレートマッチング技術を用いた患者自動認識法の改善, 日本放射線技術学会第 67 回総会学術大会, 2011 年 05 月 09 日, WEB 開催.
- 松山倫延, 杜下淳次, 大喜雅文: 環境照度の変化が異なる表面加工の医用 LCD モニタの階調特性に及ぼす影響, 日本放射線技術学会第 39 回秋季学術大会, 2011 年 10 月 29 日, 神戸国際会議場.
- 赤嶺寛地, 杜下淳次, 豊福不可依: 医用 LCD の視野角特性がグレイスケール画像の色度に及ぼす影響, 日本放射線技術学会第 39 回秋季学術大会, 2011 年 10 月 28 日, 神戸国際会議場.
- 徳禮将吾, 朝原正喜, 納富昭弘, 杜下淳次: 撮像素子の異なるデジタルカメラで測定した液晶ディスプレイ装置のノイズの比較, 日本放射線技術学会第 39 回秋季学術大会, 2011 年 10 月 28 日, 神戸国際会議場.
- 白木一史, 藪内英剛, 西川啓, 小林幸次, 熊澤誠志, 本村賢大朗, 矢野佑季, 岡本直華, 皆良田明美, 松尾芳雄, 畠中正光, 本田浩: 3T-MRI を用いた手関節体位変化による TFCC 描出能の検討, 第 6 回九州放射線医療技術学術大会, 2011 年 11 月 05 日, 宝山ホール.
- 赤嶺寛地, 栗元伸一, 宮崎仁志, 中村泰彦, 杜下淳次: 経年劣化による LCD の色の变化, 第 6 回九州放射線医療技術学術大会, 2011 年 11 月 06 日, 宝山ホール.
- 矢野雄大, 赤嶺寛地, 杜下淳次: 蛍光灯の色の違いが LCD の色度に及ぼす影響, 第 6 回九州放射線医療技術学術大会, 2011 年 11 月 06 日, 宝山ホール.
- 岡本直華, 藪内英剛, 矢野佑季, 田中延和, 杜下淳次, 服部昭子, 松尾千尋, 岩切希代, 加藤豊幸, 増田雅史, 皆良田明美, 白木一史, 本村賢大朗, 畠中正光, 本田浩: デジタルマンモグラフィにおける微小石灰化検出能: FPD と CR の比較, 第 6 回九州放射線医療技術学術大会, 2011 年 11 月 06 日, 宝山ホール.
- 津田規吏, 田中延和, 井手口忠光, 納富昭弘, 大喜雅文, 橋田昌弘, 杜下淳次: イメージングプレートを用いた福岡市環境放射線調査の報告—福島第一原子力発電所事故の影響—, 第 6 回九州放射線医療技術学術大会, 2011 年 11 月 06 日, 宝山ホール.
- 石井佳織, 峠理沙, 杜下淳次: デジタルマモグラムの類似度の定量化に関する研究, 第 6 回九州放射線医療技術学術大会, 2011 年 11 月 06 日, 宝山ホール. (公開)
- 皆良田明美, 藪内英剛, 杜下淳次, 赤坂勉, 本村賢大朗, 矢野佑季: 胸部画像における間質性肺炎模擬病変の検出能: Irradiation Side Sampling 方式間接型 FPD と CR の比較, 第 6 回九州放射線医療技術学術大会, 2011 年 11 月 05 日, 宝山ホール.
- 赤嶺寛地, 松山倫延, 杜下淳次: 画像読影用 liquid-crystal display monitor におけるグレイスケール画像の色の变化に関する研究, 医用画像情報学会平成 23 年度春季(第 162 回)大会, 2012 年 01 月 28 日, .
- 松山倫延, 赤嶺寛地, 杜下淳次: 異なる表面加工の液晶ディスプレイモニタにおける環境光の影響とシャープネスに関する研究, 医用画像情報学会平成 23 年度春季(第 162 回)大会, 2012 年 01 月 28 日, 広島国際大学.
- 甲斐征八 熊澤誠志 藪内英剛 豊福不可依: MR 画像における局所的な信号強度不均一に対するガウス関数モデルを用いた補正法の開発, 第 6 回九州医療技術学術大会, 2011 年 11 月 06 日, 鹿児島市.

- 関木崇彦 甲斐征八 熊澤誠志: EPI 画像における field mapping 法および非剛体レジストレーション法を用いた歪み補正効果の検討, 第6回九州医療技術学術大会, 2011年11月06日, 鹿児島市.
- 牛島大悟 熊澤誠志: Echo-planar imaging (EPI)画像シミュレータを用いた磁化率の違いによる幾何学的歪みの検討, 第6回九州医療技術学術大会, 2011年11月06日, 鹿児島市.
- 岡本裕人, 田中智美, 赤坂 勉: 環境放射線汚染対策における診療放射線技師の役割, 第6回九州放射線医療技術学術大会, 2011年11月05日, 鹿児島市.
- 田中智美, 岡本裕人, 赤坂 勉: 半導体式線量計(Unfors社製 ThinX RAD Dose)の特性, 第6回九州放射線医療技術学術大会, 2011年11月05日, 鹿児島市.
- 藪内英剛、畠中正光、松尾芳雄、角南俊也、神谷武志、陣内三佳子、長尾充展、本田 浩、塚本 浩、堀内孝彦、赤司浩一: 強皮症合併間質性肺炎に対する末梢血幹細胞移植: 治療後短期の HRCT 所見変化と長期治療効果の比較、第70回日本医学放射線学会総会, 2011年04月07日, web.
- 藪内英剛: 肺癌 CT 診断の最近の話題, 第36回日本外科系連合学会 平成23年6月16日 浦安市.

f. 学会以外での講演, 発表 なし

著作

a. 単行本

- 永井良三、萩原弘一、芦澤和人、大泉聡史、沖永壮治、服部登、星川康 編集、藪内英剛ほか: (共著) 呼吸器研修ノート, 2011年04月, 診断と治療社.

b. 総説

- Masayuki Sasaki: Impact of FDG-PET/CT in the management of lymphoma., Ann Nucl Med, 2011年12月, .
- 平田秀紀: 医療に関する放射線被曝について, 日本放射線科専門医会・医会誌, 2011年09月, .
- 平田 秀紀: 放射線腎症と尿細管障害, 腎と透析, 2011年07月, .
- 平田 秀紀: 放射線治療の急性反応と晩期合併症～臨床と物理学・生物学の相関～, 臨床放射線, 2011年11月, .
- 平田 秀紀: 放射線腎症, , 2012年03月, .

c. 解説, 書評など なし

受賞

- 杜下, 「指導する博士後期課程の河窪正照が筆頭研究者」, Cum Laude, European Congress of Radiology, 2012年03月.
- 杜下, 「指導する修士課程課程2名の学生が, それぞれ受賞(峠 理沙, 徳禮将吾)」, Invest in the Youth, European Congress of Radiology, 2012年03月.
- 杜下, 「指導する修士学生の峠 理沙が受賞」, Poster Award, Asia Oceania Congress of Medical Physics, 2011年09月.

報道 なし

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 杜下, 医療用液晶モニタの画像特性に関する研究, 株式会社ナナオ, 2006年05月～2014年03月, 非公開.
- 杜下, 超音波検査室に於ける最適な照明環境の研究, ヤマギワ株式会社・株式会社コ・メディカル, 2007年08月～2012年03月, 非公開.

2. 受託研究 なし

3. 取得特許 なし

- 4. 兼業 なし
- 5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 佐々木, European Society of Nuclear Medicine (United Kingdom), 国際会議, 2011年10月～2011年10月(2週間未満), .
- 佐々木, European Congress of Radiology (Austria), 国際会議, 2012年03月～2012年03月(2週間未満), .
- 杜下, Korea University (Japan), 大学・研究所訪問, 2012年03月～2012年03月(2週間未満), .

2. 外国人研究者の受入れ

- a. 訪問教授・研究員 なし
- b. 訪問研究者 なし

留学生の受入れ

張 鉄嬌 修士課程

学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 杜下, 教務委員会.

2. 部局委員

- 佐々木, 九州大学病院放射性医薬品委員会 委員.
- 佐々木, 九州大学病院サイクロトン産生放射性同位元素の医学利用に関する委員会 委員.
- 杜下, 教務委員会 委員長.
- 杜下, 医療系統合教育センター委員会.

3. 部門・コース内委員

- 佐々木, 医学研究院保健学部門 大学院委員長.
- 佐々木, 医用量子線科学分野 分野長.
- 佐々木, 保健学部門 副部門長.
- 平田, 研究推進委員会委員長.
- 平田, 人事委員会委員.
- 平田, 教員業績評価委員会委員.
- 平田, 再任審査委員会委員.
- 平田, 大学院委員会委員.
- 杜下, 教務委員会委員長 将来構想委員会 研究推薦委員会 財務委員会 全学教育運営会議 医療系統合教育研究センター委員会 全学教務委員会.

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 佐々木, 熊本大学医学部保健学科, 非常勤講師. (公開)
- 平田, 久留米大学認定看護師教育センター, 非常勤講師. (公開)

2. 学協会

- 佐々木, Annals of Nuclear Medicine, 編集委員, 国際.
- 佐々木, 核医学, 編集委員, 国内.
- 佐々木, 日本核医学会, 理事, 国内.
- 佐々木, 日本核医学会, 評議員, 国内.
- 佐々木, 日本医学放射線学会, 代議員, 国内.

- 平田, 日本放射線科専門医会, 理事, 国内.
- 平田, 日本放射線腫瘍学会教育委員会, 運営委員 (教育委員看護教育担当), 国内.
- 平田, 日本医学放射線学会, 評議員, 国内.
- 平田, 国際癌治療増感剤研究会, 理事, 国内.
- 平田, 放射線影響懇話会, 運営委員 (世話人), 国内.
- 平田, 日本放射線医学会生物部会, 理事, 国内.
- 杜下, 日本放射線技術学会, 理事、評議員.
- 杜下, 医用画像情報学会、理事.

3. 官界

- 佐々木, 大学設置・学校法人審議会専門委員 (大学設置分科会), 文部科学省.
- 平田, 「北米放射線医学会 RSNA に出席、同時に北米放射線専門医会 ACRとの joint meeting に参加、また AFIPとの会議にも参加した。」、北米放射線医学会.
- 平田, 「韓国高麗大学およびサムスン医療センターを視察訪問し、学生の相互訪問・交流の可能性について検討した」、高麗大学・サムスン医療センター.

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職 なし

5. 公開講座・公開講演会

- 平田, 「最新放射線療法」, ファイナルステージを考える会. 福岡, 公開講座.
- 平田, 「緩和医療と放射線療法」, 福岡緩和医療研究会. 福岡, 公開講座.

6. 初等中等教育への貢献 なし

3-3. 教員の活動：検査技術科学分野

検査技術科学分野

《生体情報学》

教授	藤本 秀士
教授	大澤 進
准教授	水上 令子
講師	田代 洋行
講師	小島 夫美子
助教	外園 栄作

1. 教育活動

1. 大学院講義

アジアにおける保健学	藤本	前期
生体情報解析学 I	藤本	前期
病原情報解析学論	藤本	後期
Health Sciences in Asia	藤本	後期
臨床化学分析学論 (分担)	大澤	後期
ヘルスサイエンス論 (分担)	大澤	前期
分子生物化学検査学論 (分担)	水上	後期
生体情報解析学 II (分担)	水上	前期
臨床化学分析学論 (分担)	水上	後期

2. 大学院実験・実習 なし

3. 大学院演習

臨床化学分析学論 (分担)	大澤	後期
分子生物化学検査学論 (分担)	水上	後期
生体情報解析学 II (分担)	水上	前期
臨床化学分析学論 (分担)	水上	後期

4. 大学院修士課程修了者

野田多美枝	食品における広域スペクトラムセフェム系薬剤耐性サルモネラの増加について (Remarkable Increase in Resistance to Broad-Spectrum Cephalosporins in <i>Salmonella</i> <i>Infantis</i> Isolated from Retail Foods)
前村香里	飲酒蓄積マーカー赤血球ホスファチジルエタノールの高感度酵素的測定法の開発 (Development of high sensitive enzymatic measurement method for phosphatidylethanol in erythrocyte alcohol marker)
山本雄彬	飲酒蓄積マーカー赤血球ホスファチジルエタノールの高感度 HPLC 測定法の開発 (Development of high sensitive HPLC measurement method for phosphatidylethanol in erythrocyte alcohol marker)

5. 大学院博士課程修了者

杉本晋哉	Development of an assay of seven biochemical items, HbA1c, and hematocrit using a small amount of blood collected from the fingertip. Clin Chim Acta 2009; 413: 192-197
------	---

6. 学部講義

臨床微生物学および実習	藤本	前期
病原体学	藤本	前期
コアゼミナール	藤本	前期
臨床微生物学特論	藤本	前期
病原体学特論	藤本	後期
医療法律学Ⅱ(分担)	藤本	後期
精度管理特論	大澤	後期
医用分析装置学	大澤	前期
臨床化学Ⅰ	大澤	前期
臨床化学Ⅱ	大澤	後期
医療情報システム	大澤	後期
検査管理総論	大澤	前期
検査情報管理学	大澤	後期
遺伝子検査学(分担)	水上	前期
コアゼミナール(分担)	水上	前期
生体情報計測学(分担)	田代	前期
生理機能検査学総論Ⅰ(分担)	田代	前期
医療安全管理学(分担)	田代	後期
生理機能検査学総論Ⅱ(分担)	田代	後期
医用超音波工学(分担)	田代	前期
生体医工学(分担)	田代	前期
医療情報システム(分担)	田代	前期
医療情報処理演習(分担)	田代	前期
呼吸機能検査学(分担)	田代	前期
画像検査学(分担)	田代	前期
循環機能検査学(分担)	田代	前期
神経・筋機能検査学(分担)	田代	後期
生理機能検査学特論(分担)	田代	前期
国際感染症学	小島	前期
臨床検査総論	小島	後期
人体の構造と機能Ⅰ(分担)	小島	通年
医療法律学(分担)	小島	後期
コアゼミナール	小島	前期

7. 学部の実験・実習・演習

臨床微生物学および実習	藤本	前期
コアゼミナール	藤本	前期

臨床化学実習	大澤	後期
検査情報管理学演習	大澤	後期
遺伝子検査学実習 (分担)	大澤	後期
卒業研究 (分担)	水上	通年
自然科学総合実験 (分担)	水上	後期
遺伝子検査学実習 (分担)	水上	後期
コアゼミナール (分担)	水上	前期
生理機能検査学実習 (分担)	田代	前期
医用工学・情報概論実習 (分担)	田代	前期
医療情報処理演習 (分担)	田代	前期
超音波検査実習 (分担)	田代	後期
臨床検査総論実習	小島	前期
国際感染症学実習	小島	後期
コアセミナー	小島	前期
臨床検査総論実習	外園	前期
公衆衛生学実習	外園	前期
医用工学・情報概論実習	外園	前期
臨床化学実習	外園	後期
臨床生理学実習	外園	後期

8. 卒業論文作成者

西中村 恵輔	Campylobacter フック遺伝子flgEを使用した菌株識別の検討	Evaluation of flgE gene typing of Campylobacter jejuni by restriction fragment length polymorphism analysis.
立石 萌	cdt 遺伝子を用いた PCR-RFLP 法による集団食中毒事例の Campylobacter jejuni 菌株の識別	
野田 蓉子	鞭毛遺伝子 flaA による Campylobacter jejuni 集団食中毒疑い菌株の識別	
石橋 郁佳	糖負荷試験の検体を利用した胃粘膜検査法の開発	
稲益 綾乃	血清及び血球内 phospholipase-D 活性測定法の開発	
靱井 美里	手指採血による希釈試料中の内部標準物質の測定法の開発	
上田 佳澄	血清の抗酸化力測定による各種疾患の変化と温泉による効果	
小林 麻衣	p40 ^{phox} の PB1 ドメインの好中球における機能	
菌畑 智代	p40 ^{phox} のリン酸化と食胞膜への移行	
肥後 恵理	ヒト好中球における p47 ^{phox} の SH ドメインの機能	
上田 かさね	寒天を用いた anisaki simplex 幼虫の侵入試験	
岡山 昂	腎疾患マーカーとしての尿中 Tamm-Horsfall protein 測定法の開発	

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導

藤本 顧問 医学部保健学科 サッカークラブ

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1	感染症の遺伝子診断と分子疫学	藤本
2	病原細菌の感染機構の解明	藤本
3	バイオリスク管理教育の方法および教材の開発	藤本
4	トロポニン遺伝子の変異と家族性心筋肥大症	水上
5	食細胞 NADPH oxidase の食作用にともなう活性化機構	水上
6	人工視覚システムの開発	田代
7	超音波検査室の適切照明に関する研究	田代
8	アニサキスに関する研究	小島
9	生体試料, 特に非侵襲的に採取可能な尿を用いた新しい検査・診断法の開発	外園
10	生体試料中の酸化・還元成分が生体に及ぼす影響についての研究	外園

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

- 「基盤研究(C)」カンピロバクター腸炎の実態解明(臨床情報・菌株情報の連結による調査研究), 藤本(代表), 2,300 千円.
- 「基盤研究(C)」カンピロバクター腸炎の実態解明(臨床情報・菌株情報の連結による調査研究), 小島(分担), 100 千円.
- 「研究成果公開促進費」生体試料中の酸化・還元物質の影響を受けにくい超微量高感度検出法の開発, 外園(分担), 850 千円.

3. 奨学寄附金の受入れ

- 「寄付金/生化学自動分析装置の開発」日立ハイテクノロジーズ, 大澤, 300 千円.

4. その他の外部研究資金の受入れ

- 「厚生労働科学研究費補助金(新興・再興感染症研究推進事業)国際的なバイオリスク管理の基準に基づく病原体取扱いと管理のモデル総合システムの構築と検証に関する研究」藤本(分担), 27, 636 千円(研究代表者一括計上).
- 「(株)ニデック 人工視覚システムの開発 in vivo 動物実験による生体安全性の追求」田代, 21,000 千円.
- 「ヤマギワ(株), (株)コメディカル 超音波検査室に於ける最適な照明環境の研究」田代, 210 千円.
- 「(株)ニデック 人工視覚システムの開発-in vivo 動物実験による生体安全性の追求 STS方式人工視覚システムの刺激電極の性能改善及び, 次世代の人工視覚システムに適用する電気刺激デバイスと生体とのインターフェースに関する基礎研究」田代, 3,675 千円.

5. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- Tamie Noda, Koichi Murakami, Tetsuo Asai, Yoshiki Etoh, Tomoe Ishihara, Toshiro Kuroki, Kazumi Horikawa, Shuji Fujimoto.: Multi-locus sequence typing of *Salmonella enterica* subsp. *enterica* serovar *Enteritidis* strains in Japan between 1973 and 2004., *Acta Veterinaria Scandinavica*, , 2011 年 07 月. (査読あり)
- Hokazono E., Tamezane H., Hotta T., Kayamori Y. and Osawa S. : Enzymatic Assay of Phosphatidylethanolamine in Serum using Amine Oxidase from *Arthrobacter* sp., *Clinica Chimica Acta*, , 2011 年 07 月. (査読あり)
- Sugimoto S., Akimoto M., Hayakawa A., Hokazono E. and Osawa Susumu: Development of an assay of seven biochemical items, HbA1c, and hematocrit using a small amount of blood collected from the fingertip, *Clinica Chimica Acta*, , 2012 年 01 月. (査読あり)

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Shuji Fujimoto, Fumiko Kojima, Yukiko Harada, Shoji Higashida, Mika Shigematsu.: Molecular epidemiological analysis of *Campylobacter* infection in Fukuoka, Japan., IUMS 2011 (International Union of Microbiological Societies), 2011年09月09日, Japan.
- Koichi Murakami, Tamie Noda, Daisuke Onozuka, Yoshiki Etoh, Hidetoshi Nagano, Shigeyuki Takenaka, Kazumi Horikawa, and Shuji Fujimoto.: Incidence of *Salmonella* contamination in shops selling chicken meat in Fukuoka Prefecture., IUMS 2011 (International Union of Microbiological Societies), 2011年09月07日, Japan.
- Tamie Noda, Koichi Murakami, Yoshiki Etoh, Kazumi Horikawa, Masaru Usui, Tetsuo Asai, Jun Yatsuyanagi, Masanori watahiki, Yoshichika Arakawa, and Shuji Fujimoto.: Remarkable increase in resistance to broad-spectrum cephalosporins in *Salmonella* *Infantis* isolated from retail foods., IUMS 2011 (International Union of Microbiological Societies), 2011年09月09日, Japan.
- Toshihiko Noda, Takasuke Ito, Takuya Kitao, Yasuo Terasawa, Hiroyuki Tashiro, Hiroyuki Kanda, Kiyotaka Sasagawa, Takashi Tokuda, Takashi Fujikado, Jun Ohta: Fabrication of CMOS Based Flexible Retinal Stimulator With Bullet-shaped Platinum Electrodes, The 2011 Association for Research in Vision and Ophthalmology (ARVO) Annual Meeting, 2011年05月04日, United States of America.
- Yasuo Terasawa, Hiroyuki Tashiro, Koji Osawa, Motoki Ozawa, Toshihiko Noda, Jun Ohta: Fabrication of an Electrode Array with Thick Film Platinum Wire Using Laser Micromachining, The 2011 Association for Research in Vision and Ophthalmology (ARVO) Annual Meeting, 2011年05月04日, United States of America.
- Hiroyuki Tashiro, Yasuo Terasawa, Masayuki Shinomiya, Motoki Ozawa, Toshihiko Noda, Jun Ohta: Long-term Suprachoroidal-transretinal Stimulation By The Bullet-shaped Platinum Electrodes In Normal Rabbits, The 2011 Association for Research in Vision and Ophthalmology (ARVO) Annual Meeting, 2011年05月04日, United States of America.
- Toshihiko Noda, Takuya Kitao, Takasuke Ito, Kiyotaka Sasagawa, Takashi Tokuda, Yasuo Terasawa, Hiroyuki Tashiro, Hiroyuki Kanda, Takashi Fujikado, Jun Ohta: Fabrication of a flexible neural interface device with CMOS-based smart electrodes, 19th IFIP/IEEE International Conference on Very Large Scale Integration VLSI-SoC, 2011年10月03日, Japan.
- Takashi Tokuda, Takasuke Ito, Takuya Kitao, Toshihiko Noda, Kiyotaka Sasagawa, Yasuo Terasawa, Hiroyuki Tashiro, Hiroyuki Kanda, Takashi Fujikado, Jun Ohta: CMOS-based smart-electrode-type retinal stimulator with bullet-shaped bulk Pt electrodes, Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society (EMBC2011), 2011年09月01日, United States of America.
- Fumiko Kojima, Satoshi Toki, Shuji Fujimoto: Negative Stain is Useful for The Rapid Detection of Helminth Eggs in Clinical Fecal Specimens, International Union of Microbiological Societies 2011, 2011年09月09日, Japan.
- Shuji Fujimoto, Fumiko Kojima, Mika Shigematsu: *Campylobacter* outbreak at a skewered grilled chicken restaurant in Fukuoka, Japan, 16th International Workshop on *Campylobacter*, *Helicobacter* & Related Organisms, 2011年08月30日, Canada.
- S.Osawa, S.Sugimoto, E.Hokazono, A.Hayakawa, K.Maemura, K.Yamamoto: The measuring system of the biochemical test by a very small amount blood collecting of a fingertip, American Association for Clinical Chemistry, 2011年05月17日, Germany.

c. 大学・研究機関などの刊行誌

d. 調査研究報告

- 藤本秀士, 重松美加, 小島夫美子: 大学院におけるバイオリスク管理教育コースの学習効果 (厚生労働科学研究費補助金 (新興・再興感染症研究推進事業) 分担研究報告書), 2012年03月.
- 藤本秀士, 重松美加, 小島夫美子: 国際的なバイオリスク管理基準による病原体取扱い基本実験室モデルプランの試作 (厚生労働科学研究費補助金 (新興・再興感染症研究推進事業) 分担研究報告書), 2012年03月.
- 藤本秀士, 重松美加, 小島夫美子: 大学院におけるバイオリスク管理教育コースの学習効果 (厚生労働科学研究費補助金 (新興・再興感染症研究推進事業) 分担研究報告書), 2012年03月.
- 藤本秀士, 重松美加, 小島夫美子: 国際的なバイオリスク管理基準による病原体取扱い基本実験室モデルプランの試作 (厚生労働科学研究費補助金 (新興・再興感染症研究推進事業) 分担研究報告書), 2012年03月.

e. 国内学会での講演, 発表

- 村上光一, 江藤良樹, 竹中重幸, 堀川和美, 八柳潤, 綿引正則, 野田多美枝, 藤本秀士, 荒川宜親: ヒトから分離されたサルモネラの広域スペクトル・セフェム系薬剤耐性試験の陰性結果について, 第70回日本公衆衛生学会総会, 2011年10月20日, 秋田県民会館ほか.
- 藤本秀士, 小島夫美子: 福岡地市内の飲食店で発生したカンピロバクター食中毒の1事例: アンケート調査と菌株解析, 第23回日本臨床微生物学会総会, 2012年01月21日, 横浜.
- 小島夫美子, 藤本秀士: 電子版寄生虫卵アトラスの感染症教育における有用性, 第85回日本感染症学会, 2011年04月21日, 東京.
- 小島夫美子, 藤本秀士: 寄生虫学教育における電子版寄生虫卵アトラスの有用性, 第80回日本寄生虫学会・第22回日本臨床寄生虫学会大会, 2011年07月18日, 東京慈恵会医科大学.
- 小島夫美子, 藤本秀士: 寄生虫学実習における電子版虫卵アトラスの教育的効果, 第23回日本臨床微生物学会, 2012年01月22日, パシフィコ横浜.
- 外園 栄作, 大澤 進, 篠原 克幸, 石原 宏朗, 早原 千恵, 中島 久美子, 青木 義政, 長迫 哲朗: 福岡県臨床衛生検査技師会における後進技師育成プログラムについて, 日本医学検査学会, 2011年06月04日, 東京.
- 秋本 卓, 立石彩, 三宅美穂, 杉本晋, 外園栄作, 大澤 進: 希釈血液試料を用いた内部標準希釈法による血球数算定の試み, 臨床化学会, 2011年08月27日, 札幌.
- 杉本晋哉, 秋山 卓, 外園栄作, 早川 彰, 大澤 進: 手指採血による内部標準添加希釈血漿を用いた生化学検査とヘマトクリット値の測定, 臨床化学会, 2011年08月27日, 札幌.
- 太田 英里, 磯部 厚志, 瀬戸 眞奈美, 前村 香里, 山本 雄彬, 外園 栄作, 大澤 進: 血中 Ethanolamine の酵素的測定法の開発とその臨床的有用性の検討, 日本臨床化学会九州支部総会・日本臨床検査医学会九州地方会, 2012年02月11日, 福岡.
- 外園 栄作, 為實 秀人, 太田 英里, 瀬戸 眞奈美, 前村 香里, 山本 雄彬, 大澤 進: 血清 Phosphatidylethanolamine の酵素的測定法の開発とその臨床的有用性の検討, 生物試料分析科学会, 2012年03月11日, 福岡.
- 瀬戸 眞奈美, 外園 栄作, 大澤 進: 尿中超微量サルコシンの高感度酵素的測定法の開発, 生物試料分析科学会, 2012年03月11日, 福岡.
- 上田 佳澄, 外園 栄作, 大澤 進: 血清中抗酸化力測定法の開発と各疾患での抗酸化力の比較, 生物試料分析科学会, 2012年03月11日, 福岡.
- 石橋 郁佳, 外園 栄作, 大澤 進: 糖負荷試験を利用した胃粘膜検査法の開発, 生物試料分析科学会, 2012年03月11日, 福岡.
- 前村 香里, 山本 雄彬, 外園 栄作, 大澤 進: 飲酒常習度評価を目的とした新規アルコールマーカークのホスファチジルエタノール(PEth)の高感度酵素的測定法の開発, 生物試料分析科学会, 2012年03月11日, 福岡.

- 山本 雄彬, 前村 香里, 外園 栄作, 大澤 進: 飲酒常習度評価を目的とした新規アルコールマーカのホスファチジルエタノール(PEth)の HPLC を用いたポストカラム酵素検出法の開発, 生物試料分析科学会, 2012 年 03 月 11 日, 福岡.
- 稲益 綾乃, 外園 栄作, 大澤 進: 血球内 phospholipase D 活性の測定, 生物試料分析科学会, 2012 年 03 月 11 日, 福岡.
- 榎井 美里, 外園 栄作, 大澤 進: 手指採血による希釈試料中の生体成分測定における内部標準物質の測定法開発, 生物試料分析科学会, 2012 年 03 月 11 日, 福岡.
- 杉本 晋哉, 立石 彩, 三宅 美穂, 秋本 卓, 外園 栄作, 大澤 進: 2つの内部標準希釈法を用いた生化学項目とヘマトクリットの測定, 生物試料分析科学会, 2012 年 03 月 11 日, 福岡.
- 秋本 卓, 外園 栄作, 大澤 進: 酵素サイクリングを検出系とした高感度酵素免疫測定法の開発, 生物試料分析科学会, 2012 年 03 月 11 日, 福岡.

著作

a. 単行本

- 藤本 秀士 他75名: (共著) 病原菌の今日的意味 改訂4版 第25章 カンピロバクター(genus Campylobacter), 2011 年 11 月, 医薬ジャーナル社.

b. 総説

c. 解説, 書評など

- 松浦陽子, 田代洋行: 超音波検査のモニター調節, 検査と技術 Vol.39, No.7, 2011 年 07 月.

受賞

- 外園, 平成 23 年度がん研究助成金 入賞, 財団法人福岡県すこやか健康事業団, 2011 年 12 月.

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 田代, 人工視覚システムの開発 in vivo 動物実験による生体安全性の追求, (株)ニデック, 2008 年 04 月~2012 年 02 月.
- 田代, 超音波検査室に於ける最適な照明環境の研究, ヤマギワ(株), (株)コメディカル, 2011 年 04 月~2012 年 03 月.
- 田代, 人工視覚システムの開発—in vivo 動物実験による生体安全性の追求 STS方式人工視覚システムの刺激電極の性能改善及び, 次世代の人工視覚システムに適用する電気刺激デバイスと生体とのインターフェースに関する基礎研究, (株)ニデック, 2012 年 03 月~2013 年 02 月.
- 外園, エタノールアミンの酵素的測定法の確立, 旭化成ファーマ株式会社, 2006 年 04 月~.
- 外園, 遊離コリンの酵素的測定法の確立, 旭化成ファーマ株式会社, 2006 年 04 月~.

2. 取得特許

- 液体試料中のアルブミンを測定するための液状試薬, 小坂 秀子 坂本 久 外園 栄作 笹野 善愛 大澤 進, 特許第 4733595 号.
- 液体試料の総蛋白質を測定するための液状試薬, 小坂 秀子 坂本 久 外園 栄作 笹野 善愛 大澤 進, 特許第 4733596 号.

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 藤本, American Biosafety Association Preconference & Conference (United States of America), 国際会議, 2011 年 10 月~2011 年 10 月 (2 週間未満).
- 藤本, CHRO2011 (Canada), 国際会議, 2011 年 09 月~2011 年 09 月 (2 週間未満).
- 大澤, IFCC-WorldLab EuromedLab Berlin International Congress Centrum (Germany), 国際会議, 2011 年 05 月~2011 年 05 月 (2 週間未満).

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 藤本, 医療系統合教育研究センター 副センター長.
- 藤本, 研究用微生物安全管理委員会 委員.

2. 部局委員 なし

3. 部門・コース内委員

- 藤本, 教務委員会 委員.
- 小島, 教務委員会 委員
- 外園, FD 委員会 委員

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 藤本, 第一薬科大学, 非常勤講師.
- 小島, 福岡医科歯科技術専門学校・臨床工学士科, 非常勤講師.

2. 学協会

- 藤本, 日本感染症学会, 評議員, 国内
- 大澤, 日本臨床検査自動化学会, 理事 (監事, 編集幹事), 国内.
- 田代, 日本生体医工学会九州支部, 評議員, 国内
- 外園, 日本臨床検査同学院, 九州地区実務委員, 学術団体, 国内.
- 外園, 健康食品管理士会九州支部, 幹事, 国内.
- 外園, 生物試料分析科学会, 評議員, 国内.
- 外園, 日本臨床検査自動化学会, 運営委員, 国内.

3. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 藤本, 「コンサルタント (株) 日立ハイテクノロジーズ 研究開発本部」, , 2011-08-01 .
- 小島, 「大学内保育園における評議委員」, , 2011-01-01 .
- 小島, 「福岡県臨床検査技師会福岡市支部主催一般検査勉強会の講師として講演 テーマ:国内における寄生虫感染の現状」, , 2011-01-01 .

4. 公開講座・公開講演会

- 藤本, 「第 343 回福岡東部地区小児科医会セミナー/「耐性菌を知る!」」, 福岡東部地区小児科医会. 福岡東医療センター 2F 会議室, セミナー・研修会.

検査技術科学分野

《病態情報学》

教授	梅村 創
教授	永淵 正法
教授	杉島 節夫
准教授	田宮 貞史
准教授	長山 淳哉
講師	勝田 仁
助教	栗崎 宏憲
助教	渡邊 壽美子

1. 教育活動

1. 大学院講義

ヘルスサイエンス論	梅村	前期
血液機能検査学論	梅村	前期
代謝内分泌病態検査学論 (分担)	勝田	後期

2. 大学院修士課程修了者

田中 由香	赤芽球造血における microRNA-451 に関する研究(Analysis of microRNA-451 in erythropoiesis)
甲斐 裕次	マウスにおけるウイルス誘発糖尿病感受性遺伝子の検討(Susceptibility Gene to Virus-induced Diabetes in mice)
小田 淑恵	TNF- α により活性化されるNF- κ B経路は, ヒト単球由来樹状細胞において成熟とは独立してAIRE Δ i0遺伝子発現を制御する (Nuclear factor- κ B pathway activated by tumor necrosis factor- α regulates autoimmune regulator(AIRE Δ i0) gene expression in human monocyte-derived dendritic cells independent of their maturation.)
鎌田 祐美	ヒト1型糖尿病患者におけるTYK2 遺伝子多型の意義 (The analysis of the human TYK2 gene polymorphism in patients with Type1 diabetes mellitus)
上原 俊貴	膵液・膵管擦過細胞診における intraductal papillary-mucinous neoplasms の細胞学的検討(Cytological study of intraductal papillary-mucinous neoplasms in pancreatic juice and brush cytology)
釣本美沙貴	Triple Negative 乳癌の形態学的特徴(Morphological characteristics of Triple Negative Breast Cancer)
渡辺英理子	体腔液細胞診における悪性中皮腫、腺癌、反応性中皮の細胞像の数量的検討 (Quantitative Study of Cytomorphologic Characteristics of Malignant Mesothelioma, Adenocarcinoma and Reactive Mesothelia in Effusion Fluid Cytology)

3. 学部講義

血液検査学	梅村	後期
医学総論 I・II	梅村	前期
輸血検査学	梅村	前期
遺伝子工学	梅村	後期

医療法律検査学特論 (分担)	杉島	後期
コアセミナー (分担)	杉島	前期
細胞生物学	杉島	前期
病理組織細胞学	杉島	後期
病理学総論 (分担)	田宮	前期
コアセミナー (分担)	田宮	前期
医療法律検査学特論 (分担)	長山	後期
公衆衛生学 I	長山	前期
公衆衛生学 II	長山	後期
環境保健学	長山	前期
遺伝子検査学 (分担)	勝田	前期
医学総論 I (分担)	勝田	前期
コアセミナー(臨床検査概論) (分担)	勝田	前期
医学総論 II (分担)	勝田	前期
医療法律検査学特論 (分担)	勝田	後期
生化学総論	勝田	前期
生化学各論	勝田	後期
検査情報管理学	勝田	後期
検査情報管理学演習	勝田	後期

4. 学部の実験・実習・演習

血液検査学実習	梅村	後期
遺伝子検査学実習	梅村	後期
病理組織細胞学実習 I	杉島	後期
病理組織細胞学実習 II	杉島	前期
コアセミナー (分担)	田宮	前期
病理組織細胞学実習 II	田宮	前期
公衆衛生学実習	長山	前期
卒業研究 (分担)	勝田	前期
検査情報管理学演習	勝田	後期
生化学実習	勝田	前期
臨床微生物学および実習	栗崎	前期
生化学実習	栗崎	前期
臨床免疫学実習	栗崎	後期
遺伝子検査学実習	栗崎	後期
国際感染症学実習	栗崎	後期
解剖学実習	渡邊	前期
病理組織細胞学実習 II	渡邊	前期
血液学実習	渡邊	後期
病理学実習	渡邊	後期
病理組織学実習 I	渡邊	後期

5. 卒業論文作成者

榎本 麻里	血漿脂質結合性 microRNA の研究
黒木 千恵理	血漿 microRNA の安定性に関する研究
田島 将太郎	赤血球内 microRNA の生物活性
山川 ちひろ	溶血性貧血症例の血漿 microRNA 解析
三根 敬一郎	ウイルス糖尿病への感受性に関する Tyk2 遺伝子の意義
甲斐 克也	ウイルス誘発糖尿病における膵 β 細胞での Tyk2 遺伝子発現の意義
森田 賢史	マウス末梢リンパ球における Aire 発現検討
梶橋 大輔	自己免疫性膵炎患者における血清中自己抗体の検索
馬場崎 翔	甲状腺穿刺吸引細胞診による濾胞癌と濾胞腺腫の鑑別 一定量の変動の有用性の検討
	—
福本 遙佳	非浸潤性乳管癌と浸潤性乳管癌の細胞学的特徴についての比較検討
鶴野 由華	乳腺穿刺吸引細胞診におけるスコアリングシステムの検討
湯田 翔子	細胞診における軟部紡錘型細胞腫瘍の鑑別に有用な所見の検討
林田 涼	浸潤性膵管癌の膵液細胞診と穿刺吸引細胞における細胞像の比較検討
金谷 直哉	初回細胞診で出現した子宮頸部異形成の細胞像と予後との関連性
下門 春菜	エタノール・ヘキササン法による血清からの脂質抽出に関する研究
斎藤 智治	クロロホルム・メタノール法による血清の脂質抽出に関する研究
田中 宏和	エーテル法による血清からの脂質抽出に関する研究
波野 真伍	新規開発細胞培養用ディッシュを用いたヒト iPS 細胞のフィーダーフリー培養法の開発
平尾 真依	膵 β 前駆細胞の同定および検定法の開発
山田 麻未	リステリア感染マウスにおける免疫応答への Aire 遺伝子の意義
荻野 綾子	二核細胞の出現に関する検討～培養細胞を用いて～

2. 学生支援活動

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1 造血機能の遺伝子解析法の開発	梅村
2 microRNA による造血調節機構の解析	梅村
3 ヒト正常造血の分子機構	梅村
4 回復期造血における赤芽球系造血に関する研究	梅村
5 ウイルス誘発糖尿病	永淵
6 AIRE 遺伝子の発現調節と機能	永淵
7 1型糖尿病感受性遺伝子研究	永淵
8 細胞および組織形態の客観的評価法について	田宮
9 臍帯を用いた研究	長山
10 有害物質の化学分析法に関する研究	長山
11 カネミ油症に関する研究	長山
12 膵島再生機構の解明と糖尿病再生医療の確立	勝田
13 自己免疫調節遺伝子の機能解析	栗崎
14 癌細胞における細胞形態学	渡邊

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

- 「挑戦的萌芽研究」AIRE研究を基盤にしたB細胞による1型糖尿病発症制御機構の解明，永淵（代表），900 千円.
- 「基盤研究(C)」膵SP細胞を用いた膵 β 細胞再生法の開発，勝田（代表），1,700 千円.
- 「基盤研究(C)」子宮頸部扁平上皮癌およびLSIL・HSIL・ASCの核クロマチン分布の定量的解析，渡邊（分担），4,993 千円.

3. その他の外部研究資金の受入れ

- 日本学術振興会，若手研究者招聘事業～東アジア首脳会議参加国からの招聘～東アジアサラセミア研究ネットワークとの連携による若手研究者育成プログラム（コーディネータ：梅村 創）平成 23 年 7 月 14 日～平成 23 年 12 月 31 日，10,000 千円
- 「川村理化学研究所 ヒト iPS 細胞の再生医療への臨床応用に向けた新規培養システムの開発／iPS 細胞が開発され再生医療への応用研究が急速に進歩している。しかし，iPS 細胞を多分化能を維持した状態で培養するためには，線維芽細胞などのフィーダー細胞上で培養する必要があり，臨床応用に向けた大きな障害の一つとなっている。我々は，企業と共同で特殊なナノ粒子をコートした新規培養ディッシュを新たに作製し，フィーダー細胞を用いずにヒト iPS 細胞を培養するシステムを開発している。」勝田，500 千円.

4. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- 梅村 創，臨床検査技師教育の国際ネットワーク，日本検査血液学会雑誌 2011 12(3) 428-434，（査読あり）
- 仲正喜，大久保文彦，渡辺寿美子，田宮貞史，加来恒壽，杉島節夫，山元英崇，小林裕明，小田義直.：子宮頸部細胞診における fiber cell の意義，*日本臨床細胞学会雑誌*. VOL.50 :P209～P213, 2011, 2011 年 07 月.（査読あり）
- 仲正喜，大久保文彦，杉島節夫，相島慎一，田宮貞史，麻生暁，板場壮一，高島俊一，田中雅夫，小田義直.：EUS-FNA で悪性内分泌腫瘍を疑った膵腺房細胞癌の一例，*日本臨床細胞学会九州連合会雑誌*. VOL.42 :P41～P46, 2011, 2011 年 08 月.（査読あり）
- 大久保文彦，清松桂子，仲正喜，杉島節夫，相島慎一，麻生暁，板場壮一，久保宏明，中村雅史，高島俊一，田中雅夫，小田義直.：膵腫瘍に対する超音波内視鏡下穿刺吸引細胞診（EUS-FNAC）の検討，*日本臨床細胞学会九州連合会雑誌*.VOL.42 :P47～P53, 2011, 2011 年 08 月.（査読あり）
- 長山淳哉，戸高尊，平川博仙，堀就英，梶原淳睦，吉村健清：胎児性油症原因物質の時系列的濃度変化—PCDDs と PCDFs—，*福岡医学雑誌*，102: 109-115, 2011 年 04 月.（査読あり）
- 長山淳哉，戸高尊，平川博仙，堀就英，梶原淳睦，吉村健清：胎児性油症関連物質の時系列的濃度変化—ダイオキシン様 PCBs と PCBs—，*福岡医学雑誌*，102: 116-122, 2011 年 04 月.（査読あり）
- 長山淳哉，戸高尊，平川博仙，梶原淳睦，飯田隆雄，柴田智子，辻博，岩崎輝明：玄米発酵食品による油症原因物質の体外排泄促進，*福岡医学雑誌*，102: 123-129, 2011 年 04 月.（査読あり）
- Ryotaro Jingu, Masafumi Ohki, Sumiko Watanabe, Sadafumi Tamiya, Setsuo Sugishima, Tsunehisa Kaku: Quantitative Image Analysis of Nuclear Chromatin Distribution for Cytological Diagnosis, *Acta Cytologica*, 2011 年 10 月.（査読あり）
- Hitoshi KATSUTA: Systemic origins of hepatic origin regulates pancreatic beta cell mass in animals resistant to insulin, *DIABETES & METABOLISM*, 2012 年 03 月.（査読あり）

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Nagayama J, Nabetani Y, Nakamura H, Masuda A, Hirakawa H and Kajiwara J: Comparison of lipid extraction from the formula milk by four different methods, 31th International Symposium on Halogenated Persistent Organic Pollutants, 2011 年 08 月 01 日, Belgium.
- Nagayama J, Irifune H, Tanaka M, Matsumoto N, Hirakawa H, Kajiwara J, iida T, Tsuji H and Fukushige J: Discrepancies in effects of organochlorine compounds in concentrations on whole and lipid weight bases on human health and importance of lipid extraction, 31th

International Symposium on Halogenated Persistent Organic Pollutants, 2011年08月01日, Belgium.

c. 国内学会での講演, 発表

- 梅村 創: シンポジウム4(日本臨床検査学教育学会共催): 臨床検査技術開発に求められる大学院教育のあり方, 「大学院における臨床検査技術教育 - microRNA 研究の経験から -」, 第57回日本臨床検査医学会集会, 2011年05月01日, 東京.
- 田中 由香, 梅村 創. 溶血バイオマーカーとしての血漿 microRNA-451 の基礎的解析. 検査血液学会総会, 平成23年7月18日, 川崎医療福祉大学, 倉敷
- Amporn Leecharoenkiat, Yuka Tanaka, Porntip Chaichompoo, Orawan Sarakul, Yasunobu Abe, Duncan Richard Smith, Saovaros Svasti, Suthat Fucharoen, Tsukuru Umemura. Plasma miR-451 as new biomarkers for ineffective erythropoiesis in β -thalassemia/HbE. 第73回日本血液学会総会, 2011年10月19-21, 京都国際会議場.
- 寺戸芳信, 大久保文彦, 杉島節夫, 白羽根健吾, 平橋美奈子, 山元英崇, 小田義直: 診断に苦慮した乳腺嚢胞内アポクリン癌の一例, 第22回日本臨床細胞学会福岡県支部学術集会, 2011年11月21日, 福岡市.
- 大久保文彦, 清松桂子, 仲正喜, 野上美和子, 杉島節夫, 相島慎一, 田宮貞史, 伊藤鉄英, 田中雅夫, 小田義直: 臍細胞診における検体採取と処理の工夫, 第52回日本臨床細胞学会総会, 2011年05月21日, 福岡市.
- 渡邊英理子, 渡邊寿美子, 田宮貞史, 西村和徳, 鷺山和幸, 金城満, 加来恒壽, 横山正俊, 岩坂剛, 杉島節夫: Pap 染色における核所見と核 DNA 量の比較検討, 第52回日本臨床細胞学会総会, 2011年05月21日, 福岡市.
- 山口将太, 渡邊寿美子, 金城満, 鷺山和幸, 坂梨史典, 田宮貞史, 神宮綾多郎, 大喜雅文, 加来恒壽, 杉島節夫: 膀胱注入療法に伴う核クロマチン分布の経時的変化 -RD 値とPCM 分類の比較検討-, 第52回日本臨床細胞学会総会, 2011年05月21日, 福岡市.
- 釣本美沙貴, 渡邊寿美子, 田宮貞史, 西村和徳, 鷺山和幸, 金城満, 加来恒壽, 横山正俊, 岩坂剛, 杉島節夫: 細胞培養を用いた核 DNA ロケーションと Pap 染色性の比較検討, 第52回日本臨床細胞学会総会, 2011年05月21日, 福岡市.
- 仲正喜, 大久保文彦, 渡邊寿美子, 田宮貞史, 加来恒壽, 杉島節夫, 山元英崇, 小林裕明, 和氣徳夫, 小田義直: 子宮頸部軽度異形成の経過観察における SL 細胞の意義, 第52回日本臨床細胞学会総会, 2011年05月21日, 福岡市.
- 西野彩, 渡邊寿美子, 田宮貞史, 加来恒壽, 小田義直, 小林裕明, 和氣徳夫, 大喜雅文, 杉島節夫: 子宮頸部扁平上皮系病変における RD 法の有用性の検討, 第52回日本臨床細胞学会総会, 2011年05月21日, 福岡市.
- 西村和徳, 渡邊寿美子, 田宮貞史, 加来恒壽, 大久保文彦, 小田義直, 小林裕明, 和氣徳夫, 岩坂剛, 杉島節夫: 二核細胞の形成機序と子宮頸部腺系病変での臨床的意義についての検討, 第52回日本臨床細胞学会総会, 2011年05月21日, 福岡市.
- 上原俊貴, 渡邊寿美子, 田宮貞史, 西村和徳, 加来恒壽, 中尾圭史, 横山正俊, 岩坂剛, 杉島節夫: 細胞周期から見た核クロマチン分布の検討, 第52回日本臨床細胞学会総会, 2011年05月21日, 福岡市.
- 釣本美沙貴, 田宮貞史, 渡邊寿美子, 白羽根健吾, 徳永えり子, 大久保文彦, 山本英崇, 小田義直, 杉島節夫: Triple Negative 乳癌の細胞学的特徴, 第50回日本臨床細胞学会秋期大会, 2011年10月22日, 東京都.
- 渡邊英理子, 田宮貞史, 渡邊寿美子, 大久保文彦, 小田義直, 杉島節夫: 体腔液細胞診における悪性中皮腫と腺癌の形態的特徴, 第50回日本臨床細胞学会秋期大会, 2011年10月22日, 東京都.
- 遠峰由希恵, 加来恒壽, 田宮貞史, 渡邊寿美子, 杉島節夫, 小林裕明, 小田義直: 扁平上皮化生に注目した子宮内膜癌における同一症例の細胞像と組織像の比較検討, 第50回日本臨床細胞学会秋期大会, 2011年10月22日, 東京都.

- 寺戸信芳, 仲 正喜, 野上美和子, 大久保文彦, 杉島節夫, 秋吉清百合, 山本英崇, 田宮貞史, 小田義直: アポクリン分化を伴った多形型非浸潤性小葉癌の一例, 第 50 回日本臨床細胞学会秋期大会, 2011 年 10 月 22 日, 東京都.
- 上原俊貴, 大久保文彦, 田宮貞史, 渡邊寿美子, 田中雅夫, 伊藤鉄英, 相島慎一, 小田義直, 杉島節夫: 腭液・擦過細胞診標本における IPMN の細胞学的検討, 第 50 回日本臨床細胞学会秋期大会, 2011 年 10 月 22 日, 東京都.
- 勝田 仁: 20 年以上インスリン分泌能が維持され膵 β 細胞の*再生の可能性が示唆された 1 型糖尿病の 1 例, 第 49 回日本糖尿病学会九州地方会, 2011 年 10 月 14 日, アクロス福岡, 福岡市.
- 勝田 仁: C 型慢性肝炎に対するインターフェロン (IFN) /リバビリン (RBV) 療法開始後インスリン必要量が著減した 2 型糖尿病 の 1 例, 第 296 回日本内科学会九州地方会, 2012 年 01 月 28 日, 福岡市.
- 栗崎宏憲, 松尾友仁, 小田淑恵, 勝田仁, 光山正雄, 永淵正法: Aire 欠損マウスへの *Listeria monocytogenes*, *Candida albicans* の感染実験, 第 81 回日本感染症学会西日本地方会学術集会, 2011 年 10 月 07 日, 北九州国際会議場. (公開)
- 松尾友仁, 進藤美恵子, 小田淑恵, 栗崎宏憲, 勝田仁, 永淵正法: C 末端 12 ペプチドアフィニティー精製抗 AIRE 抗体を用いた Westernblotting 法による AIRE 蛋白の発現解析, 第 81 回日本感染症学会西日本地方会学術集会, 2011 年 10 月 07 日, 北九州国際会議場.
- 西村和徳, 渡辺寿美子, 田宮貞史, 加未恒壽, 大久保文彦, 山元英崇, 小林裕明, 和氣徳夫, 岩坂剛, 杉島節夫: 2核細胞の形成機序と子宮頸部腺系病変での臨床的意義についての検討, 第 52 回日本臨床細胞学会(春期大会), 2011 年 05 月 22 日, 福岡国際会議場.
- 上原俊貴, 渡辺寿美子, 田宮貞史, 西村和徳, 加未恒壽, 中尾佳史, 横山正俊, 岩坂剛, 杉島節夫: 細胞周期からみた核クロマチン分布の検討, 第 52 回日本臨床細胞学会(春期大会), 2011 年 05 月 22 日, 福岡国際会議場.
- 釣本美沙貴, 渡辺寿美子, 田宮貞史, 西村和徳, 鷺山和幸, 金城満, 加未恒壽, 横山正俊, 岩坂剛, 杉島節夫: 培養細胞を用いた核 DNA ロケーションと Pap 染色性の比較検討, 第 52 回日本臨床細胞学会(春期大会), 2011 年 05 月 21 日, 福岡国際会議場.
- 渡邊英理子, 渡辺寿美子, 田宮貞史, 西村和徳, 鷺山和幸, 金城満, 加未恒壽, 横山正俊, 岩坂剛, 杉島節夫: Pap 染色における核所見と核 DNA 量との比較検討, 第 52 回日本臨床細胞学会(春期大会), 2011 年 05 月 21 日, 福岡国際会議場.
- 山口将太, 渡辺寿美子, 金城満, 鷺山和幸, 坂梨史典, 田宮貞史, 神宮綾多郎, 大喜雅文, 加未恒壽, 杉島節夫: 膀胱注入療法に伴う核クロマチン分布の経時的変化-RD 値と PMC 分類の比較検討-, 第 52 回日本臨床細胞学会(春期大会), 2011 年 05 月 21 日, 福岡国際会議場.
- 西野彩, 渡辺寿美子, 田宮貞史, 加未恒壽, 神宮綾多郎, 大久保文彦, 小林裕明, 和氣徳夫, 大喜雅文, 杉島節夫: 子宮頸部扁平上皮系病変における RD 法の有用性の検討, 第 52 回日本臨床細胞学会(春期大会), 2011 年 05 月 22 日, 福岡国際会議場.
- 遠峰由希恵, 加未恒壽, 渡辺寿美子, 田宮貞史, 杉島節夫, 小林裕明, 小田義直: 子宮内膜癌における同一症例の細胞像と組織像の比較検討-化生細胞に注目して-, 第 52 回日本臨床細胞学会(春期大会), 2011 年 05 月 21 日, 福岡国際会議場.
- 渡辺寿美子, 加未恒壽, 田宮貞史, 鷺山和幸, 金城満, 杉島節夫, 小林裕明, 中尾佳史, 横山正俊, 岩坂剛: 細胞周期からみた核クロマチンの意義-臨床検体への応用を目指して-, 第 52 回日本臨床細胞学会(春期大会), 2011 年 05 月 22 日, 福岡国際会議場.

著作

a. 単行本

- 西国広, 大田喜孝, 及川洋恵, 杉島節夫, 小牧誠, 阿南健一: (共著) 細胞診のすすめ方 第3版, 2012年03月, 近代出版.

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 勝田, ヒトiPS細胞の再生医療への臨床応用に向けた新規培養システムの開発/iPS細胞が開発され再生医療への応用研究が急速に進歩している. しかし, iPS細胞を多分化能を維持した状態で培養するためには, 線維芽細胞などのフィーダー細胞上で培養する必要があり, 臨床応用に向けた大きな障害の一つとなっている. 我々は, 企業と共同で特殊なナノ粒子をコートした新規培養ディッシュを新たに作製し, フィーダー細胞を用いずにヒトiPS細胞を培養するシステムを開発している. 川村理化学研究所, 2009年09月~2012年03月.

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 渡邊, マレーシアプトラ大学医学・保健学(Malaysia), 大学・研究所訪問, 2012年02月~2012年02月(2週間未満).

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 長山, 環境保全委員.

2. 部局委員

- 長山, 環境保全管理委員.
- 勝田, 高度先端医療センター 百人部会・委員.
- 勝田, アイソトープ総合センター病院地区実験室・RI 連絡員.

3. 部門・コース内委員

- 杉島, 検査技術科学分野 分野長.
- 田宮, 広報委員.
- 勝田, 地域国際連携推進委員会・委員.
- 渡邊, FD 委員会.

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 長山, 福岡工業大学・生命環境科学科, 非常勤講師.
- 渡邊, 福岡県立大学 看護学部, 非常勤講師.

2. 学協会

- 永淵, 日本臨床ウイルス学会, 幹事(常任幹事), 国内.
- 永淵, 第10回1型糖尿病研究会, 会長, 国内.
- 永淵, 臨床とウイルス, 編集委員(論文の査読, 特集の企画), 国内.
- 杉島, 日本臨床細胞学会九州連合会雑誌, 編集委員, 国内.
- 渡邊, 日本臨床細胞学会福岡県支部, その他(会計), 国内.
- 渡邊, 日本臨床細胞学会九州連合会, その他(編集委員), 国内.

3. 公開講座・公開講演会

- 長山, 「食品の放射能汚染から家族をどう守るか」, 日本科学者会議福岡支部核問題研究委員会・福岡環境研究会. 九州大学筑紫キャンパス総合研究棟 C-CUBE 一階大講堂, 講演会・公開討論.

4. 教員組織および委員会一覧

❖ 教員組織・委員会一覧

教員人員及び教員配置表

保健学部門 平成23年度

分野・領域	教授	准教授	講師	助教(准助教)	その他
看護学					
臨床健康支援看護学	大池美也子 樗木 晶子 川本利恵子 中尾 久子 北原 悦子 平成24年3月31日 任期満了退職	長家 智子 原田 博子	丸山マサ美 宮園 真美 平成24年1月 1日昇任 中尾富士子 平成23年12月31日退職	道面千恵子 金岡 麻希 木下由美子 富岡 明子 孫田 千恵 平成23年5月 1日採用 潮 みゆき 平成23年5月 1日採用 中島 充代 平成24年1月 1日採用	※富岡 明子:育児休業 H23.9.22~H24.7.31 ※有期教員 H23.5.1-H26.4.30 (富岡助教の休業支援教員) ※有期教員 H23.5.1-H26.4.30 (金岡助教の休業支援教員)
広域生涯発達看護学	加来 恒壽 鳩野 洋子 小野 ミツ 平成23年4月 1日採用 平田 伸子 平成24年3月31日 任期満了退職	新小田春美 濱田 裕子 木下 義晶	野口ゆかり 藤野 成美 寺岡 佐和 前野有佳里 平成23年8月 1日昇任	藤田 紋佳 末次 美子 仲道 由紀 木原 深雪 木村 一絵 重松由佳子	※木原 深雪:休職H23.12.8~H24.5.31
医用量子線科学					
基礎放射線科学	大喜 雅文 豊福不可依	高橋 昭彦 有村 秀孝 納富 昭弘		小段 謙一	
医用放射線科学	平田 秀紀 小坂 克子 佐々木雅之 杜下 淳次	藪内 英剛	熊澤 誠志	赤坂 勉	
検査技術科学					
生体情報学	藤本 秀士 大澤 進 平成24年3月31日定年退職	水上 令子	田代 洋行 小島夫美子	外園 栄作	
病態情報学	梅村 創 永淵 正法 杉島 節夫	田宮 貞史 平成24年3月31日 任期満了退職 長山 淳哉 平成24年3月31日定年退職	勝田 仁	栗崎 宏憲 渡邊壽美子	
国際教育センター (兼 医学系学府担 当・医学部勤務)			CONNOR SUZANNE MARIE		

【部門内選出】

No.	委員名	任期等					
		1	2	3	4	5	6
○: 選出人数 (): 任期	部門長	加来					
	副部門長	梅村 大喜					
看護学	分野長(教授)	川本					
	看護学 医用量子線科学 検査技術科学	小坂 杉島					
分野から選出する委員	総務委員会	加来	加来	平田(秀)	加来	加来	加来
	部門長	梅村	大喜	大澤	梅村	梅村	梅村
	委員長指名	梅村	大池	小野	北原	樽木	北原
	教授		①(H23.4 ~25.3)	①(H23.4 ~25.3)	①(H22.4 ~24.3)	①(H23.4 ~25.3)	①(H22.4 ~24.3)
	准教授		①(H22.4 ~24.3)			准教授	野口
	講師		寺岡			講師	
	助教						
	教授		豊福	平田(秀)	平田(秀)	平田(秀)	平田(秀)
	准教授					准教授	
	講師		有村			講師	高橋
検査技術科学	部門長	梅村	梅村		藤本	梅村	藤本
	副部門長	大喜	田宮			准教授	
	分野長	川本				講師	
	研究推進	平田(秀)					
	学生	永淵					
	教務	杜下					
	大学院	佐々木					
	部門長	加来	加来	梅村	加来	加来	加来
	副部門長	梅村	梅村	大喜	梅村	梅村	梅村
	分野長	川本	川本	小坂	川本	小坂	川本
職指定の委員	部門長	加来	加来	梅村	加来	加来	加来
	副部門長	梅村	梅村	大喜	梅村	梅村	梅村
[指定される者] (執行部)	部門長	川本	川本	小坂	川本	小坂	川本
	副部門長	小坂	小坂	小坂	小坂	小坂	小坂
分野長	分野長	杉島	杉島	加来	杉島	杉島	杉島
	研究推進	永淵	永淵	永淵	永淵	永淵	永淵
[部門作業委員会委員長] (生学委員会委員長等)	学生	杜下	杜下	杜下	杜下	杜下	杜下
	教務	佐々木	佐々木	佐々木	佐々木	佐々木	佐々木
大学院	大学院	大澤	大澤	大澤	大澤	大澤	大澤
	大学院	大澤	大澤	大澤	大澤	大澤	大澤

※各分野選出委員は、
人事委員会委員と同

※各分野選出委員は、
教員業績評価委員会
委員と同一の者とする

○:選出人数
():任期

No.	7		8		9		10		11		12			
委員会名	地域・国際連携推進委員会		財務委員会		施設・環境委員会		学生委員会		教務委員会		大学院委員会			
委員長	総務委員会選出 大池		部門長 加来		部門長指名 中尾(久)		前年度副委員長 永淵		前年度副委員長 杜下		前年度副委員長 佐々木			
副委員長	総務委員会選出 永淵		施設・環境委員長 中尾(久)		委員長指名 藤本		総務委員会選出 平田(伸)		総務委員会選出 中尾(久)		総務委員会選出 鳩野			
看護学	教授 ①(H23.4~25.3) 大池 准教授 ①(H22.4~24.3) 末次美子 講師 ①(H23.4~25.3) 納富 助教 ①(H22.4~24.3) 豊福		教授 ①(H23.4~25.3) 中尾(久) 准教授 ①(H22.4~24.3) 金岡 講師 ①(H23.4~25.3) 有村 助教 ①(H22.4~24.3) 藤本		教授 ①(H23.4~25.3) 中尾(久) 准教授 ①(H22.4~24.3) 金岡 講師 ①(H23.4~25.3) 有村 助教 ①(H22.4~24.3) 藤本		教授 ①(H23.4~25.3) 平田(伸) 准教授 ①(H22.4~24.3) 平田(伸) 講師 ①(H23.4~25.3) 藤野 助教 ①(H22.4~24.3) 中尾(久)		教授 ①(H22.4~24.3) 中尾(久) 准教授 ①(H23.4~25.3) 藤野 講師 ①(H23.4~25.3) 藤野 助教 ①(H22.4~24.3) 中尾(久)		教授 ①(H23.4~25.3) 北原 鳩野 准教授 ①(H22.4~24.3) 中尾(久)		教授 ①(H23.4~25.3) 平田(秀) 准教授 ①(H22.4~24.3) 佐々木 講師 ①(H23.4~25.3) 熊澤 助教 ①(H22.4~24.3) 永淵	
医学子線科学	教授 ①(H23.4~25.3) 永淵 准教授 ①(H22.4~24.3) 勝田		教授 ①(H22.4~24.3) 藤本 准教授 ①(H23.4~25.3) 田代 講師 ①(H23.4~25.3) 田代 助教 ①(H22.4~24.3) 田代		教授 ①(H22.4~24.3) 藤本 准教授 ①(H23.4~25.3) 田代 講師 ①(H23.4~25.3) 田代 助教 ①(H22.4~24.3) 田代		教授 ①(H22.4~24.3) 藤本 准教授 ①(H23.4~25.3) 田代 講師 ①(H23.4~25.3) 田代 助教 ①(H22.4~24.3) 田代		教授 ①(H23.4~25.3) 藤本 准教授 ①(H23.4~25.3) 小島 講師 ①(H23.4~25.3) 小島 助教 ①(H22.4~24.3) 小島		教授 ①(H23.4~25.3) 大澤 准教授 ①(H22.4~24.3) 永淵		教授 ①(H23.4~25.3) 平田(秀) 准教授 ①(H22.4~24.3) 佐々木	
検査技術科学	教授 ①(H23.4~25.3) 永淵 准教授 ①(H22.4~24.3) 勝田		教授 ①(H22.4~24.3) 藤本 准教授 ①(H23.4~25.3) 田代 講師 ①(H23.4~25.3) 田代 助教 ①(H22.4~24.3) 田代		教授 ①(H22.4~24.3) 藤本 准教授 ①(H23.4~25.3) 田代 講師 ①(H23.4~25.3) 田代 助教 ①(H22.4~24.3) 田代		教授 ①(H22.4~24.3) 藤本 准教授 ①(H23.4~25.3) 田代 講師 ①(H23.4~25.3) 田代 助教 ①(H22.4~24.3) 田代		教授 ①(H23.4~25.3) 藤本 准教授 ①(H23.4~25.3) 小島 講師 ①(H23.4~25.3) 小島 助教 ①(H22.4~24.3) 小島		教授 ①(H23.4~25.3) 大澤 准教授 ①(H22.4~24.3) 永淵		教授 ①(H23.4~25.3) 平田(秀) 准教授 ①(H22.4~24.3) 佐々木	
職指定の委員	※H22年度の委員長・副委員長は総務委員会 で選出。		部門長 加来 副部門長 梅村 大喜 分野長 川本 小坂 杉島 研究推進 平田(秀) 地域・国際連携推進 大池 施設・環境 中尾(久) 学生 永淵 教務 杜下 大学院 佐々木 広報 大喜		全学環境保全委員 ①(2年) 長山		全学学生関係委員 委員長・副委員長 →〔部門内〕学生委員会		全学教務関係委員 委員長 →〔部門内〕教務委員会		全学教務委員会委員長 →〔部門内〕大学院委員会委員長(任期2年)		※H22年度の委員長・副委員長は総務委員会 で選出。副委員長はH23年度委員長と なる予定	
分野から選出する委員	教授 ①(H23.4~25.3) 大池 准教授 ①(H22.4~24.3) 末次美子 講師 ①(H23.4~25.3) 納富 助教 ①(H22.4~24.3) 豊福		教授 ①(H23.4~25.3) 中尾(久) 准教授 ①(H22.4~24.3) 金岡 講師 ①(H23.4~25.3) 有村 助教 ①(H22.4~24.3) 藤本		教授 ①(H23.4~25.3) 中尾(久) 准教授 ①(H22.4~24.3) 金岡 講師 ①(H23.4~25.3) 有村 助教 ①(H22.4~24.3) 藤本		教授 ①(H23.4~25.3) 平田(伸) 准教授 ①(H22.4~24.3) 平田(伸) 講師 ①(H23.4~25.3) 藤野 助教 ①(H22.4~24.3) 中尾(久)		教授 ①(H22.4~24.3) 中尾(久) 准教授 ①(H23.4~25.3) 藤野 講師 ①(H23.4~25.3) 藤野 助教 ①(H22.4~24.3) 中尾(久)		教授 ①(H23.4~25.3) 北原 鳩野 准教授 ①(H22.4~24.3) 中尾(久)		教授 ①(H23.4~25.3) 平田(秀) 准教授 ①(H22.4~24.3) 佐々木 講師 ①(H23.4~25.3) 熊澤 助教 ①(H22.4~24.3) 永淵	

○: 選出人数
(): 任期

No.	13	14	15	16	17
委員会名	入学試験実施委員会	広報委員会	放射線安全委員会	FD実行委員会	年報委員会
委員長	前年度副委員長 豊福	前年度副委員長 大喜	医学研究院長 片野	大学院委員会副委員長 鳩野	部門長指名 長家
副委員長	総務委員会選出 小坂	総務委員会選出 小野	放射線取扱主任者 豊福	教務委員会副委員長 中尾(久)	部門長指名 水上
看護学	教授 ①(H23.4~25.3) 准教授 ② 講師 ③(23.4~25.3) 新小田 助教 ④(22.4~24.3) 丸山	教授 ①(H23.4~25.3) 准教授 ② 講師 ③(23.4~25.3) 新小田 助教 ④(22.4~24.3) 丸山	教授 ①(H22.4~24.3) 准教授 ② 講師 ③(23.4~25.3) 納高 熊澤 助教 ④(H22.4~24.3) 佐々木 杜下	教授 ② 准教授 (H23.4~25.3) 中尾富士子 講師 (H22.4~24.3) 原田 助教	教授 ② 准教授 (H23.4~25.3) 野口 講師 助教 (H22.4~24.3) 長家
分業から選出する委員	医用量子線科学	教授 ①(H22.4~24.3) 豊福 教授 ①(H22.4~24.3) 梅村 教授 ①(H22.4~24.3) 藤本 准教授 ② 講師 ③(23.4~25.3) 田宮 助教 ④(22.4~24.3) 水上	教授 ④ 准教授 (H23.4~25.3) 納高 熊澤 講師 ②(H22.4~24.3) 佐々木 杜下	教授 ② 准教授 (H23.4~25.3) 小段 講師 (H22.4~24.3) 藪内 助教	教授 ② 准教授 (H23.4~25.3) 赤坂 講師 助教 (H22.4~24.3) 熊澤
検査技術科学	教授 ①(H22.4~24.3) 梅村 教授 ①(H22.4~24.3) 藤本 准教授 ② 講師 ③(23.4~25.3) 田宮 助教 ④(22.4~24.3) 水上	教授 ①(H22.4~24.3) 藤本 准教授 ② 講師 ③(23.4~25.3) 田宮 助教 ④(22.4~24.3) 水上		教授 ② 准教授 (H23.4~25.3) 渡邊 講師 (H22.4~24.3) 勝田 助教	教授 ② 准教授 (H23.4~25.3) 水上 講師 助教 (H22.4~24.3) 栗崎
職指定の委員	部門長 加来 副部門長 大喜 分業長 川本 小坂 杉島	部門長 加来 副部門長 大喜 分業長 川本 小坂 杉島	部門長 加来 放射線取扱主任者 豊福 放射線取扱副主任者 赤坂 医学研究院長 片野 事務部長 下川	副部門長 大喜	副部門長 梅村
	[指定される者]				
	(執行部) 部門長 副部門長 分業長				
	(部門内委員(教職員))				
	(全学委員会委員等)				

【病院地区委員会】

番号	委員会名	現委員	任期	始期	終期	委員資格・条件等	備考		
1	アイソトープ総合センター 病院地区学生実習運営 委員会	佐々木	2年	H22.4.1	H24.3.31	教授1名			
2	アイソトープ総合センター 病院地区実験室及び病 院地区学生実習室放射 線安全委員会	豊福	2年	H22.4.1	H24.3.31	教授1名			
3	アイソトープ病院地区実 験及び病院地区学生実 習室放射線取扱副主任 者	佐々木							
4	附属図書館医学図書館 運営委員会	杜下	2年	H22.4.1	H24.3.31	教授2名	〔部門内〕図書委員会は 教務委員会と統合 →教務委員会委員が兼 ねる		
		中尾(久)		H23.4.1	H25.3.31				
5	医療系統合教育研究セン ター委員会	藤本《副センター長》	2年	H23.4.1	H25.3.31	医・歯・薬・保の輪番で 教授1名(副センター 長から1名)	《副センター長》 〔部門内〕教務委員長 →実質的な任期は1年		
		中尾(久)		H22.4.1	H24.3.31	保健学部門の教員から 1名	※センター長は各部局選 出の副センター長4名か ら1名が輪番で選出(原 則、副センター長経験者 から)		
6	病院地区協議会	加来	2年	H22.4.1	H24.3.31	保健学部門長	医学・歯学・薬学研究院 長、生体防御医学研究 所長、病院長、保健学部 門長、医系学部等事務 部長、病院事務部長、医 療系統合教育研究セン ター長及び(オブザー バーとして)副病院長(歯 科部門)		
7	病院地区学生感染対策 委員会	平田(伸)	2年	(H23.4.1)	H24.3.31)	保健学部門の学府の 学生の教育または感染 対策に責任を持つ組 織に所属する教員のう ちから選出された者1 名	学生委員会副委員長が 兼ねる →実質的な任期は1年		
8	病院地区教育情報委員会	大喜				保健学部門副部門長 (教育担当)	・保健学部門の副部門長 のうち主として教育を担 当する者1名 ・学部教育を担当する委 員会の委員長 ・学府教育を担当する委 員会の委員長 →実質的な任期は1年		
		杜下				(H23.4.1)		H24.3.31)	教務委員会委員長
		佐々木							大学院委員会委員長
9	九州大学医の倫理に関 する協議会	加来				保健学部門長	部局長・保健学部門長・ 各倫理審査委員会委員 長・人文・社会科学の有 識者・その他協議会が必 要と認めた者		
10	総合研究棟管理運営委 員会	大喜	2年	H22.8.1	H24.7.31	教授1名			
		平田(伸)		H22.8.1	H24.7.31	部局管理運用部分の 許可を受けている者			
11	職員等用駐車区域運営 委員会幹事会	杉島、長山				教授1名、准教授以下 1名			

番号	委員会名	現委員	任期	始期	終期	委員資格・条件等	備考
12	病院地区特許・技術移転 相談室協力教員	永淵					
13	病院サイクロロン生産放 射性同位元素の医学的 利用に関する委員会	佐々木	2年	H22.4.1	H24.3.31	病院地区所属物理学 専攻の教員	保健学部門から2名選出 していたが、H22年度は1 名のみ選出
14	病院放射性医薬品委員 会	佐々木					
15	病院地区教育情報委員 会	大喜	1年	H22.4.1	H23.3.31	保健学部門副部門長 (教育担当)	・保健学部門の副部門長 のうち主として教育を担 当する者1名 ・学部教育を担当する委 員会の委員長 ・学府教育を担当する委 員会の委員長 →実質的な任期は1年
		杜下				教務委員会委員長	
		佐々木				大学院委員会委員長	
16	病院先進医療適応評価 委員会	金岡	2年	H23.4.1	H25.3.31	保健学部門助教以 上、女性教員	
17	アジア遠隔医療開発セン ター運営委員会	長家	2年	H22.4.1	H24.3.31	病院地区(医学系、歯 学系、薬学系、保健学 系を含む)の教員の内 から選ばれた者	
18	医系地区部局臨床研究 倫理審査委員会	濱田	2年	H22.4.1	H24.3.31	保健学部門講師以上2 名(1名は教授とする)	委員会の構成上、今回 選出する委員は、女性委 員が望ましい
		小坂		H23.4.1	H25.3.31		
19	医系地区部局ヒトES細胞 の樹立及び使用に関する 倫理審査委員会	北原	2年	H22.4.1	H24.3.31	保健学部門教授1名 (医学に関する専門 家)	委員会の構成上、今回 選出する委員は、女性委 員が望ましい
20	病院遺伝子治療臨床研 究倫理審査委員会	樗木	2年	H23.4.1	H25.3.31	保健学部門教授1名	
21	医学研究院再任審査委 員会	梅村	1年	H23.4.1	H24.3.31	保健学部門教授1名	
22	医学研究院情報公開委 員会	部門長(職指定:教育研 究評議員)					
		〈必要に応じて選出〉					
23	医学研究院教員業績評 価専門部会	部門長、 各分野長					
24	基礎研究B棟管理運営委 員会委員	部門長 中尾(久) 佐々木					※部門長 当該年度及び前年度の 〔部門内〕施設・環境委員 長が兼ねる →実質的な任期は2年

【全学委員会】

番号	委員会名	現委員	任期	始期	終期	委員資格・条件等	備考
1	教育研究評議会評議員	加来	2年	H22.4.1	H24.3.31	九州大学教育研究評議会規則第2条第1項第5号(各学部の教授1名)	医学部の教育研究評議員は、H18年度以降保健学科長が兼ねている。
		※H22年度はセンター群協議会Ⅱ議長が就任する	1年	(H21.4.1)	H22.3.31)	九州大学教育研究評議会規則第2条第1項第7号(センター群協議会Ⅰ議長)	※医療系統合教育研究センター長がセンター群協議会Ⅰ議長に就任 ★評議員はセンター群協議会Ⅰ議長とセンター群協議会Ⅱ議長の輪番制(1年) →実質的な任期は1年
2	センター群協議会Ⅰ	大池	2年	H21.4.1	H23.3.31	九州大学センター群協議会規則第3条第1項第2号(医療系統合教育研究センター長)	留学生センター 医療系統合教育研究センター 高等教育開発推進センターの施設の長及び当該施設所属または担当の教授
3	総長特別補佐	樗木	2年	(H21.4.1)	H23.3.31)	総長指名	
4	学生委員会	永淵	2年	H23.4.1	H24.3.31		〔部門内〕学生委員会委員長・副委員長
		平田(伸)		H23.4.1	H25.3.31		
5	学生生活・修学相談室相談員	永淵	2年	H23.4.1	H24.3.31		〔部門内〕学生委員会委員長・副委員長
		平田(伸)		H23.4.1	H25.3.31		
6	入学試験審議会	加来	無				保健学科長がオブザーバーとして参加
7	入学試験実施委員会	豊福	2年	H23.4.1	H24.3.31		〔部門内〕入学試験実施委員会委員長 →実質的な任期は1年
8	入学者選抜研究委員会	高橋	2年	H22.5.1	H24.4.30	入学者選抜研究委員会規程第3条第1項第10号(総長が必要と認めた者若干人)	統計のできる准教授クラス
9	教務委員会	杜下	2年	H23.4.1	H24.3.31	第6条(9)委員長が必要と認めた教授	〔部門内〕教務委員会委員長、大学院委員会委員長 →実質的な任期は1年
		佐々木		H23.4.1	H25.3.31		
10	全学教育運営会議	杜下	2年	H23.4.1	H24.3.31	その他運営会議が必要と認めた者	〔部門内〕教務委員会委員長 →実質的な任期は1年
11	全学教育に関する情報処理改訂ワーキンググループ	大喜					H20.6.5全学教育運営会議承認に基づき設置

番号	委員会名	現委員	任期	始期	終期	委員資格・条件等	備考
12	全学教育専門委員会	杜下	2年	H23.4.1	H24.3.31	第3条(7)委員長が必要と認めた教授又は准教授	[部門内]教務委員会委員長 →実質的な任期は1年 ※開催頻度:低
13	全学教育企画委員会 (基礎科学科目)企画部会 [情報処理科目]	大喜					
14	全学FD委員会	杜下	2年	H23.4.1	H24.3.31	第9条(9)委員長が必要と認めた教授	[部門内]教務委員会委員長 →実質的な任期は1年
15	高等教育開発推進センター委員会	中尾(久)	2年	H23.4.1	H24.3.31	各学部から教授1名 ※医学として	
16	情報通信基盤連絡会議	大喜	無			教員1名	元岡キャンパス等におけるネットワーク(KITE)整備のための連絡会議が名称変更
17	伊都キャンパスネットワーク	大喜					
18	総合情報伝達システム委員会	豊福					
19	情報化推進企画小委員会	豊福					
20	環境保全管理委員会	長山	2年	H22.4.1	H24.3.31	環境保全管理委員会が必要と認めた者 ※医学とは別枠	環境安全センター委員会委員 ★[部門内]施設・環境委員会構成員となる
21	環境安全センター委員会	長山	2年	H22.4.1	H24.3.31	環境安全センター委員会が必要と認めた者 ※医学とは別枠	環境保全管理委員会委員が兼ねる(H18年度から) 旧:特殊廃液処理施設運営委員会(廃止)
22	放射線障害防止委員会	豊福	無				放射線取扱主任者がオブザーバーとして参加
23	21世紀プログラム専門委員会	永淵	2年	H22.4.1	H24.3.31	各学部から選ばれた教授1名 ※医学として	旧21世紀プログラム実施委員会 看医検分野の輪番
24	全学情報環境利用委員会	有村	2年	H22.4.1	H24.3.31	各研究院の教授及び准教授のうちから選ばれた者各1人 ※医学として	(旧:情報基盤センター学内共同利用運営委員会)
25	研究用微生物安全管理委員会	小島	2年	H23.4.1	H24.3.31	研究用微生物を取扱う施設を置く部局の教授、准教授及び講師各1名	※医学とは別枠
26	動物実験委員会	永淵	2年	H22.4.1	H24.3.31	その他委員会が必要と認めた者(第3条第1項第7号)	※医学とは別枠
26	ハラスメント等対策委員会	(歯・病・生)	2年	(H22.4.1)	H24.3.31)	医歯薬生病の教授、准教授及び講師から2名(少なくとも1名は女性)	医・歯・薬・病・生の輪番
27	ハラスメント等相談員	(歯・病)	2年	(H22.4.1)	H24.3.31)	医歯薬生病の教授、准教授及び講師から若干名(実際には2名選出)(少なくとも1名は女性) ※医学として	医・歯・薬・病・生の輪番
28	人員管理委員会委員	樗木	2年	H21.4.1	H23.3.31	総長指名	

番号	委員会名	現委員	任期	始期	終期	委員資格・条件等	備考
29	男女共同参画室室長	樗木	2年	H21.4.1	H23.3.31	総長指名	
30	全学教育広報誌「radix」編集委員会	(薬)→H22.4.1～(医)				病院地区学部(医・歯・薬)の教員1名	医・歯・薬の輪番 H19年度:小坂教授
31	百周年記念事業専門委員会	豊福	2年	H22.1.1	H23.12.31	各研究院及び医学部から選出された教授各1名	※医学部保健学科からの選出・個人募金部会兼務
32	キャンパス計画専門委員	(歯)	2年	H20.11.9	H22.11.08	医歯生病のうちから選ばれた1名	医・歯・薬・生・保の輪番
33	キャンパス計画及び施設管理委員会	(薬)	2年	H22.4.1	H24.3.31	医歯薬生の教授から1名	医・歯・薬・生・保の輪番 新キャンパス計画専門委員会委員で構成
34	G30実施調整会議	豊福				各部局から選出された教授または准教授	※医学とは別枠
35	国際化100人委員会	平野 杜下 梅村				医学から9名 内、保健から3名選出	各分野から1名選出

平成23年度
年 報

作成日 : 平成25年9月

発行者 : 保健学部門 平成25年度 年報委員会
佐々木雅之・梅村創・中尾久子・小野ミツ
前野有佳里・高橋昭彦・外園栄作・平田秀紀

発 行 : 九州大学大学院医学研究院保健学部門
〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1
TEL: 092-642-6683